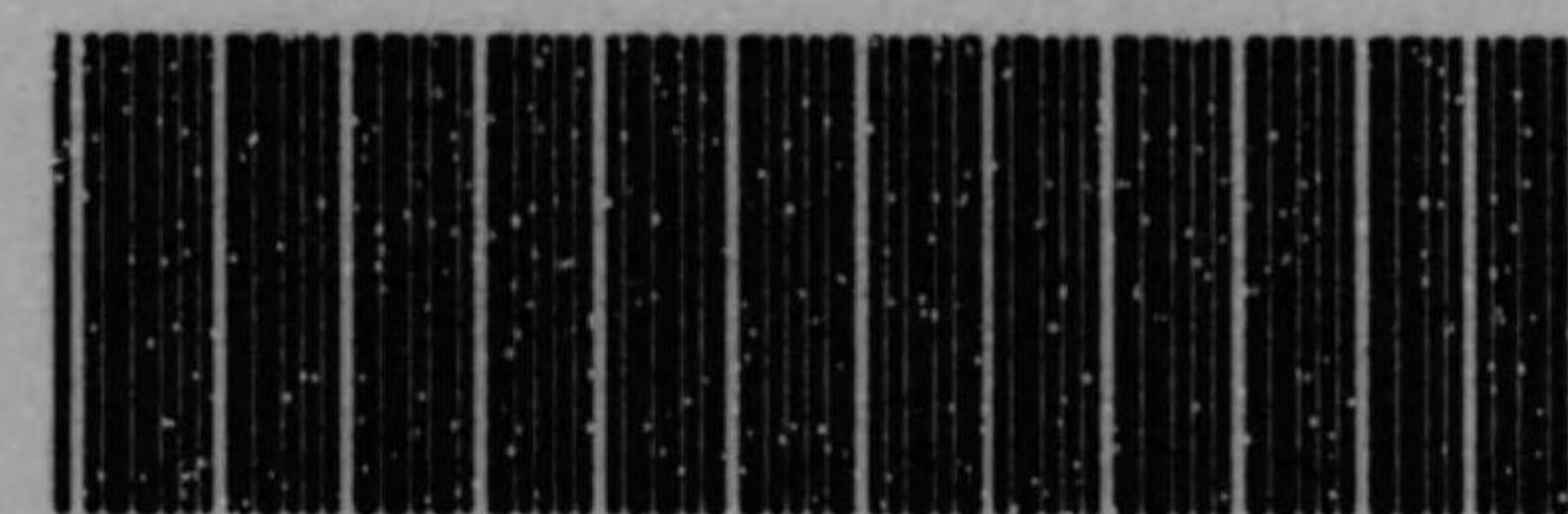


303
55



* 0057629000 *

0057629-000

特 216-717

海軍少年航空兵・少年掌電信兵
・諸工廠工員志願者心得並最近
試験問題模範解答

海軍軍事研究会・編

受験の友社

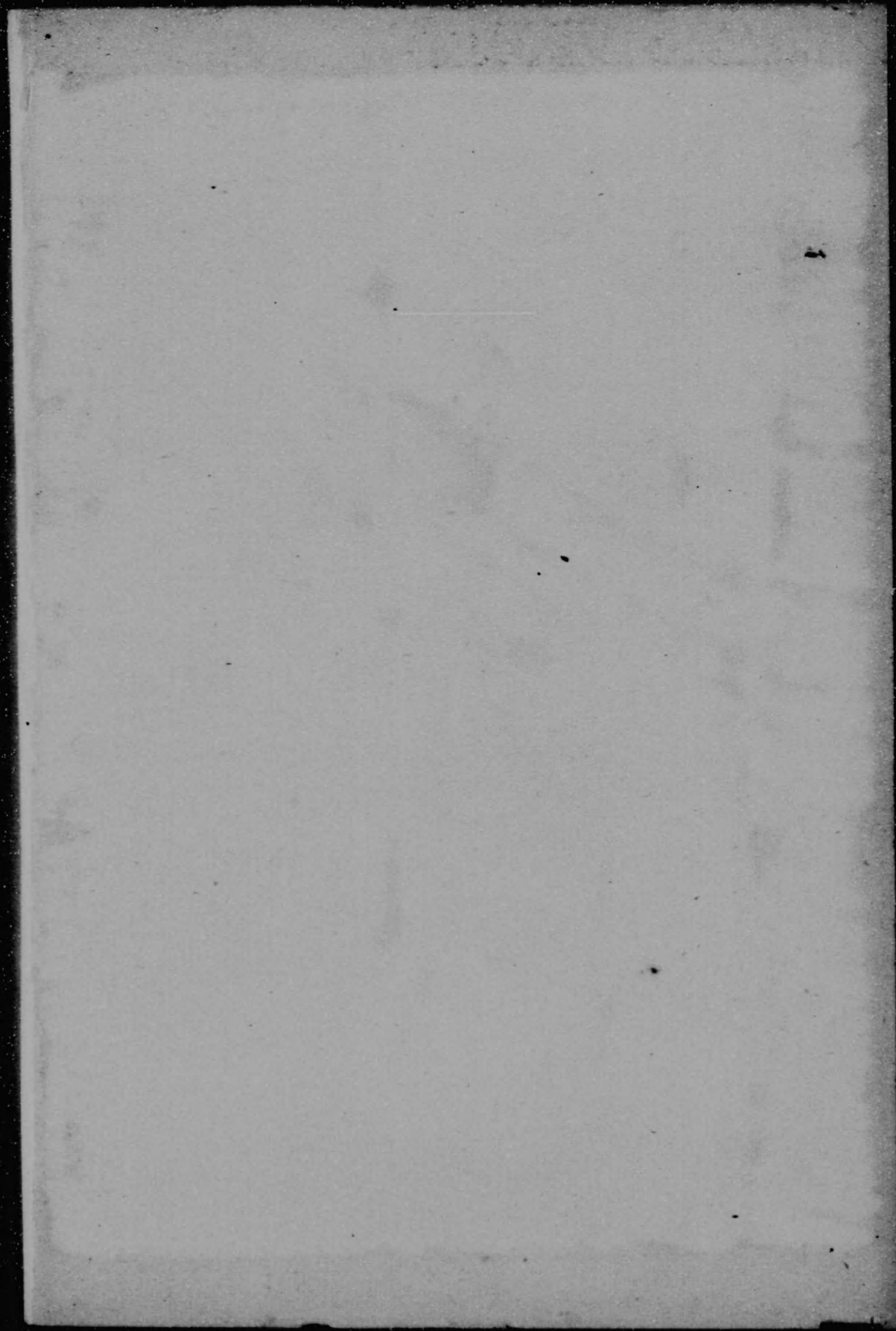
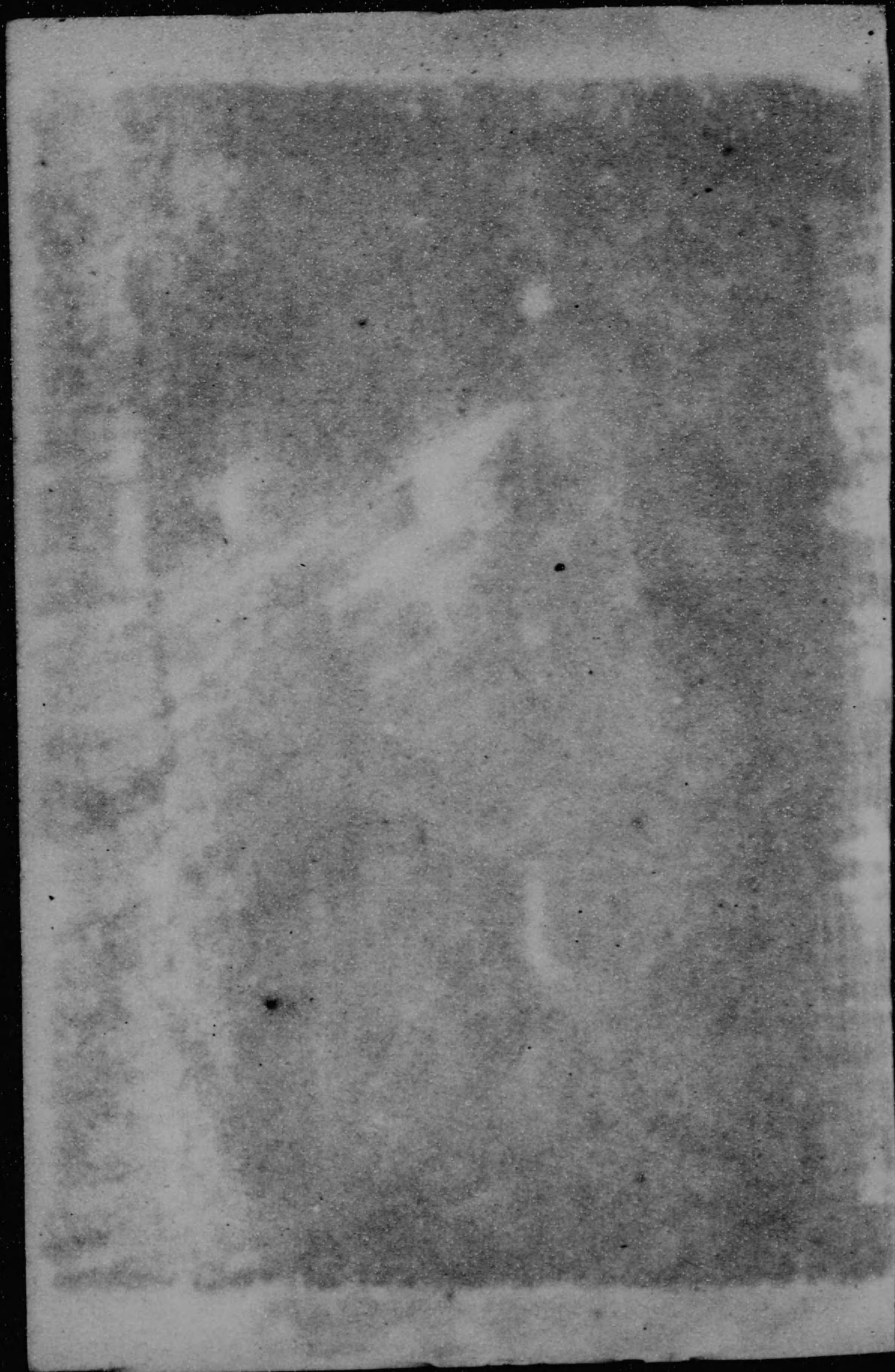
昭和13

AJG

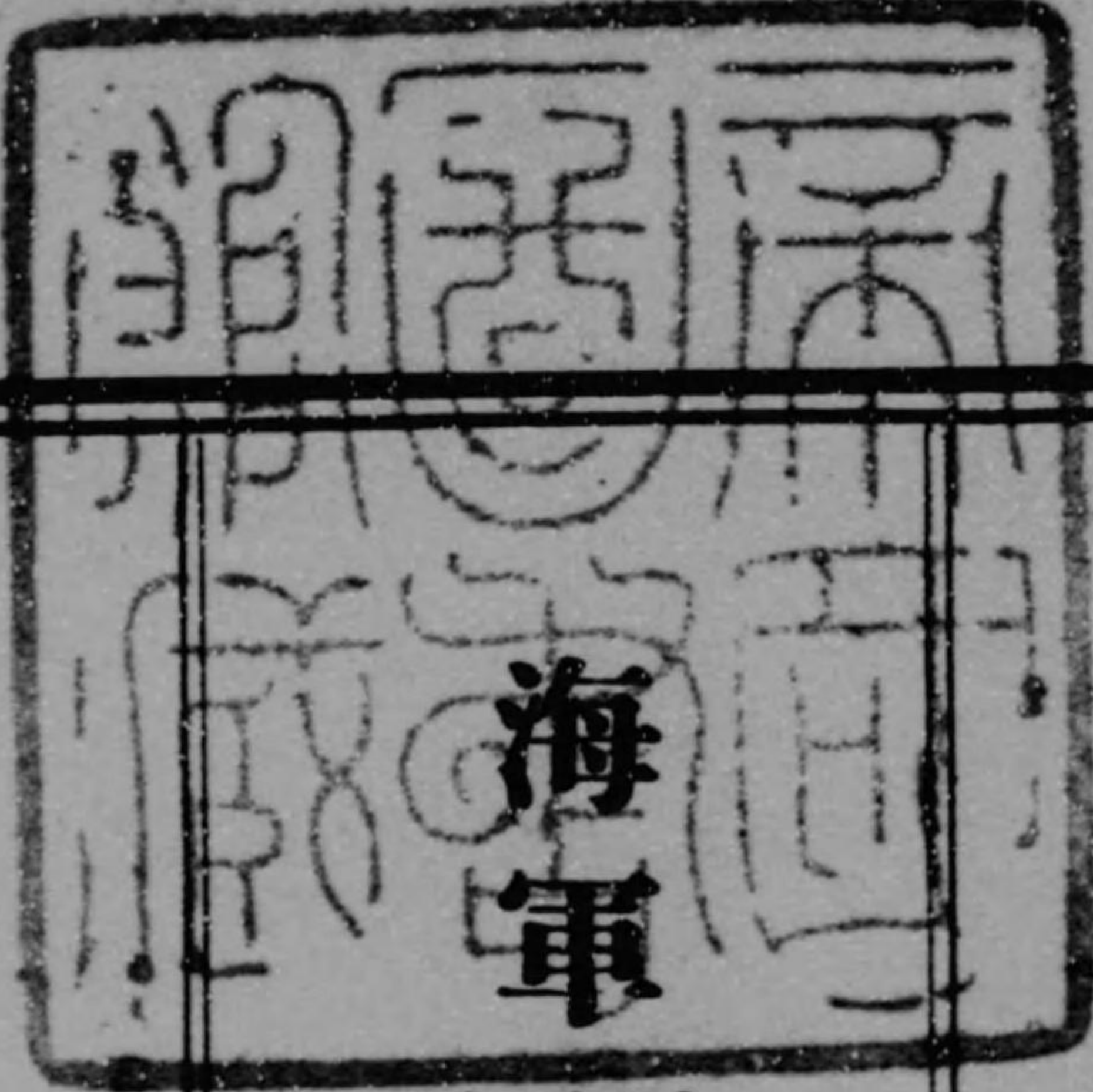
342
558

海軍軍事研究會編
少年航空兵
少年電信兵
諸工廠工員
海軍志願者心得
並最近試驗問題模範解答

東京受驗之友社發行



特216
717



海軍軍事研究會編

少年航空兵
少年電信兵
少年工廠工員
諸工

志願者心得

並最近試驗問題模範解答



東京 受験之友社發行



はしがき

本書は海軍少年航兵、掌電信兵、機關兵、水兵及び海軍工廠見習職工を志す諸君のために、この方面の豫備知識を與へ、且つ其の手續、試験問題並解答及び將來の立身成功法を説いたものである。

思ふに滿洲事變以後は、エチオピア問題、スペイン内紛等、世界の形勢は極めて微妙な動きを見せ、従て各國の海軍擴張は猛烈を極め、而も一切の海軍條約はなくなり太平洋の潮騒ぐさまは、ますます激しくなるであらう。勢ひ日本海軍も列國に伍して擴張され、空軍、艦船、軍人の増加はいよ／＼必至である。

この秋に當つて有爲の少年諸君が、先を争つて海軍に投じることは、我が國海軍にとつて最も喜ばしい事實である。しかも海軍々人の將來たるや、ますます有望であります／＼多事である。此の時此の際、諸君が奮つて、我が國防第一線に活躍するの決意を固められんことを切に希望し、本書が諸君の宿望を達する上に役立つことを固く信ずる。

海軍 少年航空兵 少年掌電信兵 志願者心得 並 最新試験問題 模範解答

第一編 海軍下士官兵になる道

- 一 海軍志願兵と其種類及び採用人員……………一
- 二 海軍志願兵の應募資格……………二〇
- 三 海軍志願兵の採用試験……………二二
 - (イ) 身體検査……………二二
 - (ロ) 學術試験……………二四
- 四 航空兵(豫科練習生)志願者の第二次検査……………二四
- 五 海軍志願兵應募者の豫備検査……………二五
- 六 海軍志願兵志願者の出す願書……………二六
- 七 海軍志願兵志願者の心得……………二八

八 試験答案の書き方と注意……………二〇

- 九 海軍志願兵の進路……………二三
 - (イ) 官等と進級……………二三
 - (ロ) 現役年限……………二三
 - (ハ) 給與……………二四
 - (ニ) 恩給……………二六
 - (ホ) 叙位叙勳……………二七
 - (ヘ) 學校及び練習所……………二七
- 一〇 海軍少年航空兵とは……………三〇
- 一一 海軍少年航空兵の目的……………三三
- 一二 海軍少年航空兵の教育……………三三
- 一三 海軍少年航空兵の待遇と進路……………三三

目次

一四 少年航空兵志願者の資格……………三三

一五 海軍少年航空兵の志願期日……………三五

一六 海軍少年掌電信兵とは……………三六

一七 海軍諸工廠見習職工になるには……………三七

一八 海軍工廠とはどんな處か……………三七

一九 海軍工廠の組織……………三六

二〇 見習職工とはどんなものか……………三九

二一 見習職工の應募資格……………四一

二二 海軍工廠見習職工教習所……………四二

 (イ) 横須賀海軍工廠見習職工教習所……………四二

 (ロ) 吳海軍工廠見習職工教習所……………四三

 (ハ) 佐世保海軍工廠見習職工教習所……………四三

 (ニ) 横須賀海軍航空廠見習職工教習所……………四四

二三 海軍將校になるには……………四七

二四 海軍士官養成の諸學校……………四八

(1) 海軍兵學校……………四八

(2) 海軍機關學校……………四九

(3) 海軍經理學校……………五〇

二五 受験學校の選擇……………五二

第二編 海軍志願兵、少年航空兵、工廠見習職工採用試験問題並模範解答

一 海軍志願兵(少年航空兵)採用試験問題並解答……………六三

 (1) 横須賀鎮守府徵募……………六三

 (2) 吳鎮守府徵募……………七一

 (3) 海軍志願兵徵募(少年航空兵)……………七六

 (4) 海軍志願兵徵募(同)……………八二

 (5) 海軍志願兵徵募(同)……………八九

 (6) 海軍志願兵徵募(同)……………九四

(7) 海軍志願兵徵募(同)……………一〇〇

(8) 海軍志願兵徵募(同)……………一〇五

(9) 海軍志願兵徵募(同)……………一一一

(10) 海軍志願兵徵募(同)……………一一八

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答……………一二五

(1) 横須賀海軍航空廠……………一二五

(2) 横須賀海軍工廠……………一二〇

(3) 舞鶴要港部工作部……………一四三

(4) 吳海軍工廠……………一五三

 (イ) 豫備試験(甲)……………一五三

 (ロ) 豫備試験(乙)……………一五五

 (ハ) 本 試 験……………一六〇

(5) 佐世保海軍工廠……………一七三

(6) 横須賀海軍航空廠……………一八五

(7) 横須賀海軍工廠……………一九二

目次

(8) 舞鶴海軍工廠……………一九八

(9) 吳海軍工廠……………二〇五

 (イ) 豫備試験(甲)……………二〇六

 (ロ) 豫備試験(乙)……………二一一

 (ハ) 本 試 験……………二二六

(10) 廣島海軍工廠……………二二六

 (イ) 豫備試験(甲)……………二二六

 (ロ) 豫備試験(乙)……………二二二

 (ハ) 本 試 験……………二二六

(11) 佐世保海軍工廠……………二四五

目次終

海軍

少年航空兵
少年掌電信兵

志願者心得

並 最新試験問題
模範解答

第一編 海軍下士官兵になる道

一 海軍志願兵と其種類及び採用人員

陸軍に中堅の下士官を養成するための志願兵制度があるやうに、海軍にも下士官を養成するための志願兵制度がある。然し海軍の志願兵は陸軍の志願兵よりも、その兵種が多く採用人員も非常に多いことは特に注意する必要がある。

では何故海軍がかういふ風に下士官養成のための志願兵を多數に、また多兵種に互つて採用せねばならぬかといふと、

一、日本獨創の優れた艦船、兵器、機關等の活用は、優れた日本青年の手に依らねばならぬ

一 海軍志願兵と其種類及び採用人員

- 二、最初知識を集めた海軍を諒解するには長期の服役が必要である
 - 三、優秀有爲の軍人を養成する
 - 四、特務士官、准士官としての活躍を期待する
- 點にある。

諸君は海軍が軍艦や飛行機を澤山作るのは、戦争のためだとばかり考へてゐるだらうが、それはほんの一時的な事柄であつて、實際は帝國の貿易、海外植民等を發展させるためには、それ相應の海軍力を持つてゐなければならぬからである。されば海軍當局は思想が堅實で、學力、體力共に優秀な全國の青年が眼を帝國の前途に注いで、奮つて身を海軍に投じること大いに歓迎してゐる。従てその將來も大いに有望である譯だ。

前に述べたやうに海軍志願兵は多數に分れてゐるから、志願者は先づ第一に自分の志願する兵種を定めぬばならぬが、それには各兵種の職務の大體及び入籍後の學校教育の實情等をよく調べて、自分の性格、體格、學力等を考へて、最も適する兵種を選ぶがよい。次に参考のために各兵種の職務の大體を擧げてみやう。

▼水兵（掌電信兵志願者を除く）

主な役目——大砲、水雷又は測的（的の距離、位置を測ること）に關係あること、艦艇の運用、信號等

此の兵種は海軍兵のうちで最も人数が多く、その職務は主として直接戦闘に携はるものである。次に参考のためにその細目を擧げて見やう。

砲術——海軍の戦闘の主なるものは、戦闘艦、巡洋艦、驅逐艦等の砲撃によつて決まる事は、諸君が既に承知してゐる通りである。斯様に重要な砲術は水兵がその任務としてゐるところである。大砲は大きな軍艦の場合には、主砲と副砲の區別があり、主砲といふのは敵艦と對戦する時に使用される。そして副砲は敵の潜水艦とか驅逐艦とかの奇襲に備へられてゐる。大砲を取扱ふ水兵には、射手（照準と發火）旋回手（大砲の向きを變へる役目）掌尺手（照準器の照尺を取扱ふ）一番砲手、二番砲手、三番砲手、四番砲手、五番砲手、六番砲手とがある。この水兵達は主として主砲、副砲の操作、砲彈の運搬とか装填とか、彈藥や火藥の取扱とか、大砲に附屬してゐる種々な機械や器具の手入とか保管などを任務としてゐるのである。

水雷——大砲が正攻撃の道具であるとするれば、水雷はまさに奇襲の道具と言へやう。水雷の種類には諸君の一番親しみ深い魚形水雷の外に、機械水雷だとか、爆雷などといふものがあつて、その働きも亦様々である。魚形水雷は言ふまでもなく、敵の主力艦を爆撃するために使用されるし、機械水雷は敵の軍艦が通りさうな水路の要所だとか、軍港の附近、灣の入口等に設置して、敵艦の行動を妨害したり、これを爆沈させて敵に大損害を與へるために用へられる。また爆雷といふのは敵の機械水雷の裏を搔いて、これを爆發させたり、また敵の潜水艦の進んで来る方向に敷設して置いて、これを爆發させるのである。そしてかういふ仕事は皆水兵がやるのである。

航海——航海が水兵の仕事であることは、改めて説明するまでもないが、これも亦種々な部門に分けることが出来るのである。即ち色々な艦艇の操縦だとか、海底の深淺を測量したり、海流や海潮の調査などがそれである。

運用——運用といふのは艦艇内の安全を保ち、種々なものを整頓したりする仕事に掌はることである。例へば艦艇内の防水だとか、防火だとか、艦艇に具へ付けてある船具の應急修理に當るとかいふことである。

測的——如何に精巧な大砲があつても、測的に缺陷があつたなら、百發百中の結果は得られないのである。それほどこの測的は重大な役目なのである。では測的といふのは何ういふことかといふと、これは種々な精密な測量機、例へば望遠鏡とかトランシットとかを使つて、敵の軍艦が今どの位の距離にあるかを測ることである。現在では飛行機も測的に重要な手段になつてゐる。

通信——種々な機械を使つての通信をやるには、別に掌電兵がゐるから、それは水兵の任務ではないが、手旗信號とか、旗流信號とか、發火信號だとかいふものは、水兵がやるのである。手旗信號は諸君が知つてゐる通りのものであるが、旗流信號といふのは、マストに種々な形の旗を掲げてする信號であり、發火信號といふのは、探照燈を使用してする信號である。信號が重要なことは改めて言ふまでもない。

▼水兵（掌電信兵）

主な役目——無線電信、無線電話の取扱、この兵種は最初に志願する時から、掌電信兵として志願するのである。

▼航空兵（豫科及偵察練習生志願者を除く）

一 海軍志願兵と其種類及び採用人員

主な役目——航空機體又は發動機の整備取扱。

この兵種は昭和九年度に新設されたもので、航空機の整備はそれまでは、水兵若くは機關兵の一部の者が取扱つてゐたが、將來はこの兵種によつて、専門に取扱はれることになつたのである。

▼航空兵（豫科練習生志願者）

主な役目——航空機の操縦及機上諸作業。

この兵種は俗に「少年航空兵」と呼ばれてゐるもので、志願者は採用されると、直に横須賀海軍航空隊に入隊して、特別の教育を受けるのである。

▼航空兵（偵察練習生志願者）

主な役目——航空機に搭乗して、偵察、爆撃、通信等の機上作業。

この兵種は矢張り昭和九年度に新設された兵種で、採用された者は、最初電信兵と同様の教育を受けるが、後に偵察練習生に採用されるのである。

▼機關兵

主な役目——汽罐、機械、電氣機械取扱、機關工業、木具工業、潜水作業等。

この兵種は水兵と共に海軍に於ける主な兵種であつて、機械の運轉を始め罐を焚くこと、電機類の取扱、鍛冶、旋盤、發電機、船體、船具の修理、木具製作、潜水作業等に至るまで、それら専門的な諸作業に従事するのである。次にその仕事の詳細を述べて見やう。

汽罐——機關兵の重要な仕事と言へば、この汽罐の操作である。では汽罐といふのはどういふものかといふと、これは蒸気機關を熱して、軍艦を操縦運轉する原動力をつくるものである。今日では蒸気機關の代りに、ディーゼルといふ電動機關が段々に使はれるやうになつて來てゐる。

機械——軍艦はそれ自體が一つの工場であり、そこには種々な科學の粹といふべき機械を集めてある。これ等の機械を運轉したり、その故障を修理したりするのは、矢張り機關兵の仕事になるのである。

工術——これは二つの別があつて、一は金屬工業、他は木具工業となつてゐる。先づ金屬工業から説明すると、これには鍛冶とか、機械とか、仕上とか、鐵板とか、銅鑄造とか、兵器とがある。木具工業には、機械の附屬品とか艦内にある木具の製造、修理とがそれに屬してゐる。

▼軍樂兵

一 海軍志願兵と其種類及び採用人員

主な役目——儀式禮式のため、又は士気を鼓舞するため、その他國際的交際等の際に奏樂する。
この兵種は世間でいふ海軍の軍樂隊になるのである。

▼看護兵

主な役目——傷病者の看護、調劑、治療の助手。

この兵種は改めて説明するまでもなく、陸軍の看護兵と同様、病院又は軍艦内にあつて、傷病兵の看護調劑、治療の助手になるものである。

▼主計兵

主な役目——被服、糧食、需品その他一般經理事務、和洋食調理等。

この兵種には厨業の方と、經理の方とがあつて、厨業の方は主として和洋食の調理に當る。然し初めの間は、誰でも一樣に炊事に従事するのである。經理の方は別に庶務會計だけを掌るのであるが、これは經理學校を卒業して來てからなるのである。

海軍志願兵には以上のやうな兵種があるが、では一體毎年海軍で採用する志願兵の人数は、どの位であるかといふと、それはその年によつて、多少の増減があるが、いま参考のために昭和十二年に

採用する志願兵の数を挙げると次の通りである。

兵種	鎮守府	横須賀鎮守府	吳鎮守府	佐世保鎮守府
水兵 (掌電信兵志願者を除く)	一、四八〇	一、四〇〇	一、三六〇	
水兵 (掌電信兵志願者)	二〇〇	一四五	一五〇	
航空兵 (豫科及偵察練習生志願者を除く)	一九〇	八〇	一〇〇	
航空兵 (豫科練習生志願者)	八七	六〇	七三	
航空兵 (偵察練習生志願者)	七五	六〇	五五	
機關兵	九三〇	八八〇	八八〇	
軍樂兵	二〇	一二	一二	
看護兵	六五	六五	五五	
主計兵	一八〇	一五〇	一六〇	

計

三、二二七

二、八五二

二、八四五

一〇

二 海軍志願兵の應募資格

次に志願者の年齢には、どういふ制限があるかといふと、各兵種によつて相違があり、その制限は次の通りである。

水兵 (掌電信兵志願者を除く)

航空兵 (豫科及偵察練習生志願者を除く)

機關兵、看護兵、主計兵

水兵 (掌電信兵志願者)

航空兵 (偵察練習生志願者)

航空兵 (豫科練習生志願者)

軍樂兵

十七年以上

二十一年未満

十五年以上
十九年未満

十五年以上十七年未満

十六年以上二十年未満

(以上は採用の年の十二月一日現在で計算するのである)

志願兵の募集、志願書の提出期日、徵募検査の日割等は、毎年各府縣毎に一般に公示されるが、大體願書の受付締切は十二月下旬で、翌年一月中旬頃に徵募検査が行はれる。

徵募検査は身體検査と學術試験に分かれてゐるが、掌電信兵、豫科及偵察練習生志願の航空兵、軍樂兵志願者には、その外に適性検査が行はれる。

三 海軍志願兵の採用試験

イ、身體検査

身體検査は頗る嚴重に行はれ、次の規格に達せぬ者は、不合格となつて採用されぬ。
1 各兵種 (豫科及偵察練習生志願の航空兵を除く)

身	長 (纏)	十八年以上	十八年未満	十七年未満	十六年未満	十五年未満
		一五八・〇	一五六・〇	一五四・〇	一五一・〇	一四七・〇

體	重(斤)	四九・〇	四七・〇	四五・〇	四一・〇	三八・〇
胸	圍(寸)	七九・〇	七八・〇	七七・〇	七四・〇	七一・〇
胸廓擴張	(寸)	六・〇	五・五	五・五	五・五	五・〇
活	量(立寸)	三、〇〇〇	三、〇〇〇	二、七〇〇	二、六〇〇	二、五〇〇
視	力	各眼視力 一・〇				

尙ほ掌電信兵志願の水兵、軍樂兵、看護兵及主計兵志願者は、各眼視力〇・六以上、矯正視力一・〇以上なら合格することもある。

主計兵志願者の身長は一五二・〇纏迄は合格することもある。

2 航空兵(豫科及偵察練習生志願者)

身	長(寸)	十八年以上	十八年未滿	十七年未滿	十六年未滿	十五年未滿
		一五七・〇	一五六・〇	一五五・〇	一五三・〇	一五二・〇

體	重(斤)	五一・〇	四八・〇	四五・〇	四三・〇	四一・〇
胸	圍(寸)	八〇・〇	七九・〇	七七・〇	七四・〇	七二・〇
胸廓擴張	(寸)	六・〇	六・〇	六・〇	五・五	五・〇
活	量(立寸)	三、二〇〇	三、〇〇〇	二、八〇〇	二、七〇〇	二、六〇〇
視	力	各眼視力 一・二				
備考	航空兵志願者の規格は表に示す通り少し程度が高くなつてゐる(採用入團(隊)の際は更に一般兵種の者よりも綿密な身體検査がある)					

胸廓擴張といふのは、深吸呼をして胸の縮張する程度を検査することで、擴張した時と縮少した時の胸圍の差が多い程よい。活量は肺に一杯空気を吸ひ込んで、これを吐き出す量を測るのであつて、矢張りその量が多い程よい譯である。以上の外、身體懸垂といふ検査がある。これは上から吊した綱を片手で握り、身體をぶら下げて五秒間堪へなければならぬ。右の各項は深吸呼や練習によつて、或る程度までは發達させることが出来る。

身體検査について、志願者が特に心得て置かなければならぬ事は、検査前に身體を大切に於て、一時的な故障で、不合格にされるやうなことの無い事と、検査の前日には入浴して、身體を清潔にし、耳垢をとり、鼻孔、その他不潔になり易いところは特に注意し置くこと、また衣類その他の所持品を整頓するため、風呂敷を持つて行くことなどである。

ロ、學術試験

學術試験は讀書、數學の二科目について、高等小學校卒業程度によつて行はれる。そのうち掌電信兵志願の水兵、豫科及び軍樂兵志願者に對しては、前にも述べた様に適性検査が併せて行はれる。試験の成績の外に、尙ほ諸學校及び青年學校の訓練の成績が加味されるから、通信簿（學業證明書）青年學校手帖、及び各種の褒賞狀を持つてゐる者は、必ず検査場へ持つて行つて、徵募官の閱覽を受けなければならぬ。

四 航空兵（豫科練習生）志願者の第二次検査

この検査は今までは、入隊する時に行はれてゐたものであるが、昭和十一年度からは四月中、下旬

に繰上げて行はれることになつた。

即ち志願兵検査に、航空兵（豫科練習生）を志願して合格したものの中から選抜して、約六日間横須賀海軍航空隊に集めて、更に學術試験（讀書、數學、雜問（地理、歴史））、適性検査及び身體検査が行はれる。

航空兵を志願して其の検査を受けるものには、海軍人事部から市（區）町村を経て、本人の手許に出頭通知と受検心得が送られる。この検査の結果成績優秀な者から、約半数の採用者を銓衡されるのであるが、検査が終つたなら採用、不採用に拘らず、總て一旦は郷里へ歸るのである。そして検査の期間中は航空隊に宿泊して、兵食を給與されるし、また出頭するのに要する往復の旅費は官費で、航空隊へ到着した時、同隊で給與されるのである。

五 海軍志願兵應募者の豫備検査

こゝに海軍志願兵を志願しやうとする諸君に注意して置きたいことがある。それは最近少年諸君の志願兵を希望するものが非常に殖えて來たので、これ等のものを全部、一度に鎮守府で検査すること

がなか／＼困難になつた。そこで先づ志願書を受けける各府縣の市(區)町村役場の兵事係で、志願者について簡単な試験をやつて、見込みのありさうな志願者を、鎮守府の方へ廻すやうにしてゐることである。

この試験は別に一定した試験の標準があるのではないが、大體志願兵採用試験に出るやうな讀書、算術を兵事係員の面前で行はれるのである。こんなものでも矢張り志願者にとつては、大事な關所になるのであるから、普段によく教科書を復習して置いて、特に重要な處は、注意して記憶に残して置くがよい。

六 海軍志願兵志願者の出す願書

海軍志願兵志願書

本籍地 東京府東京市下谷區南稻荷町十九番地
現住所 同 淺草區北松山町二十五番地

族稱 平民

戸主トノ續柄 留吉長男

氏名 大山 義造

大正十年八月十日生

- 一、希望兵種
 - 第一 航空兵
 - 第二 掌電信兵
 - 第三 水兵

- 二、現在職業 ナシ
- 三、修學程度 中學二年修業
- 四、青年訓練 ナシ

右海軍志願兵ヲ志願致度候ニ付採用相成様御取計相成度此段御願候也

昭和十一年十月九日

右本人 大山 義造
戸主 大山 留吉

六 海軍志願兵志願者の出す願書

明治二十八年三月二十日生

親權者(又ハ後見人)

大 山 留 吉

東京市 區長 何 誰殿

七 海軍志願兵志願者の心得

一、決 心

父兄や先輩によく相談して、自分の年齢、學力、身體から考へて、どういふ兵種に向くかといふことを決めて、若し希望の兵種が二つ以上あるなら、第一志望何々、第二志望何々とするがよい。

二、出 願

出願するには市(區)町村役場に出頭して、兵事係(課)に海軍兵志願の旨を申出で、定められた期間までに願書を差出さねばならぬ。豫備教育をされる場合には、自分から進んでこれに應ずるのである。

三、準 備

(イ) 學科は高等小學卒業程度の數學と讀書を繰返して勉強して置くがよい。

(ロ) 身體の鍛練に心懸け、また悪い所はないかよく身體検査規格表と照し合せて見るがよい。

出来れば學校醫等の検査を受けて、軽い疾病はすぐ治して置くに越したことはない。

(ハ) 品行を慎んで、精神の修養に努め、あらゆる誘惑にうちかたなければならぬ。

(ニ) 検査の前日には必ず入浴して身體を清め、特に耳や鼻の内部をよく掃除して置かなければならぬ。

四、検査當日の携帶品

(イ) 青年學校手帳(青年學校訓練手帳)

(ロ) 尋常小學校四年以上の通信簿全部(通信簿がない時には、學業證明書)及び各種の褒賞等。

(ハ) 鉛筆、ナイフ、消ゴム。

(ニ) 辨當及び脱いだ衣服所持品等を包む風呂敷。

五、検査開始の時刻に必ず遅れぬこと

七 海軍志願兵志願者の心得

八 試験答案の書き方と注意

試験を受ける場合に、その答案の書き方は受験者の死命を制するものであるから、普段からその要領を心得てゐて、いざ試験場に臨んだら、よくその要領を發揮して美事合格の榮冠を得るがよい。

折角學科が出来てもその答案の書き方が拙かつたり、また試験官がその答案を讀んでも、成程とうなづかぬやうなら、合格の點數はつけて呉れない。いまこれから要點を擧げて、諸君の参考としてみよう。

一、答案は出来るだけ丁寧に明瞭に書け

試験官が先づその答案を見る場合に、文字が明瞭で叮嚀であれば、忽ち好感を覺えるが、これに反して餘り亂暴な書き方をしてあつたり、くどくどしく書いてあつたりすると、自然と讀んで見る氣がなくなり、いきなり落第點を付けて放つてしまつて、次の答案を手にする事になる。して見れば何んでも明瞭に、一讀して要領を得るやうに書くのが何より肝心である。

二、簡單でもつて要點を擧め

ただ無暗に長たらしく書いてあつて重複してゐたり、問題の要點を外れてゐて、自分の考へを矢鱈に列べて置くのは、時間を損するばかりでなくて、試験官もそれを諒解することが容易でなく、それがために却つて、受験者の知識や學力の程度を疑ふやうになるから、このことをよく覺えてゐて、問題の重要な點を簡單に、そしてはつきり要點をつかむで書かなければいけない。

三、答案は試験官に見せるのだといふことに注意せよ

問題を解答する場合には、二た通りの方法がある。諸君が見てゐる参考書などにあるのは、學力があり知識のあるものが、諸君に教へるのであるから、無暗にその眞似をして、生意氣な風を見せてはいけない。殊にその言葉使ひはよく注意しないと、試験官に「傲慢な奴だ」などと思はれて、大變失敗するが事ある。受験者の答案は飽くまで、目下のものが目上の方に奉るといふ氣分が、その答案の中に出てゐるものでなければならぬ。従つてその書き現はす文字に就ては、深く注意するのが當然である。

四、學力や知識の貧弱さとか、輕率さを見すかさねやうにする

諸君は先づ問題に向つたなら、暫らくの間は氣を押し鎮めて、その要所が何處にあるかといふこと

を確め、それから徐ろに筆を執つて書き始めるがよい。兎角氣を鎮めないで書き下ろすから、慌てた學句に簡単な漢字を忘れて假名で書いたり、假名がひどく多かつたり、また片假名と平假名とをこつちや交ぜに書いたりするやうになる。これは決して試験官によい印象を與へない。また時には字を脱かしたり、違つた字を書いたりして、忽ちその輕卒さを見抜かれる。かういふ輕卒な性質のものは折角採用されても、矢張り職務の上も輕卒であるだらうと疑はれ、自然と試験は不合格になり、採用の恩典にも預かれぬことになるから、この邊はくれぐれも注意してゐなければならぬ。

九 海軍志願兵の進路

イ、官等と進級

海軍兵には四等兵から一等兵までの四階級あり、また下士官には三等下士官から一等下士官までの三階級がある。一等下士官からは、准士官（判任官一等）に進み、准士官からは選ばれて特務士官（高等官）に任用される。特務士官には、特務少尉、特務中尉、特務大尉の三階級があるし、兵科、航空科、整備科、機關科、主計科の特務大尉は、特別に選ばれて少佐級以上に任用されの途も拓けた爲

めに、現に特務大尉で分隊長になつてゐるものもあり、少佐級になつた人もある。

志願兵が入團すると、最初は四等兵になり、一般に各兵種とも約五ヶ月間は、海兵團で教育を受けそして三等兵になつて初めて軍艦に乗り、それから後は順々に二等兵、一等兵といふ風に進級して行く。しかし掌電信兵と航空兵（偵察練習生志願者）は、海兵團で約三ヶ月間教育を受けて、三等兵になつてから或は海軍通信學校の練習生になり、入團の時から約一年、航空兵（偵察練習生志願者）は更に横須賀海軍航空隊に配員される。また航空兵（豫科練習生志願者）は、横須賀航空隊に入つて四等航空兵になり、次の練習及び實務期間に一等航空兵まで進み、航空隊の練習生教程を卒業して、大體六ヶ月後には、三等航空兵曹に任用される。

豫科練習生……………約二ケ年
艦隊その他で海上勤務實習……………約四ケ月
航空術練習生（操縦、偵察の内一種）……………約一ケ年

ロ、現役年限

海軍志願兵の現役期間は五年で、更に希望するものは、満期前に出願すれば二年を一期として、再

現役を銓衡の上で許可されるのである。下士官に進めば、更に六年間現役を勤め、その後は前と同様に再現役を願ひ出ることが出来る。そしてまた准士官、特務士官に進めば、准士官は四十八歳、特務少尉は五十歳まで、特務大尉は五十二歳まで、現役に勤めることが出来る。

ハ、給 與

次に海軍特務士官以下はどの位の給料を貰ふかといふと、それは次の表の通りで、この外に特務士官、准士官には食料を金で貰へるし、下士官兵には衣服、糧食を官給される。また俸給以外に航海加俸、航空加俸、特別加俸及び諸手当等がある。別に志願兵を出した家族には、毎年十八圓を九月と三月の二回に分けて給與される。

官 等 (給 俸) 別	俸 給 月 額
特 務 大 尉	一七二圓 五〇〇
同 特 務 中 尉	一五九 一六〇
同 特 務 少 尉	一四五 〇〇〇
同 特 務 少 尉	一三五 八三〇

官	准 士 官	下 士 官	一 等 兵 (特 別 俸)
特 務 少 尉	一 級	一 級	一 七 圓
二 級	二 級	二 級	八 〇 〇
三 級	三 級	三 級	一 〇 一 圓
四 級	四 級	四 級	一 一 四
一 等 下 士 官	一 級	一 級	一 五 九
二 等 下 士 官	二 級	二 級	一 七 二
三 等 下 士 官	三 級	三 級	一 八 五
同 三 等 下 士 官	四 級	四 級	一 九 八
同 二 等 下 士 官	一 級	一 級	二 一 一
同 二 等 下 士 官	二 級	二 級	二 二 四
同 一 等 下 士 官	三 級	三 級	二 三 七
同 一 等 下 士 官	四 級	四 級	二 五 〇
同 一 等 下 士 官	五 級	五 級	二 六 三
同 一 等 下 士 官	六 級	六 級	二 七 六
同 一 等 下 士 官	七 級	七 級	二 八 九
同 一 等 下 士 官	八 級	八 級	三 〇 二
同 一 等 下 士 官	九 級	九 級	三 一 五
同 一 等 下 士 官	十 級	十 級	三 二 八
同 一 等 下 士 官	十一 級	十一 級	三 四 一
同 一 等 下 士 官	十二 級	十二 級	三 五 四
同 一 等 下 士 官	十三 級	十三 級	三 六 七
同 一 等 下 士 官	十四 級	十四 級	三 八 〇
同 一 等 下 士 官	十五 級	十五 級	三 九 三
同 一 等 下 士 官	十六 級	十六 級	四 〇 六
同 一 等 下 士 官	十七 級	十七 級	四 一 九
同 一 等 下 士 官	十八 級	十八 級	四 三 二
同 一 等 下 士 官	十九 級	十九 級	四 四 五
同 一 等 下 士 官	二十 級	二十 級	四 五 八
同 一 等 下 士 官	二十一 級	二十一 級	四 七 一
同 一 等 下 士 官	二十二 級	二十二 級	四 八 四
同 一 等 下 士 官	二十三 級	二十三 級	四 九 七
同 一 等 下 士 官	二十四 級	二十四 級	五 一 〇
同 一 等 下 士 官	二十五 級	二十五 級	五 二 三
同 一 等 下 士 官	二十六 級	二十六 級	五 三 六
同 一 等 下 士 官	二十七 級	二十七 級	五 四 九
同 一 等 下 士 官	二十八 級	二十八 級	五 六 二
同 一 等 下 士 官	二十九 級	二十九 級	五 七 五
同 一 等 下 士 官	三十 級	三十 級	五 八 八
同 一 等 下 士 官	三十一 級	三十一 級	六 〇 一
同 一 等 下 士 官	三十二 級	三十二 級	六 一 四
同 一 等 下 士 官	三十三 級	三十三 級	六 二 七
同 一 等 下 士 官	三十四 級	三十四 級	六 四 〇
同 一 等 下 士 官	三十五 級	三十五 級	六 五 三
同 一 等 下 士 官	三十六 級	三十六 級	六 六 六
同 一 等 下 士 官	三十七 級	三十七 級	六 七 九
同 一 等 下 士 官	三十八 級	三十八 級	六 九 二
同 一 等 下 士 官	三十九 級	三十九 級	七 〇 五
同 一 等 下 士 官	四十 級	四十 級	七 一 八
同 一 等 下 士 官	四十一 級	四十一 級	七 三 一
同 一 等 下 士 官	四十二 級	四十二 級	七 四 四
同 一 等 下 士 官	四十三 級	四十三 級	七 五 七
同 一 等 下 士 官	四十四 級	四十四 級	七 七 〇
同 一 等 下 士 官	四十五 級	四十五 級	七 八 三
同 一 等 下 士 官	四十六 級	四十六 級	七 九 六
同 一 等 下 士 官	四十七 級	四十七 級	八 〇 九
同 一 等 下 士 官	四十八 級	四十八 級	八 二 二
同 一 等 下 士 官	四十九 級	四十九 級	八 三 五
同 一 等 下 士 官	五十 級	五十 級	八 四 八
同 一 等 下 士 官	五十一 級	五十一 級	八 六 一
同 一 等 下 士 官	五十二 級	五十二 級	八 七 四
同 一 等 下 士 官	五十三 級	五十三 級	八 八 七
同 一 等 下 士 官	五十四 級	五十四 級	九 〇 〇
同 一 等 下 士 官	五十五 級	五十五 級	九 一 三
同 一 等 下 士 官	五十六 級	五十六 級	九 二 六
同 一 等 下 士 官	五十七 級	五十七 級	九 三 九
同 一 等 下 士 官	五十八 級	五十八 級	九 五 二
同 一 等 下 士 官	五十九 級	五十九 級	九 六 五
同 一 等 下 士 官	六十 級	六十 級	九 七 八
同 一 等 下 士 官	六十一 級	六十一 級	九 九 一
同 一 等 下 士 官	六十二 級	六十二 級	一 〇 〇 四
同 一 等 下 士 官	六十三 級	六十三 級	一 〇 一 七
同 一 等 下 士 官	六十四 級	六十四 級	一 〇 三 〇
同 一 等 下 士 官	六十五 級	六十五 級	一 〇 四 三
同 一 等 下 士 官	六十六 級	六十六 級	一 〇 五 六
同 一 等 下 士 官	六十七 級	六十七 級	一 〇 六 九
同 一 等 下 士 官	六十八 級	六十八 級	一 〇 八 二
同 一 等 下 士 官	六十九 級	六十九 級	一 〇 九 五
同 一 等 下 士 官	七十 級	七十 級	一一 〇 八
同 一 等 下 士 官	七十一 級	七十一 級	一一 二 一
同 一 等 下 士 官	七十二 級	七十二 級	一一 三 四
同 一 等 下 士 官	七十三 級	七十三 級	一一 四 七
同 一 等 下 士 官	七十四 級	七十四 級	一一 六 〇
同 一 等 下 士 官	七十五 級	七十五 級	一一 七 三
同 一 等 下 士 官	七十六 級	七十六 級	一一 八 六
同 一 等 下 士 官	七十七 級	七十七 級	一二 〇 〇
同 一 等 下 士 官	七十八 級	七十八 級	一二 一 三
同 一 等 下 士 官	七十九 級	七十九 級	一二 二 六
同 一 等 下 士 官	八十 級	八十 級	一二 三 九
同 一 等 下 士 官	八十一 級	八十一 級	一二 五 二
同 一 等 下 士 官	八十二 級	八十二 級	一二 六 五
同 一 等 下 士 官	八十三 級	八十三 級	一二 七 八
同 一 等 下 士 官	八十四 級	八十四 級	一二 九 一
同 一 等 下 士 官	八十五 級	八十五 級	一三 〇 四
同 一 等 下 士 官	八十六 級	八十六 級	一三 一 七
同 一 等 下 士 官	八十七 級	八十七 級	一三 三 〇
同 一 等 下 士 官	八十八 級	八十八 級	一三 四 三
同 一 等 下 士 官	八十九 級	八十九 級	一三 五 六
同 一 等 下 士 官	九十 級	九十 級	一三 六 九
同 一 等 下 士 官	九十一 級	九十一 級	一三 八 二
同 一 等 下 士 官	九十二 級	九十二 級	一三 九 五
同 一 等 下 士 官	九十三 級	九十三 級	一四 〇 八
同 一 等 下 士 官	九十四 級	九十四 級	一四 二 一
同 一 等 下 士 官	九十五 級	九十五 級	一四 三 四
同 一 等 下 士 官	九十六 級	九十六 級	一四 四 七
同 一 等 下 士 官	九十七 級	九十七 級	一四 六 〇
同 一 等 下 士 官	九十八 級	九十八 級	一四 七 三
同 一 等 下 士 官	九十九 級	九十九 級	一四 八 六
同 一 等 下 士 官	一百 級	一百 級	一四 九 九

兵			
一	等	兵	一六〇〇〇
二	等	兵	一三〇〇〇
三	等	兵	一〇〇〇〇
四	等	兵	六〇〇〇〇

二、恩給

士官、特務士官、准士官は十三年以上、下士官は十二年以上現役に勤めた者、又はこの年数を勤めないでも、戦闘とか公務に原因する傷痍疾病によつて、不具廢疾になつて現役を離れたものは恩給を受け、また本人が死亡すれば、その遺族に對する扶助の制度が設けられてある。こゝで言ふ十二年、十三年以上勤めたものといふのは、戦役、各地の警備、遠洋航海、聯合艦隊勤務、航空機勤務、潜水艦、小驅逐艦、水雷艇、掃海艇勤務などに勤務したのを加算して十二年、十三年になればよいのであるから、實際は八、九年位で恩給資格を得るのが例である。

また海軍に服務してゐるうちに、恩給資格を得られなくても、満期になつて歸郷してから後巡查、看守の様に、恩給のつく職に就いた場合には、前の海軍服務中の勤続年が、通算されることになるか

ら、大變有利である。

ホ、叙位叙勳

普段でも准士官や下士官で、在職十五年以上の勤務者には位を授けられるし、またそれぞれ年限に従つて勳章を授けられて、その名譽を表彰される。

へ、學校及び練習所

海軍下士官兵には、各兵種によつて専門の技術を修得させる爲めに、種々の教育機關が設けられてゐて、志願したものの中から選抜して入校させ、卒業したものは特修兵として、夫々重要配置につき進級するにも特典があり、また一定の加俸も支給される。特に各高等科の特修科を、優等の成績で卒業したものには、長くも恩賜品を御下賜せられる光榮に浴するのである。

参考のために學校、練習所等を列記してみると、次の通りである。

水	砲術	特修別	教育する場所	卒業後の主なる配置
	測的術			

兵	水雷術	海軍水雷學校	魚形水雷の射手、發射機員、機雷員
	運用術	海軍航海學校	操舵員、應急作業員
兵	信號術	海軍航海學校	信號員(手旗發光旗流發音) 喇叭傳令員、見張員
	電信術	海軍通信學校	無線電信員
航空兵 (豫科及偵察練習生志願者を除く)	水雷術 (航空魚雷)	海軍水雷學校	航空魚雷の整備
	整備術	海軍航空隊	航空機整備員(卒業後整備兵となる)
航空兵 (豫科練習生志願者)	航空兵器術	横須賀	航空兵器整備員
	航空術 (偵察)	海軍航空隊	飛行機塔乗員

機 關 兵	機 關 術 (掌内火)	海軍工機學校	機械運轉員、罐焚火員
	電 機 術		發電機員、電動機員
軍 樂 兵	工 術	金属工業員、木具工業員	
	軍 樂 術	吹奏樂、絃樂	
看 護 兵	看 護 術	傷病者の看護、治療の介抱、調劑	
	掌 厨 術	兵食調理、金錢物品會計	
主 計 兵	航 空 術 (操縦偵察)	飛行機塔乗員(卒業後航空兵となる)	
	經 理 術	庶務、金錢物品會計(卒業後主計兵となる)	
各 兵 種	尚ほ當分の間整備術練習生、航空兵器術練習生は水兵、機關兵から、水雷術(航空魚雷)練習生は、水兵からも採用される。		

この外、准士官及一等下士官のうちで優秀な者は、試験の上選修學生として各科別に、海軍兵學校、機關學校、軍醫學校、經理學校に入學させられ、將來尉官に準ずる勤務に服するのに必要な教育を授けられる。

一〇 海軍少年航空兵とは

近代の戦争はその戦闘の方法を一變して、科學の戦争となり、その國の科學の發達の如何が、戦争に於ける勝敗を決するやうになつた。殊に飛行機が目覺しい發達と飛行技術の進歩とは相俟つて、今までのやうに大洋の隔りとか、山嶽の防壁などは、何等の防備とはならなくなつてしまつた。それ故各國は争つてその空軍を充實して、一朝事を構へる場合には、一舉に空襲によつて敵國を壊滅せんと準備してゐるのは、最近のエチオピア對伊太利戦争がよく證明してゐる處である。

我が國は幸に東は太平洋の守りがあるが、西は狭小な日本海を隔て、尨大な軍備を持つてゐるソヴキートに對してゐる故、この方面に對する防禦陣は、勢ひ大きな空軍を必要とする。勿論この空軍といふのは陸軍、海軍の兩飛行隊の團結であることは、言ふまでもないことであるが、就中海軍は國

防第一線にあるのであるから、その最前線に活躍する海軍飛行隊の充實は、一日たりとも缺くことが出来ないのである。

そこで我が海軍では昭和五年から、俗に少年航空兵と呼ばれてゐる、少年志願兵といふ特別な制度を設けて、横須賀海軍航空隊の豫科練習生として收容して、飛行技術の教練を行つてゐるのである。

一一 海軍少年航空兵の目的

この少年航空兵といふ制度は、我が海軍が世界に率先して設けた制度であつて、歐米各國にもその例を見ないのである。この制度は飛行機が目覺しい發達と、飛行機に對する世間の理解との結果、少年航空兵志願者の數は、年々著しい増加を示してゐる。それであるから志願者諸君のために、少年航空兵に關する諸般の説明をすることは、穴勝ち無用のことではあるまい。

少年航空兵は、たゞに飛行機を巧妙に操縦するといふだけではなくて、機上で種々の作業（例へば偵察、測的、空中撮影、通信等）をすると同時に、敵の飛行機を發見すればこれと戦闘を開始したり、敵艦を攻撃したりするのであつて、かういふ複雑な任務を完全に果すのは、なか／＼尋常一様な技能

では、到底盡すことが出来ないのである。

さういふ譯で、どうしても深い専門的な素養が必要になつてくるので、海軍飛行機の搭乗員には、海軍兵學校で専門の教育を受けた將校を充てるのが、最も理想的である。然しそれには多數の將校を選抜して、これに充てなければならぬのと、その他の關係からどうしてもさういふことが出来ないので、一時の便法として、海軍下士官兵から飛行機搭乗員を採用してゐたのである。

ところが、それでは在學年限とか専門的知識とかの點で、不満足な事が多いので、この缺陷をふさぐために、少年航空兵といふ制度が採用されたのである。これによつて比較的年少の、しかも素質の優秀な者を選抜して教育するのであるから、それ以前の航空勤務の青年將校の代用者としても、充分役に立つのである。

一二 海軍少年航空兵の教育

少年航空兵は僅かに高等小學を卒へたばかりのもので、それが複雑極りない海軍作戦に参加する、海軍飛行機の搭乗員になつて、完全にその任務を盡さなければならぬのであるから、その教育も猛烈

であることは想像するのに困難ではない。

先づ少年航空兵は、約四年三ヶ月にわたつて、三期の教育を受けるのである。

第一期は横須賀海軍航空隊に入隊して、三ヶ年間に基礎教育として普通學、兵學の一般、その他に體育が課せられる。普通學は修身、國語、漢文、作文、算術、代數、幾何、三角、物理、化學、地理歴史、英語等で、大體に於て中學程度の課程を了へるのであるが、數學はそれ以上に及び、球面三角法の初歩もやり、物理化學も中學校卒業程度よりは稍高い程度までやる。

一方少年航空兵も海軍々人であるから、軍人として必要な兵學は、海軍兵學校に準じた教育を受ける上に、飛行員として必要な、木工とか金工とかの工作術や、無線電信の技術も修めさせられる。

また體育も盛んで、柔道とか、劍道とか、水泳とか、相撲とか、ラクビーとか、バスケットボールとか、バレーボールなどをやる。これも皆飛行員として必要な、感の養成のためにやると言ふ方が適當である。

かうして三年の基礎教育を卒へると、今度は聯合艦隊に屬する軍艦に六ヶ月乗組んで、三年間に習つた學問と技術を、實地について演習するのである。これが第二期の教育となつてゐる。

それから第三期には、横須賀海軍航空隊か霞ヶ浦海軍航空隊に入つて、こゝで一ケ年間飛行機に関する實地の専門的な教育を受け、個人々々の向き不向きによつて、或は操縦者に、或は偵察者になり、こゝを了へると初めて一人前の飛行員になつて、實施部隊（海軍飛行隊）で活動することになる。

一三 海軍少年航空兵の待遇と進路

少年航空兵は、採用された日から四等航空兵となり、三度の食事は言ふまでもないが、その外、服装から靴、教科書その他必要なものは、一切皆官費であるばかりでなく、一ヶ月六圓二十錢の小遣錢が貰へるし、また休暇の時の旅費等もちやんと支給される。二年生になると三等航空兵に進級して、小遣錢も十一圓六十錢に増額され、三年生になると二等航空兵になり、小遣錢は十三圓十錢に上げられる。今満十五歳で少年航空兵に採用されたとすると、十八歳で一等航空兵になり、十九歳で卒業の時には、三等航空兵曹（判任官）になるのである。それから先は實際の飛行勤務に服しながら累進して、二十四歳位で海軍航空特務少尉（高等官）になる。その以後は實力次第で進級して、佐官に昇進することも出来る。

一四 少年航空兵志願者の資格

少年航空兵を志願することが出来る者は、志願する年に満十五歳以上十七歳以下となつてゐたが、昭和十二年度からは一年延長されて、満十八歳まで志願する資格があるやうになつた。（大正九年十二月三日から大正十二年十二月二日迄の出生）

志願者には身體検査、適性検査及び學術試験が課せられる。身體検査は一般志願兵よりも少し規格が高い。この身體検査と適性検査に合格した者は、高等小學校卒業程度の學術試験を受けることが出来る。この三つの試験に合格した者が採用豫定者になり、入隊の際には、矢張り一般志願よりは更に綿密な身體検査を受けるのである。

一五 海軍少年航空兵の志願期日

少年航空兵志願者は、一般志願兵と同様に、毎年八、九月頃に府縣知事から召募の告達があつて、それが市町村役場に掲示されるから、それを見て志願の期日を承知して置くがよ。

學術試験は算術、國語、口頭試問、メンタルテスト等である。

毎年採用される人員は、その年によつて多少の増減があるが、大體百五十名位のところである。しかし志願者の數は、この少年航空兵のどういふものであるか、世間に廣く知れ渡るに従つて、年々殖えへて来て昨年は數千人に上つてゐる。つまり平均すると採用人員一人に對して數百人の割合になつて來た。かうなると勢ひ、採用試験の程度そのものには變りがないが、種々な點で種々な條件が難しくなつて來るのは、自然の成行である。それ故志願しやうとする諸君は學力の點では勿論、體格視力、聽覺、反應神經といふやうな點で、充分の自信がなければならぬ點に注意されることを望む。

一六 海軍少年掌電兵とは

前に述べたやうに、海軍志願兵の中にはこの少年電信兵が含まれてゐるのであつて、志願者の資格は年齢滿十五歳以上から滿十九歳以下の者に限られて居る。少年電信兵の志願者も他の兵種の志願者と同様に、嚴重な體格検査の外に、高等小學卒業程度の學力試験が行はれ、これに合格した者に充分な身分調査が行はれた上、初めて採用されるのである。

少年電信兵も他の志願兵と同様、服役年限は五年であるが、然しその間に下士官に任用されると、更に六年の服役義務が生じる。この電信兵の徵募は、海軍徵募官が毎年一月から四月上旬迄の間に、各地に出張して行ひ、愈々採用されると、その年の六月一日に海兵團に入團する。

少年電信兵は六月一日に入團して、三ヶ月間の速成の新兵教育を受けて、海軍三等水兵に進級し、同時に通信學校の普通科練習生になり、こゝで約一年間無線電信の教育を受け、海軍二等水兵として軍艦に配置される。

一七 海軍諸工廠見習職工になるには

これまでは海軍志願兵、少年航空兵等といふ海軍々人になる道を説明した。こんどは海軍の軍人ではないが、矢張りこの方面に關係のあるもので、小學校卒業の程度があれば就職出來て、その上將來のある、海軍諸工廠の見習職工について述べてみよう。

一八 海軍工廠とはどんな處か

海軍工廠は海軍省艦政本部に屬してゐて、軍艦とか、驅逐艦とか、潜水艦又は飛行機などといふ海軍の兵器を製造したり、若くは修理する海軍直屬の工場である。この工廠が我が海軍で始めて創立されたのは、明治二十三年十月の事であつて、それ以來日清、日露、歐洲大戰等を経て、今日我が國が世界的な發展をすると共に、最新の機械を使つて十萬餘の工廠従業員が、日となく夜となく奮闘努力して、我が國國防の隠れた礎石になつてゐるのである。

それでは海軍工廠は何處にあるかといふと、それは軍港の所在地である横須賀、吳、佐世保、舞鶴と廣島の五工廠に、徳山海軍燃料廠、平塚海軍火藥廠の二大廠である。

一九 海軍工廠の組織

海軍工廠は前に述べた通り、海軍の兵器や軍艦の製造とか修理をする所であるが、これをいま少し詳しく、その組織について説明してみよう。

工廠の内部は大體次のやうに分れてゐる。

▼造船部——こゝでは軍艦とか、驅逐艦とか、潜水艦及びその他の艦船の製造や修理をするのである。

る。

▼造機部——こゝでは艦船の機械を製造したり修理をしたりする。

▼航空部——こゝでは飛行機を製造したり修理したりするのである。

▼會計部——こゝでは工廠の従業員の給料を支拂つたり、種々支出の計算とか支拂をする。

▼總務部——こゝでは従業員の雇入とか解雇その他の雜務を見るのである。

二〇 見習職工とはどんなものか

海軍工廠の見習職工といふのは、満十四歳以上十七歳以下のもので、それらの工廠で行つた採用試験に合格して採用されたものである。そして採用と同時に日給四十五錢を貰ひ、廠内の教習所に入つて勤務時間内に職務上必要な普通學（數學、國語、英語等）と、専門學（仕事の種類によつて種々ある）を習ひ、三年たつとこの教習所を卒業する。

教習を了へると三年間はその工廠に勤める義務がある。その義務を果せば特に昇給の恩典があり、工廠従業員の中堅として重く用ひられるし、努力次第によつて將來、技手（判任官）技師（高等官）

二〇 見習職工とはどんなものか

にまでもなれる。

さて職工には、どんな種類があるかといふと、これは製圖工、鍛工、鑄工、機工、仕上工、熔接工、木工、銅工、電気工、製罐工、記録工、鐵木工、鐵工分析工、計器工、填隙工、縫工、綱具工、塗工、鉄打工、焼鐵工、水雷工、火工、印刷工等がある。

そしてこれまた階級によつて職工と職夫とに區別され、職工は更に職工、伍長職務執行、伍長、組長職務執行、組長、工手に分かれてゐる。これは勿論見習職工が年限によつて、段々かういふ順序で昇進して行くのは、前に述べた通りである。

工廠では見習職工の外に従業員の不足を補充するために、職夫を毎月随時に募集してゐる。これには數千名に上るから、見習職工の採用試験をのがしたものは、この方へ入つて昇進の機会を待つのもよい方法である。

職工の給料は普通十時間勤務で、日給一圓五十錢が最低であるが、十時間で終ることは稀つたになく、大抵二時間とか四時間の残業があつて、これには残業手当が出るし、また出勤手当があるから、給料日には一圓五十錢の職工でも、六十圓から七十圓にもなる。

入廠してから二、三年経つと、昇給して一圓七十錢位になり、五、六年経てば二圓位は貰ふやうになる。だから海軍工廠の職工は、給料日には七十圓位から二百圓位まで貰つて歸へるのが普通で、民間の工場に較べると大變な優遇ぶりである。

二二 見習職工の應募資格

見習職工になるには満十四歳以上十七歳以下の少年で、高等小學卒業程度以上の學力があればよいのである。勿論小學校卒業だけのものでも實力があれば、應募して試験を受けられる。

出願の期日は工廠によつてまち／＼だが、大抵一月中旬から二月上旬頃と思へばよい。しかし志願しやうとする諸君は、自分の目ざす工廠の人事係に問合せて、豫め期日を確めて置く必要がある。次に各工廠について少し説明してみやう。

二二 海軍工廠見習職工教習所

イ、横須賀海軍工廠見習職工教習所

二一 見習職工の應募資格

これは横須賀市元町の海軍工廠の中にあつて、この生徒になるには満十四歳以上十七歳以下の男子で、高等小學校卒業程度以上の學力があり、身體強健で思想堅實な者に限られてゐる。それは職工ではあるが海軍の直營工場で働き、軍艦、兵器、精密機械等の製作に従ふから、かういふ嚴重な條件がつけられるのである。

募集人員はその年によつて、多少の増減はあるが、大體五百名前後と思へば間違ひはない。出願の期日は二月中旬から三月上旬頃だが、少し早くに直接工廠の人事係の問合せて致へて貰ふとよい。

願書の受付を締切ると、二週間後には試験が行はれるやうだ。この試験には學術試験（口頭試問も含む）身體検査があつて、身體検査は學術試験に合格したものだけが受けられるのである。この點は志願兵などの場合とは反對だ。

學術試験は、國語、算術、圖畫がその科目で、試験を行ふ場所は横須賀海軍工廠本部、造兵部がこれに充てられる。

志願者は出願期日内に、志願書、履歴書、戸籍抄本、卒業證書の寫、寫眞等をひと纏めにして、工廠の人事係に差出すのである。試験に合格して採用されると、日給として四十五錢支給され、三ヶ年

で技術と學科を勉強することになる。そして卒業後は、引續いて三年間は就職の義務を負ひ、自分の都合によつて退職しないといふ誓約書を入れるのである。一旦採用になつたものは、全部共済組合員になつて、僅かづ、掛金をしてゐれば、病氣になつた場合には無料で診療を受けることが出来るし、また組合に加入してから二十年以上になつて退職する場合には、九十日以上の年金を貰へる規定がある。

ロ、吳海軍工廠見習職工教習所

吳海軍工廠は廣島縣吳市にある。この見習職工教習所も、横須賀の見習職工教習所と同じに、満十四歳以上満十七歳未満の男子で、高等小學校卒業程度以上の學力があり、身體強健、思想堅實なものでなければならぬ。

募集人員は十年度は

砲 煩 部	百二十六名	水 雷 部	七十一名
電 氣 部	七十一名	造 船 部	七十六名
造 機 部	八十名	製 鋼 部	六十九名

實雷實驗部

三名

電機實驗部

四名

の合計五百名であつて、しかしこの採用人員は、その年によつて多少の増減があることは、前の横須賀と同様である。

出願期日は一月下旬から二月中旬まで、これも工廠の人事係へ前以て問合せて、よく確め置くがよい。

試験は學術試験と身體検査で、その日割は十年度には、

二月廿二日

豫備試験

二月廿七日

豫備試験合格者發表

三月一日、二日

體格検査（一日は即日決定）

三月八日

學科試験（算術、國語、理科、地理、歴史、圖畫）

自三月九日至廿日

人物検査

三月廿三日

採用決定

志願者は出願する時に、志願書（履歴を記入して）寫眞、卒業證明書を人事係に差出すのである。

採用されると矢張り日給四十五錢を支給されること、卒業後は三年間就業して、自分の都合では退職しないといふ誓約書を入れることは横須賀の場合と同じである。

へ、佐世保海軍工廠見習職工教習所

この教習所は長崎縣佐世保市にある。入所の資格は前の二つと同じで、修業年限も矢張り三年である。

募集人員は十年度は全部で二百三十名で、その内譯は

- | | | | |
|------|------|-----|------|
| 造兵部 | 八十六名 | 造船部 | 七十六名 |
| 航空機部 | 十八名 | 造機部 | 五十五名 |

であつた。

出願期日は二月下旬まで、受付の場所は前の二つと異つて各地の職業紹介所であつた（規則書、願書等も各職業紹介所で呉れる）しかし念のために工廠の人事係へ問合せてみるがよい。

試験は三月上旬に學術試験（算術、國語、理科、精神検査）三月下旬に身體検査と口頭試問があつた。學術試験の場所は佐世保工廠、熊本碩臺小學校、鹿兒島市縣教育會館等で、身體検査は佐世保工

廠で行はれた。もつとも學術試験に充てられた工廠以外の場所は、その時の都合によつて變へられるので、必ず以上の場所で行はれるとは限らぬ。

志願者は工廠から志願票を貰つて、それに必要な事柄を記入して、各職業紹介所か又は工廠の募集係に差出せばよい。

採用後の條件は前の二つと同様である

二、横須賀海軍航空廠見習職工教習所

この教習所は横須賀市浦郷にある。入所資格は満十四歳以上満十七歳以下の男子で、身體强健、品行方正であつて、高等小學校卒業程度以上の學力があれば、誰でも志願することが出来る。

募集人員は五十名位で、出願期日は二月下旬から三月中旬頃までだが、詳しいことは航空廠の人事係に問合せれば教へて貰へる。

採用試験は學術試験と身體検査並に人物考査があつて、これは三月下旬に行はれる。學術試験の科目は算術、圖畫、綴方である。試験場は航空廠本部が充てられる。

志願者は出願期日内に志願書、履歴書、戸籍抄本、寫眞、卒業證明書を航空廠人事係に差出すので

ある。

修業年限は本科が三年、補習科が一年の合計四年であつて、採用されると初給十三圓五十錢を支給される。

見習成業後には、學術技能の優秀なものは選抜の上、海軍技手養成所に入所させられるし、また一般にその成績によつて伍長、組長、職工、工手（研究助手、計畫助手）から、海軍技手、技師に進む途も開けてゐるから、眞面目さを失はず、一所懸命に努力することが必要である。

二三 海軍將校になるには

陸軍現役士官になるのに、二つの階梯があるやうに海軍士官になるにも三つの途がある。即ち第一は初めから海軍兵學校、海軍機關學校、海軍經理學校等に入つて、成規の教育を受けるのと、第二は海軍志願兵又は兵から段々に昇進して士官になると、第三は大學令による大學か又は専門學校で、海軍の委託生になつて各科に必要な學術を修めて、卒業後に士官に任用されるのである。

先づ順序として初めから士官になるために、海軍兵學校、機關學校、經理學校に入學する方法から

説いて行かう。

二四 海軍士官養成の諸學校

一、海軍兵學校 (所在地 廣島縣江田島)

海軍兵學校は海軍兵科(陸軍でいふ本科)將校になる教育を授ける所で、こゝには海軍兵曹長も入學出来る。此處に入つた兵曹長は、兵科特務士官として必要な教育を受けるのである。

海軍兵學校の生徒は、滿十六年以上十九年末滿の志願者の中から、體格検査及び中學四年修業程度の範圍で行はれる學術試験(口頭試問をも含む)の結果、選抜されて採用になる。尙ほ詳細の點は、毎年四月頃海軍省から告示されるから、それについて見るがよい。例年の採用人員は約二百名位である。

此處に入學した生徒は、四ヶ年間に訓育と學術教育を施され、卒業すると同時に海軍少尉候補生を命ぜられ、練習艦隊に乘組み約八、九ヶ月間遠洋航海をして、歸朝後は數ヶ月實務練習に従事する。實務練習は二期に分れてゐて、第一期は特定の練習艦に乘組んで、初級兵科勤務將校の要領を會得すると同時に、軍人精神の涵養に努める。第二期は第一期實務練習を卒へた者を、海軍砲術學校、海軍水雷

學校及び海軍航空隊練習部に入れて、學術講習を施すのである。これが終ると初めて海軍少尉に任じられる。

兵學校の生徒は入校の日から海軍の兵籍に編入され、一身上の都合によつて退校することを許されぬ。此處で要する一切の費用は勿論官給され、別に一ヶ月四圓の手當を支給される。生徒はすべて宿舍に起臥して、朝夕周密懇切な職員の指導を受けながら教育されるのである。

二、海軍機關學校 (所在地 京都府中舞鶴町)

この學校は海軍機關將校となる生徒に必要な教育をする外、海軍機關兵曹長で入學してゐる選修學生には、機關科特務士官となるのに必要な教育をする。

生徒は兵學校と同様に、滿十六年以上十九年末滿の志願者のうちから、體格検査及び中學四年修業程度の範圍で行はれる、學術試験(口頭試問をも含む)によつて選抜して採用されるのである。體格検査は大體七月下旬から八月月上旬にかけ、學術試験は十月に行つて、約七、八十名が採用される。入校するのは翌年の四月で、滿四ヶ年在學して卒業する。

機關學校の教育は訓育と學術教育とに分れてゐて、訓育は聖旨を奉體して軍人精神を涵養し、軍紀に

慣熟して心身を修練するのが目的であり、學術教育は初級機關科將校として必要な、基本の軍事學と普通學とであつて、將來研鑽修習する素地を作ることが主眼になつてゐる。生徒は滿四ヶ年の教程を卒へると、その日から海軍機關少尉候補生を命じられ、海軍少尉候補生、海軍主計候補生等と一緒に練習艦隊に乘組み、約八、九ヶ月間の遠洋航海を終つて歸ると、更に第一、第二艦隊等の新式艦船に配屬されて、數ヶ月間實務練習に従事した後、海軍機關少尉に任じられ、それからは段々と上の階級に昇進して行く。

こゝに入ると、その日から海軍兵籍に入れられ、自分一個の事情では退校することが出来ぬ。生徒には糧食被服その他一切の修學費用が官給されるが、小遣として毎月約十圓位は要る。校内では八個分隊に分けられ、常に生徒館に起臥して、朝夕周密懇篤な職員の指導を受けながら教育される。そして時には乘艦實習として、軍艦、驅逐艦又は潜水艦に乗つて、内地とか朝鮮の沿岸を巡航する。

三、海軍經理學校 (所在地 東京市京橋區小田原町三丁目)

海軍經理學校は海軍主計士官を養成する學校で、海軍主計兵曹長の階級にある學生には、主計科特務士官となるのに必要な教育を施し、海軍特修兵となる海軍下士官には、これに必要な學術教育する

のが目的である。

生徒は滿十六歳以上二十一歳未滿の志願者のうちから、身體検査と中學四年修業程度の範圍で行はれる、學術試験(口頭試問をも含む)によつて選抜して採用される。生徒の修業年限は四ヶ年で、卒業後は海軍主計少尉候生となつて、實務練習のために練習艦隊に乘組み、學校で修得したことを實地に活用し、艦船部隊の初級主計科士官としての、勤務の要領を會得するのである。

實務練習の期間は二期に分れ、第一期は特定の練習艦に乘組み、第二期は在役軍艦に乘組むのである。但し第二期には必要に応じて豫備軍艦又は陸上部隊で練習させられる。これが終れば初めて海軍主計少尉に任じられるのである。

生徒とし在學中の手當は、海軍兵學校と同様である。

以上で海軍士官となるための諸學校の大體を説いたから、生徒志願者の心得を述べて見やう。第一に年齢學力であるが、これは各學校について述べてあるから省略して、不採用となる條件を挙げるとイ、有妻の者

ロ、禁錮以上の刑を處せられた者

ハ、復権を得ざる破産者

ニ、品行不正其他の事情に依つて將來海軍士官としての體面を保つことが出来ぬと認められる者である。

二五 受験學校の選擇

次に志願する學校を選擇しなければならぬ。志願者は海軍兵學校、海軍機關學校及び海軍經理學校のうちの一校を志願するのであるが、その中海軍機關學校の志願者に限つて、別に海軍兵學校か又は海軍經理學校を併せて志願することが出来る。この場合に海軍機關學校の採用試験に合格して、海軍生徒採用豫定者として公表された時は、その志願を取消さなければ、海軍兵學校又は海軍經理學校の學術試験に應じることが出来ぬ。志願者は海軍生徒に採用され前ならば、採用試験の前後何れでもその志願を取消すことが出来るし、この場合には早速その志願した學校の海軍生徒採用試験委員か、或は採用試験場にゐる試験委員に、そのことを届出なければならぬ。

志願者は六月二十日迄に、次の書類を志願校(二校志願の者は兩校へ別々に)の海軍生徒採用試験委

員に差出さなければならぬ。

イ、志願票(第一號書式) 用紙は海軍生徒採用試験委員から呉れる

二 通

ロ、志願者戸籍謄本(その年の三月以後作製のもの)

志願者はまた志願書類を調製する上に次のやうな注意が必要である。

イ、志願票の請求及交付

志願校の海軍生徒採用試験委員に差出す志願票は、その委員に請求して貰ひばよいし、郵送を希望するならば、表面に自分の宿所氏名を記載して、郵券二錢を貼つた状袋を同封して送ればよい。

ロ、承認

志願者が未成年(大抵は未成年)であれば前以て親権を行ふ父母か、又は後見人の承認を得て置かなければならぬ(志願票中の承認者親族稱氏名欄に記入捺印)。海軍兵學校又は海軍機關學校生徒を志願して、身體検査場で海軍經理學校に轉志願をした者は、更めて親権者が後見人の承認を受けなくてはならぬ。(轉志願承認票は身體検査場で要る者に交付するのであるから、早速記名捺印して海軍經理學校の海軍生徒採用試験委員に差出さねばならぬ)

ハ、二校志願及志願校變更

二校志願の場合には、志願票の中の「上記志願校以外の海軍志願校名海軍〇〇學校」とある空所に他の一校志願校名を記入して、各志願校別に二通宛差出すのである。又志願校を變更した場合には、舊志願校にそのことを通知すると一緒に、更めて新志願校から志願票の交付を受けて、これを調製した上で差出すのである。但し身體検査場で海軍兵學校か、又は海軍機關學校から海軍經理學校に轉志願した者は、轉志願承認票を差出すだけでよい。

ニ、氏名、本籍、住所の記入

これ等は明確に記載して振假名を附け、また住所は本人が戸主でないとか、他家に寄寓してゐる時には、何某方と書いて置かなければならぬ。

ホ、所見書提出學校名及其の所在地名の記入

志願票の中の所見書提出學校名及びその所在地名欄には、自分の教育を擔任した中學校又はこれと同程度以上の學校名（二校以上に在籍したことがある者は、最近に在籍した學校名及び最も長く在籍した學校名、家庭教育を受けた者はその教師の氏名）及び所在地名を記入せねばならぬ。

ヘ、身元明細欄の記入及戸籍謄本

志願票の中に記入する父母、兄弟姉妹、戸主の項には、志願者が養子である時は養家及び實家の兩家のものを、また志願者が分家した戸主である時は、自家及び本家の兩家について記入せねばならぬ。

志願者が志願票を差出した後で、種々な異動があつたりした場合の注意を述べる。

ト、受験地變更

志願者が受験地を變更しやうとする時には、その年の七月一日迄に、志願校の海軍生徒採用試験委員に、これを届けなければならぬ。

チ、本人又は承認者身上の異動届出

志願者か又は承認者の本籍住所、若くは身上に異動があつた時には、本人から早速その志願校の海軍生徒採用試験委員に届出なければならぬ。

さて海軍兵學校、機關學校、經理學校等の採用試験はどうかといふと、これは前に述べたやうに身體検査、學術試験と口頭試問に分れてゐて、學術試験と口頭試問は身體検査の合格者について行はれ

る。次に採用試験について説明する。

イ、試験場

採用試験場は

札幌	青森	山形	仙臺	東京	横須賀	新潟
金澤	長野	名古屋	新舞鶴	大阪	鳥取	松江
岡山	吳	山口	松山	高知	大分	福岡
佐賀	佐世保	熊本	鹿児島			

ロ、身體検査

身體検査は三校とも同時に、七月下旬から八月上旬に亘つて行はれる。その期日及場所は七月二十日迄に、各學校の海軍生徒採用試験委員から、志願者に豫告される(二校志願の者には海軍機關學校の試験委員だけから通知される)。この豫告を受取らぬ志願者は、直接各學校の海軍生徒採用試験委員に問合せるがよい。身體検査の日割(實施月日、人名、注意事項)等は、検査開始の前日に検査場に掲示される。

身體検査に不合格となる標準は次の通りである。

- 一、身長一五二・〇糎(五尺)に達せぬ者。
- 二、體重四五瓩(十二貫)(十七年未滿の者は四三・〇瓩(十一貫五百匁)に達せぬ者)
- 三、胸圍七七・〇糎(二尺五寸三分)(十七年未滿の者は七五・〇糎(二尺四寸八分)に達せぬ者及胸廓擴張五・五糎(一寸八分)に達せぬ者)
- 四、身長、體重及胸圍が規定に適合しても著しく交互の對照を失ふ者。
- 五、活量三千立方糎に達せぬ者。
- 六、視力各一・〇(萬國試視力表に依る)に達せぬ者(海軍經理學校志願者に限り各視力〇・二に達せざる者及各限視力が〇・二以上であつて、矯正視力が一・〇に達せぬ者)
- 七、遺傳疾患の素因がある者及再發の虞のある疾患の既往歴ある者。
- 八、身體發育不全、體質薄弱、傷疾疾病に起因する全身衰弱。
- 九、白痴、精神異狀、著しい言語若は知覺障碍又は運動麻痺、發作性神經系疾患。

- 十、皮膚特に頭皮の慢性疾患、著しい腋臭又は癩痕。
- 十一、頭部顔面頸部の畸形又は著しい醜形、頭蓋骨折又は陥凹、頸腺腫大。
- 十二、識色力異常、斜視其の他重い眼疾患。
- 十三、聴力異常、中耳内耳疾患其の他重い耳疾患。
- 十四、重い鼻腔副疾患。
- 十五、重い口腔咽喉疾患、齒質不良又は齒數不足に因る高度の官能障碍下顎運動障碍。
- 十六、胸廓の畸形、扁平、胸膜胸部内臓疾患。
- 十七、「ヘルニア」、腹膜腹部内臓疾患。
- 十八、重い生殖器疾患。
- 十九、痔瘻、脱肛其の他重い肛門會陰疾患。
- 二十、四肢の畸形、傷痍疾病に起因する歪形、筋力薄弱、關節運動障碍。
- 二十一、脊梁骨盤の畸形、傷痍疾病に起因する歪形、運動障碍。
- 二十二、前諸號の外急治の見込のない傷痍疾病。

身體検査に合格した志願者には、身體検査合格證が與へられる。

ハ、學術試験

學術試験は、中學校第四學年第二學期修了程度を標準にして行はれる。その科目は、
 代數(負數、整數式、最大公約數、最小公倍數、分數式、方程式、累法及開法比例級數)
 幾何(平面幾何全部) 英語(英文和譯、和文英譯及英文法)

國語、漢文、作文、日本歴史

物理(物性、熱、音、光、磁氣、電氣(感應電流、放射能、電真空放電波を除く))

化學(無機化學(主な非金屬元素及其の化合物、主な定律、分子量及原子量、化學式金屬元素及
 其の化合物、化學量論の諸及化學方程式、酸、鹽素及鹽、溶液、電角及電離))

であるが、試験の成績が非常に悪いときは、その後試験を受けられぬ。

學術試験の日程は大體次の通りである。

海軍兵學校	十二月二十四日	代數、英語
同	二十五日	幾何、物理、化學
海軍經理學校	同 二十六日	日本歴史、國語、漢文、作文

十二月二十三日

代數、英語

海軍機關學校

同 二十四日

幾何、物理、化學

同 二十五日

日本歴史、國語、漢文、作文

口頭試問は學術試験が終つた次の日に、その最終の繼續者について、同じ場所で行はれる。

志願者が受験に際して心得て置かなければならぬことは、

イ、試験場には洋服又は袴を著けて行くこと。

ロ、身體検査の時には、單獨半身裸體で新に（その年の三月以後）撮影した「キャビネ」型厚畫紙

付（畫紙は堅二三・種（七寸七分）幅一五・二種（四寸九分）で覆裝のないもの）で、表面の餘白

に本籍氏名を、自筆で書いた寫眞一葉（海軍機關學校志願者で、別に海軍兵學校又は海軍經理學

校を志願した者は二葉）を持つて行くこと。

ハ、身體検査の際及び學術試験開始の當日に受験中の宿所届を差出すこと。

宿所届には自分の氏名を記入し、宿所には振假名附けて置く、又宿所を變へた場合には、その都

度届出なければならぬ。

ニ、試験場には毎日畫食を持つて行くこと。

ホ、病氣その他の事故に因つて、期日に身體検査又は學術試験に出頭することが出来ない場合には

その事情を述べて試験場にゐる委員に届出なければならぬ。

志願者自身の事情で所定の時日を變更しても検査、試験は受けられぬ。

といふ點である。

志願者が試験に合格して、海軍生徒採用豫定者に決定した時は、海軍兵學校及經理學校志願者は翌

年二月中旬、海軍機關學校志願者はその年の十二月上旬に官報で告示し、翌年三月下旬にそれ〴〵學

校に召集され、身體の再検査をされた上、海軍生徒を命じられる。この場合不合格者は採用されぬ。

採用豫定者を召集するには、海軍生徒採用試験委員長がこれを本人に通知するのである。

召集を受けた者は宣誓書（第二號書式）及び保證人二名（父兄又は身元確實な者で一家をなしてゐ

るもの）の連署した誓約書（第三號書式）一通を持つて、海軍生徒採用試験委員長が指定した日に、そ

れ〴〵の學校に行くのである。宣誓書及誓約書の用紙は、採用豫定者召集の通知と一緒に本人に送付

される。召集を受けた者には著校後に、本人の受験當時の住所から、その學校までの里程に應じて相

當の旅費を呉れる。不合格者を歸すときも同様である。

第二編 海軍志願兵、少年航空兵、工廠見習職工 採用試験問題並模範解答

一 海軍志願兵採用試験問題並解答

1 横須賀鎮守府徵募

一、次ノ漢字ニ讀假名ヲ附ケヨ。(二十分)

慰藉。 堪忍。 頗る。 嫉妬。 規模。
出納。 質素。 興味。 印象。 總括。

二、次ノ片假名ノ部分ヲ漢字ニ改メヨ。

法律は唯コクリミンブクをソウシンシアンネイチツチヨをホチせんが爲國家の權利を以てカンセ

フサベキジユウを規定するに止り、ダウトクに比すれば其ハンキ遙かに狭し。

三、次ノ傍線ノ部分ヲ解釋セヨ。

(イ) 死を見ること歸するが如し。 (ロ) 瓦となりて全からんよりも玉となりて碎けん。
(ハ) 事の成否は今より。 (ニ) 豫測すべからず。
(ホ) なき父上のおはしましたるにはあらずや。

四、次ノ漢字ニ反對ノ意味ノ漢字ヲツツケテ熟字ヲ作レ。

(イ) 苦 □ (ロ) 曲 □ (ハ) 緩 □ (ニ) 巧 □ (ホ) 利 □
(ヘ) 正 □ (ト) 損 □ (チ) 寒 □ (リ) 愛 □ (ヌ) 賢 □

五、次ノ語ヲニツツ結ビツケテ(同一ノ語ヲ二度用フルコトヲ禁ズ)意味ノ通ズル如キ五ツノ句ヲ作レ。

手紙、 留守宅へ、 行使、 ナラス、 果サナケレバ、
請求スル、 権利ノ、 權利、 送ツタ、 慰問、

一、慰藉。

堪忍。

頗る。

嫉妬。

規模。

出納。

質素。

興味。

印象。

總括。

二、國利民福。増進。安寧秩序。保持。干涉。道德。範圍。

三、(イ) 死ぬことを少しも恐れず、むしろ家に歸るやうに楽しむ。

(ロ) 何事もせず、徒らに生きながらへてゐるよりも、功名を立て、潔く死なう。

(ハ) 事が成功するか失敗するかは、(ニ) 前以ておしはかることは出来ぬ。

(ホ) 亡くなつた父が、お出になつたのではないか。

四、(イ) 苦樂

(ロ) 曲直

(ハ) 緩急

(ニ) 巧拙

(ホ) 利害

(ク) 正邪

(ト) 損得

(チ) 寒暑

(リ) 愛憎

(ヌ) 賢愚

五、慰問の手紙。

留守宅へ送つた。果さなければならぬ。

請求する権利。

権利の行使。

試験 (三十分)

1. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(イ) $\frac{3}{5} - \frac{2}{7} =$

(ロ) $6762\text{圓} - 1584\text{圓} + 6 + 2367\text{圓} =$

2. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(イ) $5\frac{2}{5} + 0.9 =$

(ロ) $10\text{日}4\text{時} + 2\text{日}13\text{時} =$

3. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(イ) $18\frac{2}{9} - 6\frac{13}{15} =$

(ロ) $5 - 2\frac{3}{16} + 5\frac{1}{4} =$

4. 甲乙二數アリ、其ノ和ハ720デアル、今甲數デ乙數ヲ割ツテ商4ト餘リ40ヲ得ク、甲乙二數ハ各何程カ。

5. 某航空隊ニアル飛行機ノ中共ノ五分ノ二ハ戦闘機デアツテ残りノ56機ハ攻撃機デアル、戦闘機ト攻撃機ノ差ハ何機カ。

1. (イ) 原式 = $\frac{21-10}{35} = \frac{11}{35}$

(ロ) 原式 = $6762\text{圓} - 264\text{圓} + 2367\text{圓} = 8867\text{圓}$

2. (1) 原式 = $\frac{27}{5} \times \frac{10}{9} = 6$ (ロ) 原式 = $224時 + 37時 = 6\frac{22}{37}$

3. (1) 原式 = $\frac{164}{9} - \frac{103}{15} = \frac{511}{45} = 11\frac{16}{45}$ (ロ) 原式 = $5 - \frac{35}{16} \times \frac{4}{21} = 4\frac{7}{12}$

4. 甲乙二數ヲ夫々 x, y トスレバ
 $x + y = 720 \dots\dots\dots(1)$ (2)ヲ(1)ニ代入スレバ $5y = 680$ $y = 139$
 $x = 4y + 40 \dots\dots\dots(2)$ $\therefore x = 720 - 136 = 584$
 答 { 甲 583
 乙 136

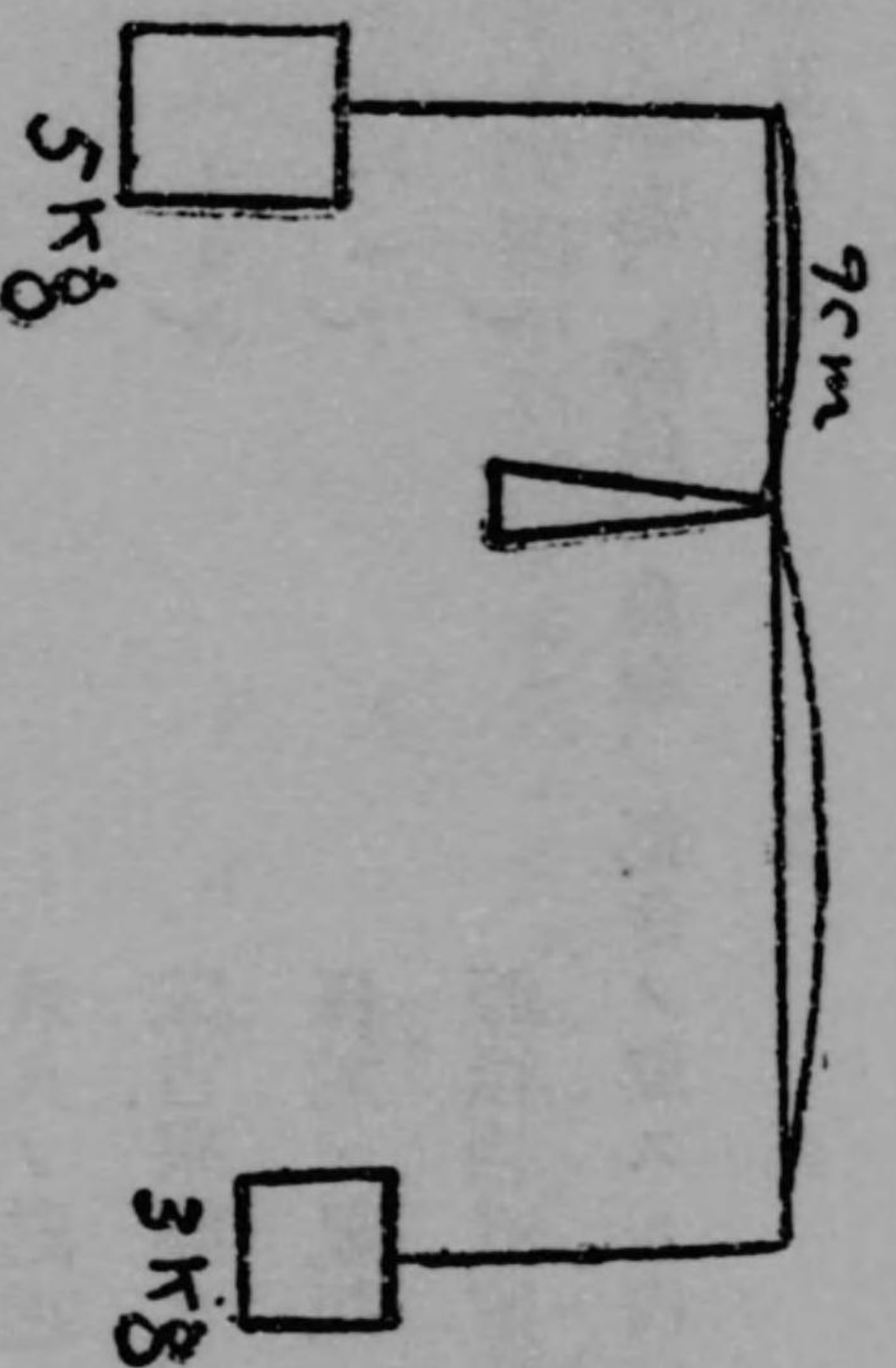
5. $56 + (1 - \frac{2}{5}) = 90$ $90 - 56 = 34$ $56 - 34 = 22$ 答 22機

豫科練習生雜問(航空兵)

一、水ハ何カラ出來テキルカ。

二、上ノ圖デ棒ガ水平ニナツテキル爲ニハ支點ト右點トノ隔リハ幾ラカ。

(但シ棒ノ重サハ考ヘナイ)



三、同ジ電池ヲ導線デ結ブ場合、長サモ太サモ等シカツタラ銅線ヲ使フノト鐵線ヲ通スノトデ何レガ大キイ電流ガ流レルカ。

四、(1)ノ人物ニ關係アル事柄ヲ(2)ヨリ擇ビ線ヲ以テ連結セヨ。

- | | | |
|-----|------|------|
| (1) | 北島親房 | 貞永式目 |
| | 塙保巳一 | 大化改新 |
| | 藤原鎌足 | 群書類從 |

一 海軍志願兵採用試験問題並解答

菊地 武光

島原ノ亂

北條 泰時

神皇正統記

板倉 重昌

小田原

北條 氏康

筑後川ノ戰

五、次ノ史實ヲ考へ、發生ノ順序ニ番號ヲ附セ。

番號

史 實

()

北條氏鎌倉ニ亡ブ。

()

承久ノ亂起ル。

()

蒙古來襲ス。

()

保元ノ亂起ル。

()

源頼朝武家政治ヲ始ム。

六、左ノ半島、岬角、島嶼、都會ノ屬スル府縣名ヲ記セ。

能登半島

鶴岡

室戸崎

堺

伊豆大島

七、左ノ諸國中石炭ヲ多量ニ産スルモノニ○ノ符號ヲ附セ。

イスパニヤ

米 國

フランス

イタリヤ

英 國

ポルトガル

ドイ ツ

シヤム

一、水に少量の硫酸を加へて、電氣を導き易い様にして、兩方の電極の上に水を充滿した試験管を逆にして、電流を通ずると、氣體が発生する。そして陰極から発生した氣體の量は、陽極から発生した氣體の量の二倍である。此の陰極から発生した氣體は水素で、陽極から発生した氣體は酸素である。しかも此の反應に當つて、水中の硫酸の量は、實驗の前後に於て少しも變化しない故、この酸素と水素とは、水から出來たものであることが判かる。この實驗によつて、水は酸素一容積と水素二容積とから出來てゐることを知る。

二、棒が水平であるためには、支點の左右兩側の力の能率が、相等しいことが必要である。故に今支點と右端との隔りを x とすれば、次の關係が成立する。

$5 \times 9 = 3 \times$

$\kappa = 15 \text{cm}$

三、同じ電池を導線でつなぐ時、即ち同じ電圧の二極間を流れる電流でも、導線の太さの大小品質等によつて非常に異なるのである。電流を弱めることの著しい導線を、電気抵抗の大きい物質といひ、電流をよく通じる導線を、電気抵抗の小さい物質といふ。電気抵抗は次の条件によつて相違する。

イ、物質によつて相違する。銀、銅は最も抵抗が少い。

ロ、導線の太い程抵抗が少くなる。

ハ、導線の長い程抵抗が多くなる。

今長さも太さも等しい銅線と鐵線とで、同じ電池を結べば抵抗の小さい導線即ち銅線の方がよく電流が流れる。

- 四、北 畠 親 房——神 皇 正 統 記
- 塙 保 已 一——群 書 類 從
- 藤 原 錄 足——大 化 改 新

- 菊 地 武 光——筑 後 川 ノ 戰
- 北 條 泰 時——貞 永 式 目
- 板 倉 重 昌——島 原 ノ 亂
- 北 條 氏 康——小 田 原

五、(5)

北條氏鎌倉ニ亡ブ。

(4)

承久ノ亂起ル。

(3)

蒙古來襲ス。

(2)

保元ノ亂起ル。

(1)

源頼朝武家政治ヲ始ム。

六、能登半島

(石川縣)

鶴 岡 (山形縣)

室戸崎 (高知縣)

堺

(大阪府)

伊豆大島 (東京府)

七、米 國

フランス

英 國

ドイ ツ

2 吳 鎮 守 府 徵 募

讀 書

(二十分)

一 海軍志願兵採用試験問題並解答

一、次ノ漢字ニ讀假名ヲ附ケヨ。

- 一、專 一、廉 潔 三、克 己 四、憎 惡 五、忍 耐
- 六、氣 象 七、鍛 鍊 八、規 律 九、版 圖 十、嚴 格

二、次ノ片假名ノ部分ヲ漢字ニ改メヨ。

雪白の地に紅の日の丸をえがける我が國キは最もよく我が國ガラにかなひ、皇キのハツヤウ國運のリウシヤウさながらキヨクジツシヤウテンの勢あるを思はしむ。更に思へば白地は我が國民のジユンセイ潔バクなるセイ質を示し、日の丸はネツレツモゆるが如き愛國のシセイを表はすともいふべきか。

三、次ノ傍線ノ部分ヲ解釋セヨ。

- (イ) 事に當りて裁決流るゝが如し。
- (ハ) 急報四方に飛んで。
- (ホ) 今年はゆめかゝる凶事のなかれかし。
- (ロ) 是己の欲する所を人に施すなり。
- (ニ) ヨーロッパ全土また色を失ふ。

四、次ノ漢字ニ反對ノ意味ノ漢字ヲツツケテ熟語ヲ作レ。

- (イ) 多 ○ (ロ) 高 ○ (ハ) 明 ○ (ニ) 濃 ○ (ホ) 遅 ○
- (ヘ) 古 ○ (ト) 喜 ○ (チ) 終 ○ (リ) 興 ○ (ヌ) 治 ○

五、次ノ語ヲニツツ結ビツケテ(同一ノ語ヲ二度用フルコトヲ禁ズ)意味ノ通ズル如キ五ツノ句ヲ作レ。

- (1) 頗ル大キイ。 心地。 晚餐ニ。 カケル。 迷惑ヲ。
- 禁ジナイ。 船體モ。 團樂ス。 法律ハ。 春待ツ。
- (2) (3) (4) (5)

- 一、(一) モツバラ (二) レンケツ (三) ヨクキ (四) ソウヲ
 - (五) ニンタイ (六) キシヤウ (七) タンレン (八) キリツ
 - (九) ハント (十) ゲンカク
- 二、旗 號 威 威 發揚 隆昌 旭日昇天
 純正 白 性 熱烈 燃 至誠

- 三、(イ) 事件にぶつかつてそれをとりさばくことが早いのは水が流れるやうだ。
 (ロ) 自分が欲しいと思ふものは他人にも呉れてやる。
 (ク) いそぎのしらせが方々にとぶ。
 (ニ) ヨーロッパ全體がまた驚いて顔色を變へる。
 (ホ) 今年は夢にもこんな悪い出来事はないやうにねがふ。
- 四、(イ) 多少 (ロ) 高低 (ハ) 明暗 (ニ) 濃淡 (ホ) 遲速
 (ヘ) 古今 (ト) 喜怒 (チ) 終始 (リ) 興亡 (ヌ) 治亂
- 五、(1) 船體モ頗ル大キイ。 (2) 春待つ心地。 (3) 晚餐ニ團樂ス。
 (4) 迷惑ヲカケル。 (5) 法律ハ禁ジナイ。

換 算 (三十分)

1. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(1) $\frac{5}{6} - \frac{3}{5} =$

(ロ) $9253\text{圓} - 564\text{圓} \times 6 + 2976\text{圓} =$

2. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(1) $4\frac{4}{5} + 0.6 =$

(ロ) $9\text{分}48\text{秒} + 2\text{分}27\text{秒} =$

3. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(1) $16\frac{1}{9} - 3\frac{3}{4} =$

(ロ) $7 - 2\frac{5}{12} + 6\frac{4}{9} =$

4. 或水夫ノ一時間ノ漕力ハ 15km ナアル、今或川ヲ六時間漕ギ下ツテ出發地ヨリ 108km ノ地ニ達シタ、若シ同ジトコロヲ漕ギ上ルトスレバ幾時間カカルカ。

5. 或商人昨年ハ元金ノ五分ノニダク儲ケタガ、本年ハ昨年ノ元金ノ八分ノ三ヲ損シタ爲現金8200圓ヲ持ツテキル、昨年儲ケタ金高ハ何圓デアツタカ。

1. (1) 原式 = $\frac{25-18}{30} = \frac{7}{30}$

(ロ) 原式 = $9253\text{圓} - 3384\text{圓} + 2976\text{圓} = 8445\text{圓}$

2. (1) 原式 = $\frac{24}{5} \times \frac{10}{6} = 8$

(ロ) 原式 = $588\text{秒} + 147\text{秒} = 4$

3. (1) 原式 = $\frac{145}{9} - \frac{15}{4} = \frac{580-135}{36} = 12\frac{13}{36}$ (2) 原式 = $7\frac{29}{12} \times \frac{9}{53} = 6\frac{5}{8}$

4. $15\text{km} \times 6 = 90\text{km}$ $(108\text{km} - 90\text{km}) + 6 = 3\text{km} \dots\dots\dots$ 水ノ速ヲ
 $108\text{km} + (15\text{km} - 3\text{km}) = 9$ 答 9時四

5. $\left\{ 8200\frac{3}{4} + \left(1 - \frac{3}{8}\right) \right\} + \left(1 + \frac{2}{5}\right) = 9371\frac{3}{7}$ 圓 答 $9371\frac{3}{7}$ 圓

3 海軍志願兵徵募(海軍少年航空兵)

讀書 (二十分)

一、次ノ漢字ニ讀假名ヲツケヨ。

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|---------|
| (1) 光澤 | (2) 陸昌 | (3) 輕微 | (4) 原稿 | (5) 審議 |
| (6) 鯉 | (7) 屬る | (8) 納得 | (9) 頻繁 | (10) 孤立 |
| (11) 獨創 | | | | |

二、次ノ字句中片假名ヲ漢字ニ書キテホセ。

- | | |
|----------------|------------------|
| (1) ドウロをサウヂス。 | (2) ガクジュツをオウヨウす。 |
| (3) キヨウドウセイカツ。 | (4) カンゼンなセツピ。 |
| (5) モハンセイネン。 | |

三、左ノ字句ノ意味ヲ簡單ニ書ケ。

- | | | |
|-----------|-----------|------------------|
| (1) 廉恥ヲ貴ブ | (2) 祖先ノ偉業 | (3) 公明正大 |
| (4) 素志ヲ遂グ | (5) 社會奉仕 | (6) 明敏ナルコト等輩ヲシノグ |

四、次ノ文中ニアル事柄ニ就テ左ノ問ニ答ヘヨ。

城中には僅かに四五日の糧食を餘せるのみ。援軍の來らん日も亦期すべからず。信昌將士を集めて曰く敵は長圍の計を取れるに我は糧食ほとんど盡きたり。城を抜け出でて岡崎に至り急を主公に告ぐる者なきかと。

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) 援軍ハ何處カラ來ルノカ。 | (2) 信昌ハ何處ニ居ルカ。 |
| (3) 我トハ誰ヲ指スカ。 | (4) 急トハドウイウ急ナノカ。 |

(5) 主公ハ何處ニ居ルカ。

五、次ノ字句ヲ用ヒテ成ル可ク簡單ナ一ツノ文ヲ作レ。

例ヘバ——鉛筆、机(机ノ上ニ鉛筆ガアル)

(1) 波、松林

(2) 耳、新聞

(3) 拘ラズ、貿易

(4) 進歩、電車

(5) 東洋、海軍、安固

一、(1) 光くわう 澤たく

(2) 隆りゆう 昌しやう

(3) 輕けい 微び

(4) 原げん 稿こう

(5) 審しん 議ぎ

(6) 鯉りゆう

(7) 罵ののし

(8) 納なつ 得とく

(9) 頻ひん 繁はん

(10) 孤こ 立たつ

(11) 獨どく 創そう

二、(1) 道路を掃除す

(2) 學術を應用す

(3) 共同生活

(4) 完全な設備

(5) 模範青年

三、(1) 心が清くて恥を知るといふことを重んじる。

(2) せんぞの残して置いた事業。

(3) 心が潔白で正しく大きいこと。

(4) 年來の希望を達する。

(5) 世の中のためになることをすること。

(6) 智慧の明かですといことはなかまに立ちまざる。

四、(1) 岡 崎

(2) 城 中

(3) 信昌等

(4) 糧食がまさに盡きんとすること

(5) 岡 崎

五、(1) 松林の近くまで波寄せる。

(2) 新聞は耳で聞くものではない。

(3) 貿易が旺盛になつたのに拘らず。

(4) 電車は少しも進歩がない。

(5) 海軍が東洋の安固を守る。

數 題 (三十分)

1. (1) $\frac{3}{5} + \frac{3}{8} =$ (2) $6.84 + 0.9 =$

(3) $\frac{4}{15} + 2\frac{2}{3} =$

2. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(1) $(2.25 - 1\frac{1}{2}) \times 3\frac{1}{5} =$ (2) $(3\frac{1}{3} + 2.5) + 5\frac{5}{6} =$

3. 次ノ圖ハ東京ヨリ京都ニ至ル各驛間ノ距離ヲ示スヲアル、圖ノ中ノ空欄ニ全部杆數ヲ記入シテ

トノ時間ノ距離ヲモスルヤウニセヨ。

注意

200ハ東京静岡間ノ籽數

550ハ東京京都間ノ籽數

250ハ静岡米原間ノ籽數

等ヲ示ス。

東京					
200	静岡				
400		名古屋			
			米原		
			100	京都	
500					

4. 或ル人汽車ニテ第一日ニハ3時間30分ニテ140籽ヲ走り第二日ニハ7時間ニテ322籽ヲ走ツタ。

(イ) 第一日ト第二日ニ乗ツタ汽車ノ一時間ノ平均速力ハトテラガ何籽速イカ。

(ロ) 第一日ト第二日トテ平均速力ハ一時間何籽カ。

5. 甲國ノ有スル飛行機ノ數ハ乙國ノ有スル飛行機ノ數ノ五倍ニテツツガ其ノ後甲國ハ210臺ヲ新造
シ、乙國ハ128臺ヲ新造シタタマ現在ヲハ甲國ノ所有數ハ乙國ノ所有數ノ三倍ニツタトイフ。
甲乙兩國ノ現在所有スル飛行機ハ各幾臺カ。

1. (イ) 原式 = $\frac{24+15}{40} = \frac{39}{40}$

答 $\frac{39}{40}$

(ロ) $\frac{7.6}{63}$

答 7.6

$$\begin{array}{r} 7.6 \\ 63 \overline{) 68.4} \\ \underline{63} \\ 54 \\ \underline{54} \\ 0 \end{array}$$

2. (イ) 原式 = $\left(2 \frac{25}{100} - 1 \frac{1}{2}\right) \times \frac{16}{5} = \frac{5-2}{5} \times \frac{16}{5} = 2 \frac{2}{5}$

答 $2 \frac{2}{5}$

(ロ) 原式 = $\left(3 \frac{1}{3} - 2 \frac{5}{10}\right) \div \frac{35}{6} = \frac{32 \times 6}{6 \times 35} = \frac{32}{35}$

答 $\frac{32}{35}$

3.

東京					
200	静岡				
400	200	名古屋			
500	250	50	米原		
550	350	150	100	京都	

4. (1) $140\text{軒} + 3\text{時}30\text{分} = 40\text{軒}$ ……第一日ノ平均時速
 $322\text{軒} + 7\text{時間} = 46\text{軒}$ ……第二日ノ平均時速
 $46\text{軒} - 0\text{軒} = 6\text{軒}$ 答 第二日ノ方が6軒速イ
- (ロ) $(140\text{軒} + 322\text{軒}) + (3\text{時間}30\text{分} + 7\text{時間}) = 4\text{軒}$ 答 44軒
5. $(210\text{臺} \times 3 - 128\text{臺}) + (5\text{倍} - 3\text{倍}) = 251\text{臺}$ ……甲國ノ飛行機臺數
 $251\text{臺} \times 5 = 1255\text{臺}$ ……乙國ノ飛行機臺數 答 甲國 251臺 乙國 1255臺

4 海軍志願兵徵募(海軍少年航空兵)

讀書 (二十分)

- 一、次ノ漢字ニ讀假名ヲツケヨ。
- (1) 交替 (2) 締切 (3) 規模 (4) 安逸 (5) 擔當
(6) 耐 (7) 崩る (8) 會得 (9) 秘藏 (10) 單獨
(11) 緣故

二、次ノ字句中片假名ヲ漢字ニ書キ直セ。

- (1) ジムにボウサツされる。 (2) リエキをゾウシンする。
(3) フンレイドリヨク。 (4) コクミンのリソウ。
(5) フクザツなカンケイ。

三、左ノ字句ノ意味ヲ簡單ニ書ケ。

- (1) 潔白ヲ重ンズ。 (2) 世界ノ大勢。 (3) 安寧幸福。
(4) 天壽ヲ全ウス。 (5) 處世ノ道。
(6) 容易ニ敵ノウカガフコトヲ許サズ。

四、次ノ文中ニアル事柄ニ就テ左ノ問ニ答ヘヨ。

- 勝商は不幸にして敵兵に發見せられ、勝頼の前に引出さる。勝頼勝商に向ひて言ふ、明日城門に行きて援軍來らず、速に降るべしと言へ。さらば我必ず重く汝を賞せんと。
- (1) 敵兵トハ誰カ。 (2) 援軍ハ誰ヲ救ヒニ來ルノカ。
(3) 降ルベシトハ誰ニ降ルノカ。 (4) サラバトハ何ノコトカ。

(5) 汝トハ誰カ。

五、次ノ字句ヲ用ヒテ成ル可ク簡單ナ一ツノ文ヲ作レ。

例(ペー)鉛筆、机(机ノ上ニ鉛筆ガアル)

(1) 風、草木。

(2) 目、ラヂオ。

(3) 止マラズ、農業。

(4) 發展、自動車。

(5) 太平洋、海軍、平和。

一、(1) 交^カ替^カ

(2) 締^ヒ切^キ

(3) 規^キ模^モ

(4) 安^{ヤス}逸^イ

(5) 擔^タ當^タ

(6) 崩^ク

(7) 崩^クる

(8) 會^カ得^ト

(9) 秘^ヒ藏^{ソウ}

(10) 單^タ獨^{トク}

(11) 緣^ヰ故^コ

二、(1) 事務に忙殺さる。

(2) 利益を増進する。

(3) 奮勵努力。

(4) 國民の理想。

(5) 複雑な關係。

三、(1) 心がきよくて隠してしないことをたつとぶ。

(2) 世界の大體のありさま。

(3) やすらかとしあはせ。

(4) 自然にさだまつた壽命を終る。

(5) 世渡りの方法。

(6) たやすく敵がこちらを覗ふことかをさせぬ。

四、(1) 勝頼の兵。

(2) 勝商を救ひに来る。

(3) 勝頼に降る。

(4) 明日城門まで行つて援軍來らずと云ふこと。

(5) 勝商のこと。

五、(1) 草木が風に揺らぐ。

(2) ラヂオは目で見るものではない。

(3) 農業は古の形式に止まらず。

(4) 自動車の發展は目覺ましい。

(5) 海軍は太平洋の平和を守る。

海軍 (三十分)

【注意】代數ヲ解イテラセ宜シ。答ノミヲハインケナイ。

此ノ用紙ニ計算ヲ書キナサシ。

1. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(1) $\frac{5}{8} + \frac{1}{7} =$

(2) $6.88 \div 0.8 =$

(3) $\frac{3}{16} + 2\frac{1}{4} =$

2. 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$(イ) \left(4.25 - 3\frac{1}{2}\right) \times 3\frac{3}{7} =$$

$$(ロ) \left(4\frac{1}{3} + 1.5\right) + 5\frac{5}{6} =$$

3. 次ノ圖ハ東京ヨリ青森ニ至ル各驛間ノ距離ヲ示スモノデアル。圖ノ中ノ空欄ニ全部杆數ヲ記入シテバノ驛間ノ距離モスグ分ルヤウニセヨ。

東京						
250	福岡					
350		仙臺				
	250		盛岡			
			200			
700					青森	

注意

250ハ東京福岡間ノ杆數

700ハ東京青森間ノ杆數

250ハ福岡盛岡間ノ杆數

或ル人第一回目ニハ1分30秒ニテ750米ヲ走り、第二回目ニハ3分ニテ1464米ヲ走ツタ。

(イ) 第一回ト第二回ニ走ツタ一分間ノ平均速力ハドチラガ何米速イカ。

(ロ) 第一回目ト第二回目トヲ通ジテノ平均速力ハ一分間何米カ。

5. 兄ノ貯金高ハ弟ノ貯金高ノ6倍デアツタガ其ノ後兄ハ360圓、弟ハ115圓ヲ貯金シタタメ現在デハ兄ノ貯金高ハ弟ノ貯金高ノ四倍ニナツタトイフ、兄弟ノ現在ノ貯金高ハ各幾圓ナルカ。

1. (イ) 原式 = $\frac{35}{42} + \frac{6}{42} = \frac{41}{42}$

答 $\frac{41}{42}$

(ロ) $\frac{8.6}{8}$

(ハ) 原式 = $\frac{3}{16} \times \frac{4}{9} = \frac{1}{12}$

答 $\frac{1}{12}$

$$\begin{array}{r} 48 \\ 48 \\ \hline 48 \\ 48 \\ \hline 0 \end{array}$$

答 8.6

2. (イ) 原式 = $\left(4\frac{15}{100} - 3\frac{1}{2}\right) \times \frac{24}{7} = \left(\frac{17}{4} - \frac{14}{4}\right) \times \frac{24}{7} = \frac{18}{7} = 2\frac{4}{7}$

答 $2\frac{4}{7}$

(ロ) 原式 = $\left(4\frac{1}{3} + 1\frac{5}{10}\right) \times \frac{6}{36} = \left(4\frac{2}{6} + 1\frac{3}{6}\right) \times \frac{6}{36} = \frac{35}{6} \times \frac{6}{35} = 1$

答 1

3.

東京					
250	福島				
350	100	仙臺			
500	250	150	盛岡		
700	450	350	200	青森	

4. (イ) $750\text{米} + 1.5 = 500\text{米}$ $1464\text{米} + \quad = 488\text{米}$

$500\text{米} - 488\text{米} = 12\text{米}$

答 第一回ノ方ガ12米速イ

(ロ) $(750\text{米} + 1464\text{米}) + (1.5 + 3) = 492\text{米}$

答 492米

5. $(118\text{圓} \times 4 - 360\text{圓}) + (6 - 4) = 56\text{圓} \dots\dots\dots$ 弟ノ最初ノ貯金高

$56\text{圓} + 118\text{圓} = 174\text{圓} \dots\dots\dots$ 弟ノ現在貯金ノ高

$174\text{圓} \times 4 = 696\text{圓} \dots\dots\dots$ 兄ノ現在ノ貯金高

答 兄 696圓 弟 174圓

代数ヲ解ケバ、最初ノ兄弟ノ貯金高ヲトクスレバ

$x = 6y \dots\dots\dots (1)$

$x + 360\text{圓} = 4(y + 118\text{圓}) \dots\dots\dots (2)$

(1)ヲ(2)ニ代入スレバ $6y + 360\text{圓} = 4y + 472\text{圓}$ $6y - 4y = 472\text{圓} - 360\text{圓}$ $2y = 112\text{圓}$ $y = 56\text{圓}$

$56\text{圓} + 112\text{圓} = 174\text{圓} \dots\dots\dots$ 弟ノ現在ノ貯金高

$174\text{圓} \times 4 = 696\text{圓} \dots\dots\dots$ 兄ノ現在ノ貯金高

答 兄 696圓 弟 174圓

5 海軍志願兵徵募(海軍少年航空兵)

讀書 (二十分)

一、次ノ漢字ニ讀假名ヲツケヨ。

- (一) 秩序 (二) 裁縫 (三) 當直 (四) 慎重 (五) 剎那
- (六) 體裁 (七) 屏風 (八) 規模 (九) 鞭撻 (十) 篤學

二、次ノ文中片假名ノ部分ヲ漢字ニ書直セ。

デنشヨ鳩はヒカウキのフジ着陸地點を知らせたり、ギョゲウ者が沖からエモノの多少やナンセ

一 海軍志願兵採用試験問題並解答

ンの有様を通知したり、トザン者が路にマヨウてキケンにおちいつた時、救を求めたり、いろいろな場合にリヨウすることが出来る。

三、次ノ口語ヲ文語ニ直セ。

(1) 山ニ登ツタ。

(2) 山ニ登ラナカッタ。

(3) 山ニ登ツテ居ルハ誰デアルカ。

(4) 明日ハ雨ガ降ルデアラウ。

四、次ノ上ノ段ノ語ト反對ノ語ヲ下ノ段ノ中カラ一ツツ探シ出シテ之ヲ上ノ段ノモノト夫々線デ結ビツケヨ。

成 功	建 設	收 縮	簡 單
膨 脹	自 由	危 險	貧 賤
複 雜	失 敗	不 潔	輸 入
清 潔	短 所	從 順	無 駄

五、左ノ文ヲ讀ンテ次ノ問ニ答ヘヨ。

孔子は他人を正す前に先づおのれを正し、近きより遠きに及ばずを以て其の主義としたり。「お

のれを修めて人を安んず」とは彼が簡明に此の意をあらはせる語なり。大聖の面目、またよくこの一語にあらはれたりといふべし。

- 1 其のハ何ヲ指スカ。
- 2 此の意ハ何ヲ指スカ。
- 3 大聖トハ誰ノコトカ。
- 4 此の一語ハ何ヲ指スカ。

- 一、(一) 秩 序 (二) 裁 縫 (三) 當 直 (四) 慎 重 (五) 利 那
- (六) 體 裁 (七) 屏 風 (八) 規 模 (九) 鞭 撻 (十) 篤 學
- 二、傳書鳩は飛行機の不時着陸地點を知らせたり、漁業者が沖から獲物の多少や難船の有様を通知したり、登山者が路に迷うて危険におちいつた時、救を求めたり、いろいろな場合に利用することが出来る。

- 三、(1) 山に登れり。 (2) 山に登らざりき。
- (3) 山に登り居るは誰なるか。 (4) 明日は雨降るならん。
- 四、成功——失敗 膨脹——收縮

複雑—簡單

清潔—不潔

- 五、1 孔子。
3 孔子。

- 2 他人を正す前におのれを正すこと。
4 おのれを修めて人を安んず。

算 算 (三十分)

1. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(イ) 1819

(ロ) $24+72\div 8=$

$$\begin{array}{r} 1819 \\ 28 \\ \hline 346 \\ + 153 \\ \hline \end{array}$$

2. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(イ) $0.539 \times 0.2=$

(ロ) $3\frac{1}{5} + \frac{1}{3}=$

3. 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$\left(8\frac{1}{3} + 0.25\right) \times \frac{4}{9}=$$

4. 或生徒ノ讀方ト理科トノ二科目ノ平均點ハ81點デソレニ算術ヲ入レテ三科目ノ平均點ハ83點ニナルトイフ、算術ノ點數ハ何點カ。
5. 大人六人デモ或ハ又子供十四人デモ十六時間カカル仕事ヲ大人五人子供七人デ共同スルト幾時間カカルカ。

1. (イ)

$$\begin{array}{r} 1819 \\ 28 \\ \hline 346 \\ + 153 \\ \hline 2346 \end{array}$$

(ロ) 原式 = $24+9=33$

2. (イ)

$$\begin{array}{r} 0.539 \\ \times 0.2 \\ \hline 0.178 \end{array}$$

(ロ) 原式 = $\frac{48+5}{15} = 3\frac{8}{15}$

3. 原式 = $\left(\frac{25}{3} + \frac{25}{100}\right) \times \frac{4}{9} = \frac{100+3}{12} \times \frac{4}{9} = \frac{103}{27} = 3\frac{22}{27}$

4. $(83 \times 3 - 81 \times 2) \div (3 - 2) = 87$

答 87點

5. 仕事ノ量ヲトスレバ

$$(1+6)+16=\frac{1}{96}\dots\dots\dots一人一人ガ一時間ニナス仕事ノ量$$

$$(1+14)+16=\frac{1}{224}\dots\dots\dots子供一人ガ一時間ニナス仕事ノ量$$

$$1+\left(\frac{1}{96}\times 5+\frac{1}{224}\times 7\right)=1+\left(\frac{5}{96}+\frac{3}{96}\right)=\frac{96}{8}=12時間 \quad \text{答 } 12時間$$

6 海軍志願兵徴募(海軍少年航空兵)

読 書 (二十分)

一、次ノ漢字ニ讀假名ヲツケヨ。

(一) 迅速 (二) 懸念 (三) 牽制 (四) 潰亂 (五) 警報

(六) 素人 (七) 彼方 (八) 肥沃 (九) 納得 (十) 當惑

二、次ノ文章中——ヲツケテアル言葉ヲ漢字ニ直セ。

サウジウ者がザセキに着くと、けたましましいバクオンと共にプロペラがものすごいうなりを立ててクワイテンし始めた。機體はぶるぶるとシンドウする。やがて出發のアイツをすると車輪止はトリノゾかれ、飛行機はたちまち奔馬のやうな勢で走り出した。クワツサウ約六十メートル、ソクドは益々加つて機體にフリオクがついて機はすうつと空中に昇つて行く。

三、次ノ口語ヲ文語ニ直セ。

(1) 文を作つた。 (2) 菓子の中には砂糖をふくまないものは少い。

(3) そこに居るのは誰ですか。 (4) 今夜は月が出るでせう。

四、次ノ上ノ段ノ語ト反對ノ語ヲ下ノ段ノ中カラ一ツツ探シ出シテ其ノ語ヲ線ヲ結ビ付ケヨ。

破 壊	失 敗	自 由	簡 單
束 縛	建 設	危 險	從 順
強 情	短 所	貧 賤	不 潔
有 益	輸 入	無 駄	結 果

五、左ノ文ヲ讀ンデ次ノ問ニ答ヘヨ。

一 海軍志願兵採用試験問題並解答

あの青年が社長の室にはいる前、先づ着物のほこりを拂ひ、はいろと静かに戸をしめました。きれいすきでつゝしみ深いことはそれ¹でよくわかりました。その中に一人の老人がはいつて來ました²がそれを見るとすぐに立つて椅子をゆづりました。人に親切なことはこれ³でも知れると思ひました。あいさつをしてもていねいで少しも生意氣な風がなく何をきいても一々明白に答へてしかもよけいなことは言ひません。はきはきしてゐて禮儀をわきまへてゐることもそれ⁴ですつかりわかりました。

- 1 の「それ」は何を指すか。
- 2 の「それ」は何を指すか。
- 3 の「これ」は何を指すか。
- 4 の「それ」は何を指すか。

- 一、(一) 迅速 (二) 懸念 (三) 牽制 (四) 潰亂 (五) 警報
- (六) 素人 (七) 彼方 (八) 肥沃 (九) 納得 (十) 當惑
- 二、操縦 座席 爆音 廻轉 振動
- 合圖 取除 滑走 速度 浮力

- 三、(1) 文を作れり。 (2) 菓子の中には砂糖をふくまざるもの少し。
- (3) そこに居るは誰ぞ。 (4) 今夜は月出づるならん。

- 四、破壊—建設 束縛—自由
- 強情—從順 有益—無駄

- 五、1 着物のほこりを拂ひ、戸を静かにしめたこと。 2 老人が入つて來ること。
- 2 椅子を老人にゆづつたこと。 4 丁寧な挨拶、明白な答。

數 學 (三十分)

- 1. 次ノ式ヲ計算セヨ。
- (1) $1818 \begin{matrix} 1818 \\ 29 \\ 345 \\ + 153 \end{matrix}$ (2) $36+63+9=$

- 2. 次ノ式ヲ計算セヨ。
- (1) $0.528+0.2=$ (2) $2\frac{1}{5}+\frac{2}{3}=$

3. 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$\left(8\frac{1}{6} + 0.75 \times \frac{2}{9}\right) + 4 =$$

4. 太郎ト次郎トノ二人ノ貯金高ノ平均ハ84圓ヲ、ソレニ三郎ノ貯金ヲ入レテ三人ノ貯金ノ平均高ハ83圓ニナルトイフ、三郎ノ貯金高ハ何程カ。

5. 牛八匹ヲモ或ハ又馬十二匹ヲモ十八時間ヲ辨スコトノ出来ル田ヲ牛五匹ト馬六匹ガ一シヨニ辨ス
ト幾時間カカルカ。

解答

1. (イ) 1818 (ロ) 原式 $= 36 + 7 = 43$

$$\begin{array}{r} 1818 \\ 29 \\ \hline 345 \\ + 153 \\ \hline 2345 \end{array}$$

2. (イ) 2.64 (ロ) 原式 $= \frac{33}{15} + \frac{10}{15} = 2\frac{13}{15}$

$$\begin{array}{r} 2.64 \\ 2)5.28 \\ \hline 4 \\ 12 \\ \hline 8 \\ 0 \end{array}$$

答 2.64 答 $2\frac{13}{15}$

3. 原式 $= \left(\frac{49}{6} + \frac{75}{100} \times \frac{2}{9}\right) \times \frac{1}{4} = \frac{98+9}{12} \times \frac{1}{9} \times \frac{1}{2} = \frac{107}{216}$ 答 $\frac{107}{216}$

4. $(83 \times 3 - 84 \times 2) = 81$ 答 81

5. 仕事ノ量ヲ1トスレバ

$$1 + (8 \times 18) = \frac{1}{144} \dots\dots\dots \text{牛一匹ガ一時間} = \text{ナス仕事ノ量}$$

$$1 + (12 \times 18) = \frac{1}{216} \dots\dots\dots \text{馬一匹ガ一時間} = \text{ナス仕事ノ量}$$

$$1 \div \left(\frac{1}{144} \times 5 + \frac{1}{216} \times 6\right) = \left(\frac{5+4}{144}\right) = 16 \quad \text{答 } 16\text{時間}$$

7 海軍志願兵徵募(海軍少年航空兵)

讀書 (二十分)

一、次ノ漢字ニ讀假名ヲツケヨ。

- (一) 沿線 (二) 衣裳 (三) 銓衡 (四) 虐待 (五) 勸誘
- (六) 開墾 (七) 影響 (八) 舊套 (九) 湖畔 (十) 逐條

二、次ノ文章中——ヲツケテアル言葉ヲ漢字ニ書直セ。

法律ノ外ニ勅令、閣令、シヤウ令、フケン令等ノ命令ガアル。コレ等ノ命令モ國ノキソクデアツテ、廣イイミデイフバ合ニハヤハリ法律デアルカラ、其ノセイテイモ出來ル限リシンチヨウナテツヅキヲ經ル。唯法律ハ必ズテイコクギクワイノケフサンヲ經ナケレバナラヌガ、命令ニハ其ノ事ガナイ。

三、次ノ口語ヲ文語ニ直セ。

(1) 讀書ノ答案ハ明瞭ニ書カウ。

(2) 検査ニ合格シタ。

(3) 父ハ反對シナイ。

(4) 軍艦生活ハオモシロイ。

四、次ノ上ノ段ノ語ト反對ノ語ヲ、下ノ段カラ探シテ、其ノ語ヲ夫々上ノ段ノ話ト線デ結ビツケ。

長所	失敗	簡單	自由
輸出	危險	不潔	從順
健康	輸入	建設	無駄
安全	結果	短所	病氣

五、左ノ文ヲ讀ンデ次ノ問ニ答ヘヨ。

孔子は正義の念強き人なりき。其の言にいはいはく「富貴は人のねがふ所なり。然れども正しき道によるに非ざれば、²我之に居らず。³貧賤は人のいとふ所なり。然れども正しき道によるに非ざれば、³我之を去らず」と。

- 1 其のハ何ヲ指スカ。
- 2 我ハ何ヲ指スカ。
- 3 之ハ何ヲ指スカ。
- 4 之ハ何ヲ指スカ。

- 一、(一) 沿線 (二) 衣裳 (三) 銓衡 (四) 虐待 (五) 勸誘
- (六) 開墾 (七) 影響 (八) 舊套 (九) 湖畔 (十) 逐條

二、省 府縣 規則 意味 場

制定 慎重 手續 帝國議會 協贊

三、(1) 讀書ノ答案ハ明瞭ニ書カン。

(2) 検査ニ合格セリ。

(3) 父ハ反對セス。

(4) 軍艦生活ハオモシロシ。

四、長所—短所 輸出—輸入

健康—病氣 安全—危険

五、(1) 孔子の言。 (2) 孔子。 (3) 富貴。 (4) 貧賤。

解 題 (三十分)

1. 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$(1) \quad 1719$$

$$(2) \quad 60-42+6=$$

$$\begin{array}{r} 1719 \\ 28 \\ 546 \\ + 145 \\ \hline \end{array}$$

2. 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$(1) \quad 0.546+0.2=$$

$$(2) \quad 2\frac{1}{4} + \frac{2}{3} =$$

3. 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$\left(6\frac{1}{6} + 0.75\right) \times \frac{5}{9} + 10 =$$

4. 或生徒ノ入學試験ノ成績ハ算術ト作文トノ二科目ノ平均點ハ82點デ、ソレニ讀方ヲ入レテ三科目ノ平均點ハ83點ニナルトイフ、讀方ノ點數ハ何點カ。

5. 男八人デモ或ハ女十人デモ十八日間カカル仕事ヲ男五人ト女五人デ共同デスルト幾日カカルカ。

1. (1) 1719 (2) 原式 $= 0.60 - 7 = 53$

$$\begin{array}{r} 1719 \\ 28 \\ 546 \\ + 145 \\ \hline 2448 \end{array}$$

2. (1) $\frac{2.73}{2)5.46}$ (ロ) 原式 = $\frac{9}{4} + \frac{2}{3} = \frac{27+8}{12} = 2\frac{11}{12}$

$$\begin{array}{r} 4 \\ 14 \\ 14 \\ \hline 6 \\ 6 \\ 0 \end{array}$$

答 2.73

答 $2\frac{11}{12}$

3. 原式 = $(\frac{37}{6} + \frac{75}{100}) \times \frac{5}{9} \times \frac{1}{10} = \frac{54+9}{12} \times \frac{1}{9} \times \frac{1}{2} = \frac{7}{24}$ 答 $\frac{7}{24}$

4. $83 \times 3 - 32 \times 2 = 85$ 答 85點

5. 仕事ヲ1トスレバ

$$1 + (8 \times 18) = \frac{1}{144} \dots \dots \dots \text{男一人ガ一日ニナス仕事ノ量}$$

$$1 + (10 \times 18) = \frac{1}{180} \dots \dots \dots \text{女一人ガ一日ニナス仕事ノ量}$$

$$1 + (\frac{1}{144} \times 5 + \frac{1}{180} \times 5) = 1 + \frac{5+4}{144} = 16$$

答 16

8 海軍志願兵徵募(海軍少年航空兵)

讀 書 (三十分)

一、次ノ漢字ニ讀假名ヲツケヨ。

- (一) 樞機 (二) 頑冥 (三) 瑣細 (四) 吟詠 (五) 氾濫
- (六) 懶惰 (七) 翻譯 (八) 刺客 (九) 堵列 (十) 生簞

二、次ノ文中()ノ處ニ適當ナル漢字ヲ入レヨ。

日本人ハシンソク()故舊ニ厚ク一門ノ中ニヒシンコン()、不具、ハイシツ()ノ者ガアレバ、進ンデ之ヲフジシヨ()シ、課サコドク()ノ者ガアレバ、カメテ之ヲキウウサイ()スル。シカモ此ノタメニ、ヤヤモスレバ、自立ジエイ()ノ念ニ乏シク、コンキウ()ニ會ヘバ、直チニシンキン()ノ者ニタヨルトイフヘイ()ガアルヲ免レナイ。

三、次ノ言葉ニ線ケテ意味ノ分ル言葉ヲソノ下ニ漢字二字ニテ書ケ。

- (1) 新陳 (2) 捲土 (3) 金科 (4) 坐作 (5) 難攻

(6) 醉生 (7) 一陽 (8) 國利 (9) 不法 (10) 安心

四、次ノ語句ノ下ニ其ノ意味ヲ書ケ。
1 恩師 2 遲刻 3 眼界 4 混合 5 徘徊
舊師 遲速 眼前 化合 俳諧

五、次ニ書イテアル言葉ニツキ右ノ言葉ニ對シテ左ノ言葉ノドレヲ結ビツケルト正シイ文ニナルカ、其ノ言葉ノ右ニ線ヲ引ケ。

(イ) 東奔西走

(1) 孝行ス。 (2) 國事ニ勤ム。 (3) 甚ダ多シ。 (4) 善美ヲ盡ス。

(ロ) 朋友ノ道ハ

(1) 君臣ノ義。 (2) 親族ノ情ニアリ。 (3) 五倫ノ一ナリ。 (4) 兄弟ノ別。

(ハ) 他山ノ石ハ

(1) 他人ニ與フベシ。 (2) 利用スルニ如カズ。 (3) 比重大ナリ。

(4) 以テ玉ヲミガクベシ。

(ニ) 國家樞要ノ

(1) 便宜ヲ與フ。 (2) 政務ニ參與ス。 (3) 識見アリ。 (4) 儀表タリ。
(ホ) 長者ノ萬燈 (1) 語ルニ足ラズ。 (2) 豪者ノ獻燈。 (3) 貧者ノ一燈。 (4) 美醜ヲ照破ス。

一、(一) 樞機 (二) 頑冥 (三) 瑣細 (四) 吟詠 (五) 氾濫
(六) 懺悔 (七) 翻譯 (八) 刺客 (九) 堵列 (十) 生簧

二、日本人ハシンゾク(親族)故舊ニ厚ク一門ノ中ニヒンコン(貧困)、不具、ハイシツ(癡疾)ノ者ガアレバ、進ンデ之ヲフジョ(扶助)シ、饑寒コドク(孤獨)ノ者ガアレバ、カメテ之ヲキウサイ(救済)スル。シカモ此ノタメニ、ヤヤモスレバ、自立ジエイ(自營)ノ念ニ乏シク、コンキウ(困窮)ニ會ヘバ、直チニシンキン(親近)ノ者ニタヨルトイフヘイ(弊)ガアルヲ免レナイ。

三、(1) 新陳代謝 (2) 捲土重來 (3) 金科玉條 (4) 坐作進退
(5) 難攻不落 (6) 醉生夢死 (7) 一陽來復 (8) 國利民福

(9) 不法行爲

(10) 安心立命

四、 1 恩師 業を受けた先生

舊師 嘗て教を受けたことのある先生

2 遅刻 定められた時間におくれること

遅速 おそいとはやい

3 眼界 眼に見えるかぎりの廣さ

眼前 眼の前

4 混合 二つ又はそれ以上のものをまぜ合すこと

化合 二つ又はそれ以上の物を結び合せて、他の新しい物質を生ずること

5 徘徊 うちろつきまはること

俳諧 俳句に同じ

五、 (イ) 東奔西走 (2) 國事ニ勤ム

(ロ) 朋友ノ道ハ (2) 親族ノ情ニアリ

(ハ) 他人ノ石ハ (4) 以テ玉ヲミガクベシ

(ニ) 國家權要ノ (2) 政務ニ參與ス

(キ) 長者ノ萬燈 (3) 貧者ノ一燈

數 題 (三十分)

1. (イ) $\frac{19}{25} - 0.33 =$ (ロ) $2\frac{4}{5} \times 1\frac{1}{7} =$

2. 十圓八十錢ノ金ヲ兄弟二人ニ分ケテヤルノニ、兄ニハ弟ヨリ一圓二十錢ダケ多ク與ヘヨウトスルニハ各何程ツツヤレバヨイカ。

3. 一個ノ價林檎ハ四錢、柿ハ八圓デアル、今一圓六十錢ヲ林檎ト柿トヲ買フノニ柿ノ數ハ林檎ノ數ノ三倍デアルヤウニスルニハ各幾個ツツ買ヘバヨイカ。

4. 或品ヲ定價ノ五分引チ賣レバ七十錢ノ利益ガアル、若シ三分引チ賣ルトハ七十二錢ノ利益ガアルトイフ、此ノ品ノ原價ハ何程カ。

5. 容積ノ相等シイ空瓶ガ二十本アル、今若干(リットル)量ノ酒ヲ此ノ二十本ノ瓶ニ等分ニ入レルト各瓶トモ共ノ容積ノ $\frac{7}{9}$ ヲ充ヌコトガ出來ル、然ラバ此ノ酒ヲ全部各瓶ニ一杯ツツ入レルトキハ幾

本ノ空瓶ガ出来ルカ。

2. 或人資本金二萬圓ヲ卸賣部及小賣部ニ分テ開業シタガ、二年ノ後卸賣部テハ其ノ資本金ノ $\frac{7}{9}$ ノ利益ガアツタガ、小賣部テハ其ノ資本金ノ中一千圓ヲ損シタ爲メ兩部最初ノ資本金ハ何程ツツテアツタカ。(代數デヤツテモヨソイ)

【解】

1. (イ) 原式 = $\frac{19}{25} - \frac{33}{100} = \frac{76-33}{100} = \frac{43}{100}$ 答 $\frac{43}{100}$

(ロ) 原式 = $\frac{14}{5} \times \frac{8}{7} = \frac{16}{5} = 3\frac{1}{5}$ 答 $3\frac{1}{5}$

2. (10圓80銭-1圓20銭)+2=4圓80銭……弟ノ分前
 4圓80銭+1圓20=錢6圓……兄ノ分前 答 兄 6圓 弟 4圓80銭
3. 1圓60銭+(4銭+厘×3)=25箇……林檎ノ箇數 答 林檎 25箇 柿 75箇
 25箇×3=75箇……柿ノ箇數
4. (82銭-70銭)+(0.05-0.03)=6圓 答 6圓

5. $50 \times \left(1 - \frac{1}{9}\right) = 4\frac{4}{9}$ ……各瓶ニ一杯充タス時不足スル量(本數) 答 $4\frac{4}{9}$ 本

6. 卸賣部ノ資本金ヲ x 圓・小賣部ノ資本金ヲ y 圓トスレバ

$$x+y=20000 \text{圓} \dots\dots\dots(1)$$

$$x\left(1 + \frac{1}{9}\right) = y - 1000 \text{圓} \dots\dots\dots(2)$$

(1)ヨリ $x=20000 \text{圓} - y \dots\dots\dots(3)$

(3)ヲ(2)ニ代入スレバ

$$(20000 \text{圓} - y)\left(1 + \frac{1}{9}\right) = y - 1000 \text{圓}$$

$$20000 \text{圓} - 10y = 9y - 9000 \text{圓}$$

∴ $19y = 29000 \text{圓} \quad y = 11000 \text{圓} \dots\dots\dots(4)$

(4)ヲ(3)ニ代入スレバ

$$x = 20000 \text{圓} - 11000 \text{圓} = 9000 \text{圓} \quad \text{答 卸賣部 } 9000 \text{圓} \quad \text{小賣部 } 11000 \text{圓}$$

6 海軍志願兵徵募(海軍少年航空兵)

讀書 (二十分)

一、次ノ漢字ニ讀假名振假名ヲツケヨ。

- (一) 密接 (二) 透明 (三) 到底 (四) 捏造 (五) 經濟
- (六) 喜捨 (七) 感佩 (八) 獨創 (九) 棄權 (十) 猶豫

二、次ノ文章中——ヲツケテアル言葉ヲ漢字ニ書直セ。

- (一) 是まで人力又はジヨウキ()に頼つた諸キカイ()のゲンドウ()力も追々電氣に變つてコウダフ()界の一大カクシン()を促してゐる。
- (二) 社會のチツジヨ()を維持するには、國家のハフリツ()を重んじ、公共のキヤク()を守り、善良なるシフクワン()に従ふ等、吾人の爲すべき所多しと雖も、其の第一歩は互に他人にメイワク()をかけざるにあり。

三、「上」ト云フ言葉ノ反對ハ「下」デ「強シ」ト云フ言葉ノ反對ハ「弱シ」デアル。次ノ言葉ノ反對ハ何カソノ下ニ書キ入レヨ。

- (1) 速ス () (2) 遅ス () (3) 賢ス ()

- (4) 優る () (5) 上昇 () (6) 輕蔑 ()
- (7) 長所 () (8) 困難 () (9) 裏面 ()
- (10) 建散 ()

四、次ノ□ノ中ニ適當ナ漢字一字ヲ入レテ文章ノ意味ガヨクワカルヤウニセヨ。

- (一) 太陽の□と熱とがなくては、我々□間は勿論あらゆる生□は一つとして□存する事は出来ない
- (二) 新聞は大は世□の大勢より小は一□の細□まで、白然人事あらゆる方□にわたつて事件を□道するものである。

五、次ノ句ヲドンナ順序ニ讀ンダラヨクワカル文章トナルカ。

- 例——東²から 太陽¹は 出³ます
- (1) 返事は 手紙の 認めるがよい 速に
 - (2) 乏し 西海岸は 良港灣に 出入少く
 - (3) 我を稱揚する 耳を傾けるな 我が前に 言には
 - (4) 文武 心がけた 眞の武士は 二道に 古の

- 一、(一) 密接 (二) 透明 (三) 到底 (四) 捏造 (五) 經濟
- (六) 喜捨 (七) 感佩 (八) 獨創 (九) 棄權 (十) 猶豫

二、(一) 是まで人力又はジャウキ(蒸氣)に頼つた諸キカイ(機械)のゲンドウ(原動)力も追々電氣に變つてコウゲフ(工業)界の一大カクシン(革新)を促してゐる。

(二) 社會のチツジョ(秩序)を維持するには、國家のハウリツ(法律)を重んじ、公共のキヤク(規約)を守り、善良なるシフクワン(習慣)に従ふ等、吾人の爲すべき所多しと雖も、其の第一歩は互に他人にメイワク(迷惑)をかけざるにあり。

- 三、(1) 遠い (近い) (2) 遅い (速い) (3) 賢い (愚か)
- (4) 優る (劣る) (5) 上昇 (下降) (6) 輕蔑 (尊敬)
- (7) 長所 (短所) (8) 困難 (容易) (9) 裏面 (表面)
- (10) 建設 (破壊)

四、(一) 太陽の「光」と熱とがなくては、我々「人」間は勿論あらゆる生物「は」一つとして「生」存すること

とは出来ない。

(二) 新聞は大は世「界」の大勢より小は一「家」の細「事」まで、自然人事あらゆる方面にわたつて事件を「報」道するものである。

- 五、(1) 手紙の 返事は 速に 認めるがよい。
- (2) 西海岸は 出入少く 良港灣に 乏し。
- (3) 我が前に 我を稱揚する 言には 耳を傾けるな。
- (4) 古の 眞の武士は 文武 二道に 心がけた。

算 術 (三十分)

1. 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$(1) \frac{3}{8} - \frac{2}{9} = \quad (2) \frac{6}{12} + \frac{7}{15} =$$

2. 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$(1) 5.64 + 0.6 = \quad (2) 2 - (1.7 + \frac{1}{5}) =$$

3. 大麥5俵ノ價ガ21圓デアルト2俵ノ價ハ幾ラカ。
4. 31日ノ中晴天ノ日ガ雨天ノ日ヨリ7日少カツタ、晴天ノ日ハ幾日デアツタカ。
5. $(□-5) \times 4 = 1$ ナル式ニ於テ□ノトコロハ如何ナル數カ。
6. 一商人鉛筆20ダースヲ6圓20錢ニ賣ツテ8ダースノ原價ニ等シイ儲ラ得タ。利益金ハ何程カ。
7. 甲ト乙トガ同額ノ金ヲ出シテ土地ヲ買ツタ、分ケルトキ甲ハ乙ヨリモ300坪多ク取ツタカラ甲ハ乙ニ300圓拂ツタ、此ノ土地ノ坪ノ價ハ幾ラカ。
8. 太郎ノ所持金ハ次郎ノ所持金ノ1.5倍子、兩人ノ所持金ハ合セテ100圓デアル、太郎ノ所持金ハ幾ラカ。
9. 或人ガ所持金ノ $\frac{2}{3}$ ヨリモ10圓多ク使ツタガ、殘金ハ初ノ所持金ノ $\frac{1}{6}$ ヨリモ10圓多カツタ、初ノ所持金ハ幾ラデアツタカ。

解答

1. (イ) 原式 = $\frac{27}{72} - \frac{16}{72} = \frac{11}{72}$ 答 $\frac{11}{72}$ (ロ) 原式 = $\frac{77}{90} \times \frac{15}{90} = \frac{35}{8} = 4\frac{3}{8}$ 答 $4\frac{3}{8}$

2. (イ)
$$\begin{array}{r} 9.4 \\ 6 \overline{) 56.4} \\ \underline{54} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$
 答 9.4

(ロ) 原式 = $2 - \left(1 - \frac{7}{10} + \frac{1}{5}\right) = 2 - 1 - \frac{9}{10} = \frac{1}{10}$ 答 $\frac{1}{10}$

3. $21圓 + \frac{2}{5} = 40圓$ 答 8圓40錢
4. $(31日 - 7日) \div 2 = 12日$ 答 12日
5. $1 \div 4 + 5 = 5\frac{1}{4}$ 答 $5\frac{1}{4}$
6. $9圓20錢 \times \frac{3}{20} = 1圓38錢$ 答 1圓38錢
7. $300圓 \div 300坪 = 1圓$ 答 坪1圓
8. $100圓 \div (1 + 1.5) = 40圓$ 次郎ノ所持金
 $40圓 \times 1.5 = 60圓$ 太郎ノ所持金 答 太郎 60圓 次郎 40圓
9. 初メノ所持金ヲx圓トスレバ

$$x^2 - \left(\frac{2}{8}x + 10\right) = \frac{1}{6}x + 10 \text{ 圓}$$

$$\frac{1}{3}x - 1 \text{ 圓} = \frac{1}{6}x + 10 \text{ 圓}$$

$$\frac{1}{3}x - \frac{1}{6}x = 20 \text{ 圓}$$

$$\frac{1}{6}x = 20 \text{ 圓}$$

$$x = 120 \text{ 圓}$$

$$\text{答 } 120 \text{ 圓}$$

10 海軍志願兵徵募(海軍少年航空兵)

讀書 (二十分)

一、次ノ漢字ニ讀假名振假名ヲツケヨ。

- (1) 淡白 (2) 契約 (3) 壓搾 (4) 廉潔 (5) 謙遜
- (6) 辛酸 (7) 委囑 (8) 饒舌 (9) 氣象 (10) 秩序

二、次ノ文章中——ヲツケテアル言葉ヲ漢字ニ書直セ。

- (1) セイ密なセツメイをエウする時には長きを厭はずキ曲をツクして書くべし。
- (2) 其のチュウジツとキンペンとコク己とはツネに上官の歎シヨウせる所にして、實に夕日赫々たる功ゲウを成すのソシツたり。

(三) 今は國民一パンが讀書によつてカク自の智徳をミガくべき時代である。

三、次ノ振假名ノ言葉ニ對シ、漢字ノ正シイモノニハ、ソノ下ニ○、誤レルモノニハソノ下ニ×ヲツケヨ。

- (1) 微細 (2) 暴發 (3) 掃除 (4) 營華 (5) 錠泊
- (6) 組織 (7) 不隱 (8) 退屈 (9) 憶病 (10) 覺悟

四、「上」トイフ言葉ノ反對ハ「下」デ「強」ト云フ言葉ノ反對ハ「弱」デアアル。次ノ言葉ノ反對ハ何カソノ下ニ書キ入レヨ。

- (1) 南極 () (2) 落選 () (3) 禍 ()
- (4) 樂觀 () (5) 濁流 () (6) 抽象的 ()
- (7) 年始 () (8) 俯 () (9) 優勝 ()
- (10) 訥辭 ()

五、次ノ文ノ () 中ニ左ノ言葉カラ適當ナモノヲ選ンデ書キ入レヨ。

基、 上る、 責任、 居り、 涙、 交情、 窮り、

碎ける、音楽、経営、月光、畢生、智勇、

- (1) 怨恨は()の離反する()なり。(2) ()を落す。
- (3) ()の()を振るふ。(4) 帝位に()變化なし。
- (5) 變化()なし。(6) 事業を()する。
- (7) ()を負ふ。(8) ()を奏す。

- 一、(一) 淡泊 (二) 契約 (三) 壓搾 (四) 廉潔 (五) 謙遜
- (六) 辛酸 (七) 委囑 (八) 饒舌 (九) 氣象 (十) 秩序

二、(一) 精密な説明を要する時には長きを厭はず委曲を盡して書くべし。
 (二) 其の忠實と勤勉と克己とは常に上官の歎稱せる所にして、實に他日赫々たる功業を成すの素質たり。

- (三) 今は國民一般が讀書によつて各自の智徳を磨くべき時代である。
- 三、(一) 微細 ○ (二) 暴發 × (三) 掃除 ○

- (四) 營華 × (五) 錠泊 × (六) 組織 ○
- (六) 不隠 × (八) 退屈 ○ (九) 憶病 ×
- (十) 覺悟 ○

- 四、(1) 南極 (北極) (2) 落選 (當選) (3) 禍 (福)
- (4) 樂觀 (悲觀) (5) 濁流 (清流) (6) 抽象的 (具體的)
- (7) 年始 (年末) (8) 俯 (仰) (9) 優勝 (劣敗)
- (10) 訥辭 (雄辯)

- 五、(1) 怨恨は(交情)の離反する(基)なり。(2) (涙)を落す。
- (3) (畢生)の(智勇)を振るふ。(4) 帝位に(上る)。
- (5) 變化(窮り)なし。(6) 事業を(經營)する。
- (7) (責任)を負ふ。(8) (音楽)を奏す。

算術 (三十分)

1. 次ノ式ヲ計算セヨ。

一 海軍志願兵採用試験問題並解答

(1) $\frac{3}{7} + \frac{2}{5} =$ (2) $1\frac{3}{8} - 0.6 =$

2. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(1) $0.561 + 0.3 =$ (2) $\frac{2}{7} \times 1\frac{1}{13} =$

3. 或仕事ヲ甲ガ六時間三十分働キ次ニ乙ガ三時間四十五分働キ次ニ丙ガ四時間十五分働イテ仕上リタ、合計幾時間ヲ要シタカ。

4. 長サ8「メートル」ノ竿ヲ水中ニ眞直ニ立テカラ $\frac{2}{5}$ ダケ水中ニ入ツタ、水上ニアル部分ノ長サハ幾「メートル」カ。

5. 甲ノ速サハ毎分40「メートル」デ乙ノ速サハ毎分280「メートル」デアル。今乙ガ出發シテカラ3分後ニ甲ガ乙ヲ追フト何分後ニ追ヒ付クカ。

6. 定價ノ一割引ヲ賣ツテモ尙原價ノ二割ノ利益アル様ニスルニハ原價6圓ノ品物ハ幾ラニスレバヨイカ。

7. 或ル金高デ鉛筆ナラバ21本筆ナラバ9本買ヘル、又鉛筆1筆ト1本ツツノ價ハ合セテ10錢デアル鉛筆1本ノ價ハ幾ラカ。

8. 甲ノ藏ニハ445俵、乙ノ藏ニハ115俵入ツテキル、甲ノ藏カラ乙ノ藏ニ何俵運ベバ甲ノ藏ノ俵數ガ乙ノ藏ノ俵數ノ3倍ニ等シクナルカ。(代數ヲ解イテモヨロシイ)

9. 或ル仕事ヲ甲乙二人デスルト12日ヲ出來上ル、此ノ仕事ヲ甲ガ15日シタ殘リヲ乙ガシタラ8日ヲ出來上ツタ、甲乙各一人デスルト幾日ヲ仕上ルカ。(代數ヲ解イテモヨロシイ)

解答

1. (1) 原式 = $\frac{15}{35} + \frac{14}{35} = \frac{29}{35}$ 答 $\frac{29}{35}$

(2) 原式 = $1\frac{3}{8} - \frac{6}{10} = 1\frac{15}{40} - \frac{24}{40} = \frac{31}{40}$ 答 $\frac{31}{40}$

2. (1) $\frac{1.87}{3 \times 5.61}$ (2) 原式 = $\frac{2}{7} \times \frac{14}{13} = \frac{4}{13}$

$$\begin{array}{r} 3 \\ \hline 26 \\ 24 \\ \hline 21 \\ 21 \\ \hline 0 \end{array}$$

答 1.87 答 $\frac{4}{13}$

3. 6時間30分 + 3時間45分 + 4時間15分 = 14時間30分 答 14時間30分

4. $8\text{米} \times \left(1 - \frac{2}{5}\right) = 4.8\text{米}$ 答 4.8米
5. $280\text{米} \times 3 + (400\text{米} - 280\text{米}) = 7\text{分}$ 答 7分
6. $\{6\text{圓} \times (1 + 0.2)\} + (1 - 0.1) = 8\text{圓}$ 答 8圓
7. $10\text{錢} + \left(1 + \frac{9}{21}\right) = 7\text{錢} \dots\dots$ 筆本ノ1價 10錢-7錢=3錢 $\dots\dots$ 鉛筆1本ノ價 答 3錢
8. 甲ノ裁カラ運ビ出ス俵數ヲ x トスレバ
 $445\text{俵} - x = 3 \times (115 + x)$ $445\text{俵} - 345\text{俵} = 4x$ $100\text{俵} = 4x$ $x = 25\text{俵}$ 答 25
9. 甲一人ニテ仕上ザルニ要スル日數ヲ x , 乙一人ニテ仕上ザルニ要スル日數ヲ y トスレバ
 $1 \div \left(\frac{1}{x} + \frac{1}{y}\right) = 12$ $15 \times \frac{1}{x} + 8 \times \frac{1}{y} = 1$
 $\begin{cases} xy = 12(x+y) \dots\dots\dots(1) \\ \frac{15}{x} + \frac{8}{y} = 1 \dots\dots\dots(2) \end{cases}$
 (2) $\Rightarrow y$ $15y + 8x = xy \dots\dots\dots(3)$
 (1) \wedge (3) $\Rightarrow y$ $15y + 8x = 12x + 12y$

$$15y - 12y = 12x - 8x \quad 3y = 4x \quad y = \frac{4}{3}x \dots\dots\dots(4)$$

$$(4) \text{ヲ}(1) \text{ニ代入スレバ} \quad x \left\{ \frac{4}{3} - \frac{x}{3} \right\} = 12 \left\{ x + \frac{4}{3}x \right\}$$

$$4x^2 = 84x \quad x^2 = 21x \quad x^2 - 21x = 0 \quad x(x - 21) = 0 \quad x = 0 \quad \text{又ハ} x - 21 = 0$$

然ルニ $x \neq 0 \quad x = 21 \dots\dots\dots(5)$

$$(5) \text{ヲ}(4) \text{ニ代入シテ} \quad y = \frac{4}{3} \times 21 = 28$$

答 甲 21日 乙 28日

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答

一 横須賀海軍航空廠

算術 (一時 四)

- 二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答 1115

1. 次ノ計算ヲセヨ。

$$8 - 2.36 \times 3.12 + 3.91 + 1.7 \times 0.31 =$$

2. 次ノ計算ヲセヨ。

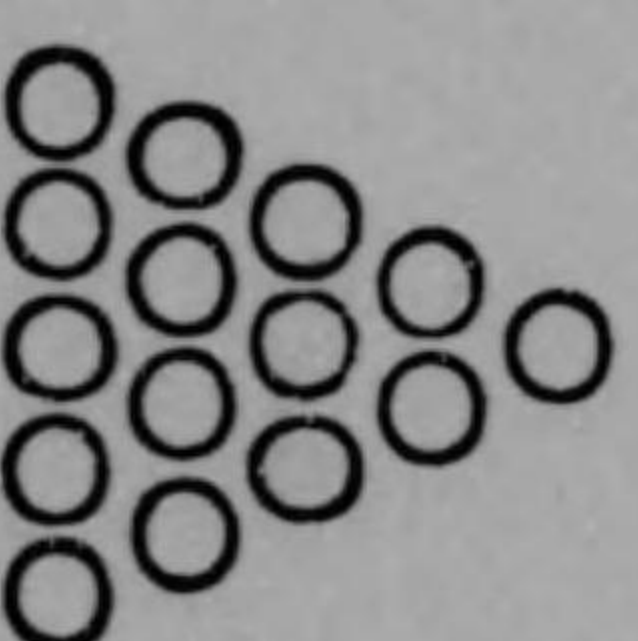
$$\left(\frac{4}{15} \frac{3}{12} - \frac{5}{15} \times \frac{4}{15} - \frac{5}{9} \right) + 3 \frac{8}{15} =$$

3. 鶴龜合セテ27匹ニシテ足數合計98本ナリト云フ鶴龜各々何匹ナルヤ。

4. 梯形アリ上邊ノ長サ13糎、下邊ノ長サ27糎、高リ9糎ナリト云フ、面積何平方糎ナリヤ。

5. 上肉2斤ノ價ハ下肉3.5斤ノ價ニ等シク上肉1斤ト下肉1斤トノ價ノ差ハ45錢ナリト云フ、上肉下肉各々1斤ノ價何錢ナリヤ。

6. 圖ノ如ク正三角形ニ管ヲ積ミ重ネアリ、最下列ノ管ノ數ハ127本ナリト云フ、管ノ總數何本ナリヤ。



7. 時計ノ長針ト短針トガ一時ト二時トノ間ニ於テ重ナリ合フ時刻ハ何時何分何秒ナリヤ。

解答

1. 原式 = $0.6368 + 2.3 \times 0.31 = 1.3498$ 答 1.3498

2. 原式 = $\left(\frac{63}{15} - \frac{4}{9} - \frac{5}{9} \right) \times \frac{15}{53} = \frac{48}{53}$ 答 $\frac{48}{53}$

3. 全部ガ龜子アツタトスレバソノ足數ハ
 $(108 \text{本} - 98 \text{本}) \div 2 \text{本} = 5 \dots \dots \dots$ 龜ノ數
 $27 - 5 = 22 \dots \dots \dots$ 鶴ノ數
 答 鶴 5 龜 22

4. $\frac{1}{2} \times (27 \text{糎} - 13 \text{糎}) \times 9 \text{糎} + 13 \text{糎} \times 9 \text{糎} = 180$ (平方糎) 答 180平方糎

5. 上肉1斤ノ價ヲ x 、下肉1斤ノ價ヲ y トスレバ

$$\begin{cases} 2x = 3.5 \dots \dots \dots (1) \\ x - y = 45 \dots \dots \dots (2) \end{cases}$$

$$(2) \Rightarrow y \quad x = 45 + y \dots \dots \dots (3)$$

3. $5y = 90 \quad y = 60$
 $2(45 + y) = 3.5y$

コレヲ(3)ニ代入スレバ $x = 105$ 答 上肉 105錢 下肉 60錢

6. 積重ナル管ハ等差級數ヲナシ、ソノ初項ハ1、公差ハ1ニシテ末項ハ127ナリ
 故ニ總數ヲ S トスレバ $S = \frac{1+127}{2} + \frac{(127)^2 - (1)^2}{2 \times 1} = 8128$ 答 8128本

7. 長針が60分刻度ダケ進ム間 = 長針ハ短針ヨリモ55分刻度ダケ多ク進ム。1時ノ時ハ長針ハ短針ヨリモ5分刻度ダケ後レチキル故針ガ重ナリ合フ迄ニハ長針ハ短針ヨリ5分刻度ダケ多ク進ムハヨク、然ルニ長針ハ1時間 = 短針ヨリ55分刻度ダケ多ク進ムヲ以テ、5分刻度ダケ多ク進ムニハ

$$1時間 \times \frac{5}{55} = 5 \frac{1}{11} \quad \text{答} \quad 1時5 \frac{1}{11} \text{分}$$

■ 語 (一) (一時間)

一、左の文中傍線ある箇所の意味を例を擧げて説明せよ。

獨立國の本義は形式的に他の干渉を絶ちて自立の體面を保つのみならず精神的にも自主ならざるべからず。

二、次の語句のわけを書け。

- (イ) 端武者どもには目なかけそ。 (ロ) 機を見るに敏なり。 (ハ) 恥を雪ぐ。
- (ニ) 怒を遷さず。 (ホ) 齡耳順に達す。

■ 語 (二)

一、次の文中片假名にあてはまる漢字を () 内に書き入れよ。

教育所に於ける少年青年の生活はモツバラ、レンケツ、シツソ、コクキ、ニンタイのキシヤウを
タンレンすることを目的とし其のキリツはスコブるゲンカクなり。

二、次の語句の右側に讀假名をつけよ。

敬虔	精進	慰藉	什物	斟酌	霸權
芽生	挨拶	入魂	飛翔		

三、次の語句の意味に對立する(反對の)語句を () 内に書け。

- (イ) 簡單 () (ロ) 建設 () (ハ) 集合 ()
 - (ニ) 模倣 () (ホ) 勤勉 ()
- 作文 協同。

■ 語 (一)

一、(イ) 支那や暹羅のやうに形の上では他國がさして、世話をするやうなことをさせずに自分で一本立ちになつてゐることの面目。

(ロ) 實質上から。 (ハ) 獨立してゐなければならぬ。

二、(イ) とるにたらぬ兵などには目をかけるな。

(ロ) 機会を見てとることが早い。

(ニ) やつあたりせぬ。

(ハ) 恥ぢをぬぐふ。

(ホ) 六十歳になる。

(11)

一、専 廉潔 質素 克己 忍耐 氣象

規律 鍛錬 頗 嚴格

二、ケイケン シヤウジン イシヤ ジウブツ シンシヤク

ハケン メバエ アイサツ ジツコン ヒシヤウ

三、(イ) 複雑 (ロ) 破壊 (ハ) 離散 (ニ) 創造

(ホ) 怠惰

作文 (省略)

2 横須賀海軍工廠

國語

一、次ノ漢字ニ讀假名ヲツケヨ。

行宮 日和 芝生 釋迦 哀悼

二、次ノ語句ト反對ノ意味ノ語句ヲ()内ニ漢字ニテ書ケ。

供給() 失敗() 直接()

建設() 亂雜()

三、左ノ數字ノ下ニ適當ナル漢字ヲ入レヨ。

具足一() 馬四() 船五()

靴八() 荷車三()

四、次ノ語ヲ含ム短文ヲ作レ。

(イ) 終始一貫。 (ロ) 初一念。

五、次ノ文章中片假名ヲ漢字ニ改メテ記セ。

今や都會のフウテウは全國にハキフし其のヨヘイとして人心やゝもすればシヤシを追ひフクワを

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答

喜ぶの傾あり。

六、左ノ語ノ誤ヲ正セ。

慰籍 險約 成績 貨幣 復雜

七、左ノ章句ノ解釋ヲ簡單ニ記セ。

(イ) 等閑に附す。 (ロ) 齡古稀に近し。 (ハ) 名を竹帛に垂る。

(ニ) 清貧に安んず。

(ホ) その悠揚迫らざる風格に接するものは皆歎賞するのであつた。

八、次ノ意味ヲ表ス熟語ヲ書ケ。

(1) 自分の國で出来た品。 (2) 長い間もつてゐる志。

(3) 戦争に勝つて歸ること。 (4) あわてることを。

(5) 建物などの出来上ること。

九、左ノ文章ヲ解釋セヨ。

金城鐵壁の守ありとも政令下に行はれず、國民心服せずんば國家の安寧は期し難かるべし。

十、左ノ文中誤アラバ正セ。

自動車ヲ運轉スルニハ取締規則ニ從ハネバナラヌ。其ノ他清潔方ノ實施トイヒ、傳線病豫妨トイヒ演激ノ興行トイヒ構演會ノ開催トイヒヨルベキ規則ガアル。

經方 課題——日本ノ使命。

一、アングウ。 ヒヨリ。 シバフ。 シヤカ。 アイタフ。

二、需要 成功 間接 破壊 整頓

三、(領) (頭) (足) (臺)

四、終始一貫作業を続ける。 初一念を貫く。

五、風潮。 波及。 餘弊。 奢侈。 浮華。

六、慰藉。 儉約。 成績。 貨幣。 複雜。

七、(イ) なほざりにして顧みない。 (ロ) 七十歳に近い。

(ハ) 名を後の世に残す。 (ニ) 貧しさに安じてゐて操を守る。

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答

(ホ) その落付いて少しもあわてたところのない様子は、近づく者が皆ほめそやすのであった。

- 八、(1) 國産品 (2) 素志 (3) 凱旋 (4) 狼狽
- (5) 竣工

九、何んなに堅固な守備があつても、政治や命令が人民に行届かず、國民が心から服従せねば國家の安泰は望めなし。

- 十、自動車。 清潔法。 實施。 傳染。 豫防。 演劇。
- 興行。 講演會。

算術 (一時間)

1. 或大雨ノ日屋外ニ内徑20糎ノ圓筒形ノ槽ヲ置イタラ0.628立ノ雨水ガ入ツテ居タ此日ニ面積12000平方メートル運動場ニ降ツタ雨水ノ量ハ幾立方メートルカ。但シ圓周率ハ $\pi=3.14$ トス。
2. 一脚ニ三人ツツ掛ケルト八十一人掛ケラレル腰掛ニ四人ツツ掛ケルト皆テ何人掛ケラレルカ。
3. 眞直ニ立テタ1.8米ノ棒ノ影ガ6.6メートルトキ影ノ長サ30メートル塔ノ高サハ幾メートルカ。
4. 次ノ繁分數ヲ簡單ニセヨ。

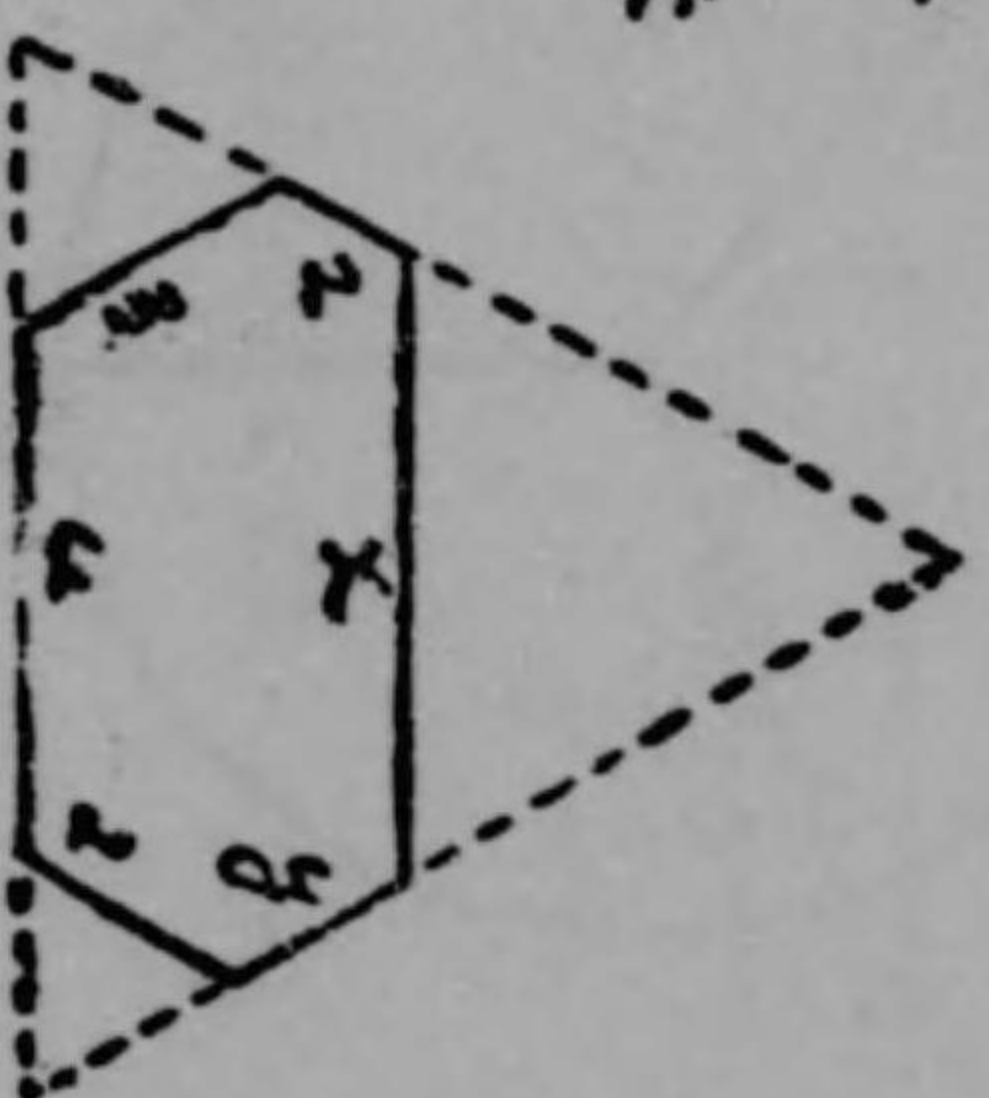
$$1 + \frac{2}{1 + \frac{3}{2 + \frac{1}{4}}}$$

5. 「レンス」ト立木トノ距離ガ7米, 「レンス」ト像トノ距離ガ0.6米, 像ノ長サガ35糎アルトキ立木ノ高サハイクラカ。

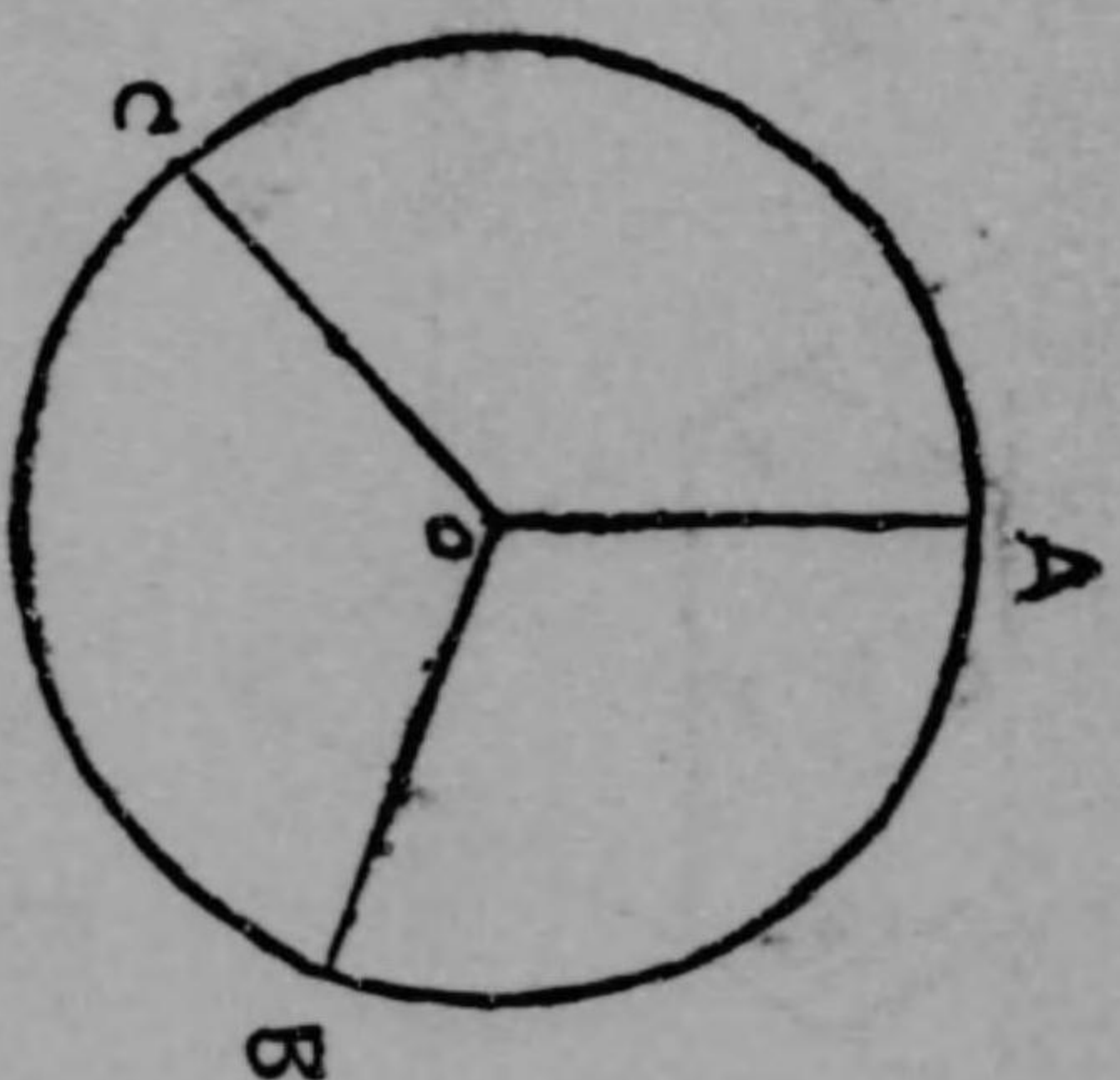
$$6. \quad 3\frac{1}{5} + \frac{3}{5} \times \frac{1}{2} - \frac{4}{21} \div \frac{2}{5} \times \frac{7}{8} + \frac{2}{3} \quad \text{ヲ計算セヨ。}$$

7. 分數アリ其ノ分母ト分子トノ和ハ57ニテ, 若シ分母ト分子ニヨリ各6ヲ引キテ後之レヲ約スレバ $\frac{2}{3}$ トナルトイフ, 此ノ分數ヲ求メヨ。

8. 正三角形ノ三ツノ隅カラ正三角形ヲ切り取レバ圖ノ如キ六角形ヲ得此ノ六角形ノ相連続シタル邊ガ順次1米³米²米¹ナルトキ残りノ二邊ノ長サヲ求メヨ。



9. 某學校ノ生徒數ハ540人シテ各學年ノ生徒數ハ圖ニ示ス如シ、各學年ノ生徒數ヲ求ム。
但シ $\angle AOB = 110^\circ$ $\angle BOC = 120^\circ$



10. 午前九時三十五分甲驛ヲ發シ同十時十分乙驛ニ着セル列車ト午前九時四十分乙驛ヲ發シ同十時二十分甲驛ニ着セル列車トノ出會ヒタル時刻ヲ求メヨ。

1. $0.628 + 2 \times 3.14 \times \left(\frac{100}{100}\right)^2 = 10$ $12000 \times \frac{10}{100} = 1200$ 立方米 答 1200 立方米
2. $3 : 81 = 4 : x$ $x = 108$ 答 108 人
3. $6.6 : 1.8 = 30 : x$ $x = \frac{90}{11}$ 答 $8\frac{2}{11}$ 米

4. 原式 $= 1 + \frac{2}{1 + \frac{3 \times 4}{9}} = 1 + \frac{2 \times 3}{7} = 1\frac{6}{7}$ 答 $1\frac{6}{7}$

5. 「レソス」ト立木トソノ線ノ大イサハソノ距離ニ比例スルカ
 $7 : 0.6 = x : 35$ $x = \frac{35 \times 7}{0.6} = 408$ 答 4.08 米

6. 原式 $= \frac{7}{2} + \frac{3}{10} - \frac{4}{21} \times \frac{20}{7} + \frac{2}{3} = \frac{38}{10} + \frac{178}{147} = \frac{2793 - 890}{735} = \frac{2433}{735}$ 答 $\frac{2433}{735}$

7. 分數, 分母, 分子ヲ夫々 x, y トスレバ

$$\begin{cases} x+y=57 \dots\dots\dots(1) & (1) \text{ヨリ} & x=57-y \dots\dots\dots(3) \\ \frac{x-6}{y-6} = \frac{2}{3} \dots\dots\dots(4) & (3) \text{ヲ}(2) \text{ニ代入スレバ} & \frac{57-y-6}{y-6} = \frac{2}{3} \\ 153-3y=2y-12 & 5y=165 & y=33 & x=57-33=24 \end{cases}$$

答 $x=24$ $y=33$

8. 題意 =ヨリ BP=PQ=3m

RC=RS=2m

EC=BP+PR+RC=3m+4m+2m=9m

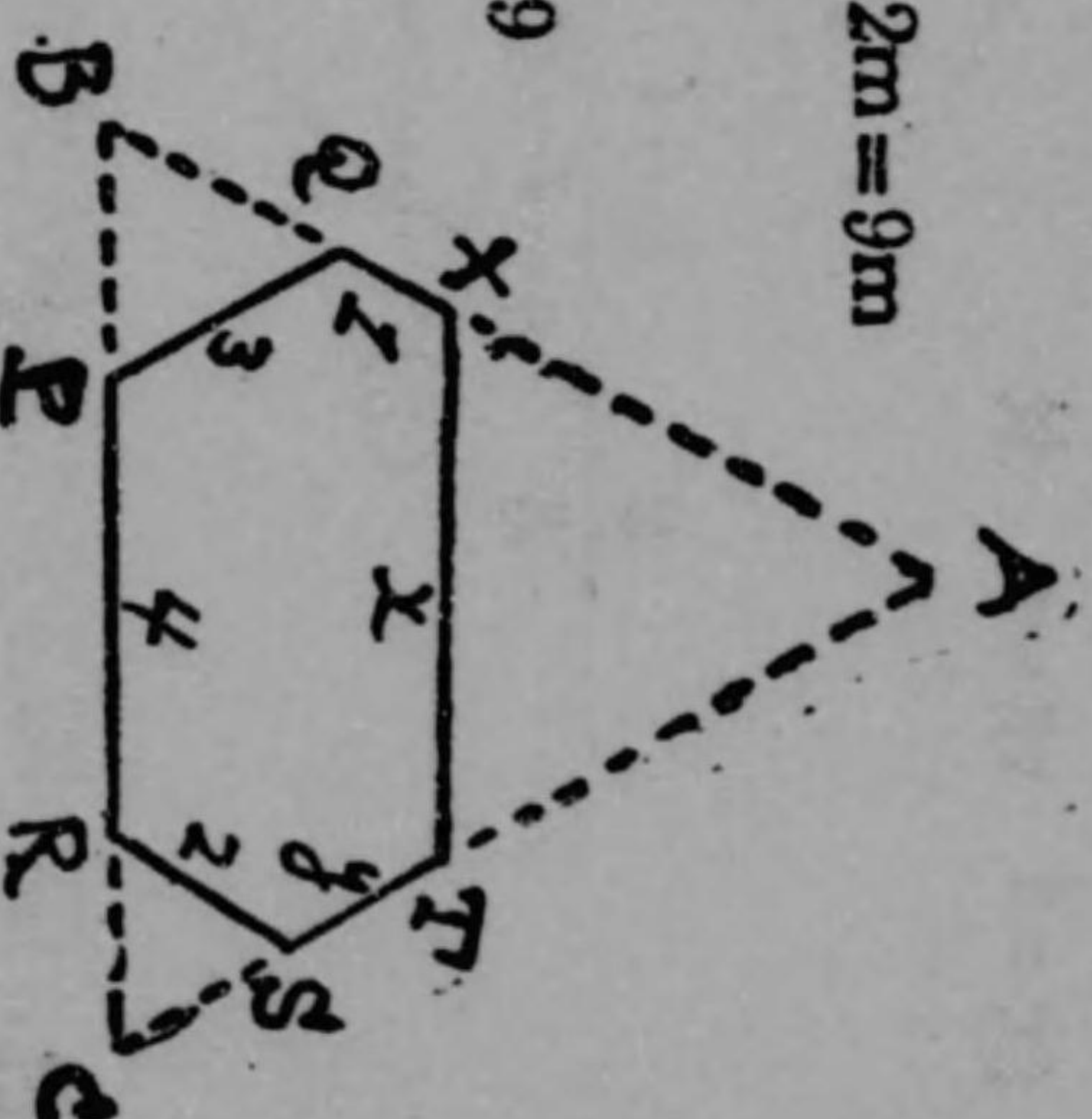
CA=CS+ST+TA=BC=9

∴ 2+y+x=9

故 = x+y=7.....(1) 又 AB=AX+XQ+QB=BC=9

x+1+3=9 x=5.....(2)

(2)ヲ(1)代入スレバ y=2 答 x=5 y=2



9. $360^\circ - (110^\circ + 120^\circ) = 130^\circ$ $\angle COA = 130^\circ$

1年生 : 2年生 : 3年生 = 110 : 120 : 130 = 11 : 12 : 13

$\{504 \text{人} + (11 + 12 + 13)\} \times 11 = 154 \text{人} \dots\dots\dots 3 \text{年生}$

$\{504 \text{人} + (11 + 12 + 13)\} \times 12 = 168 \text{人} \dots\dots\dots 2 \text{年生}$

$\{504 \text{人} + (11 + 12 + 13)\} \times 13 = 182 \text{人} \dots\dots\dots 1 \text{年生}$

答 1年生 182人 2年生 168人 3年生 154人

10. 甲驛ヲ出發スル列車ガ甲乙兩驛間ヲ走ルニハ 10時10分—9時35分=35分 } ヲ要ス

乙驛ヲ出發スル列車ガ甲乙兩驛間ヲ走ルニハ 10時20分—9時40分=40分 }

今甲乙兩驛間ノ距離ヲ1トスレバ

甲ハ $\frac{1}{35}$ ノ速度ヲ有シ, 乙ハ $\frac{1}{40}$ ノ速度ヲ有ス。而テ甲ハ乙ヨリモ5分早く出發セル故兩者ガ

出會フニ要スル時間ヲx分トスレバ

$\left(\frac{1}{35} \times 5\right)x + \frac{1}{40}x = 1$ $47x = 280$ $\therefore x = 5\frac{45}{47}$ 分

9時40分 + $5\frac{45}{47}$ 分 = 9時15分 $\frac{45}{47}$ 分 答 9時45分 $\frac{45}{47}$ 分

雑 問 (1 時 間)

- 一、鐵の比重は七・八なりとはどういふことか。
- 二、三千二百字を一頁に十二行、一行に二十五字づつ書くと何頁になるか、又最後の二頁の餘白の所は何字分あるか。

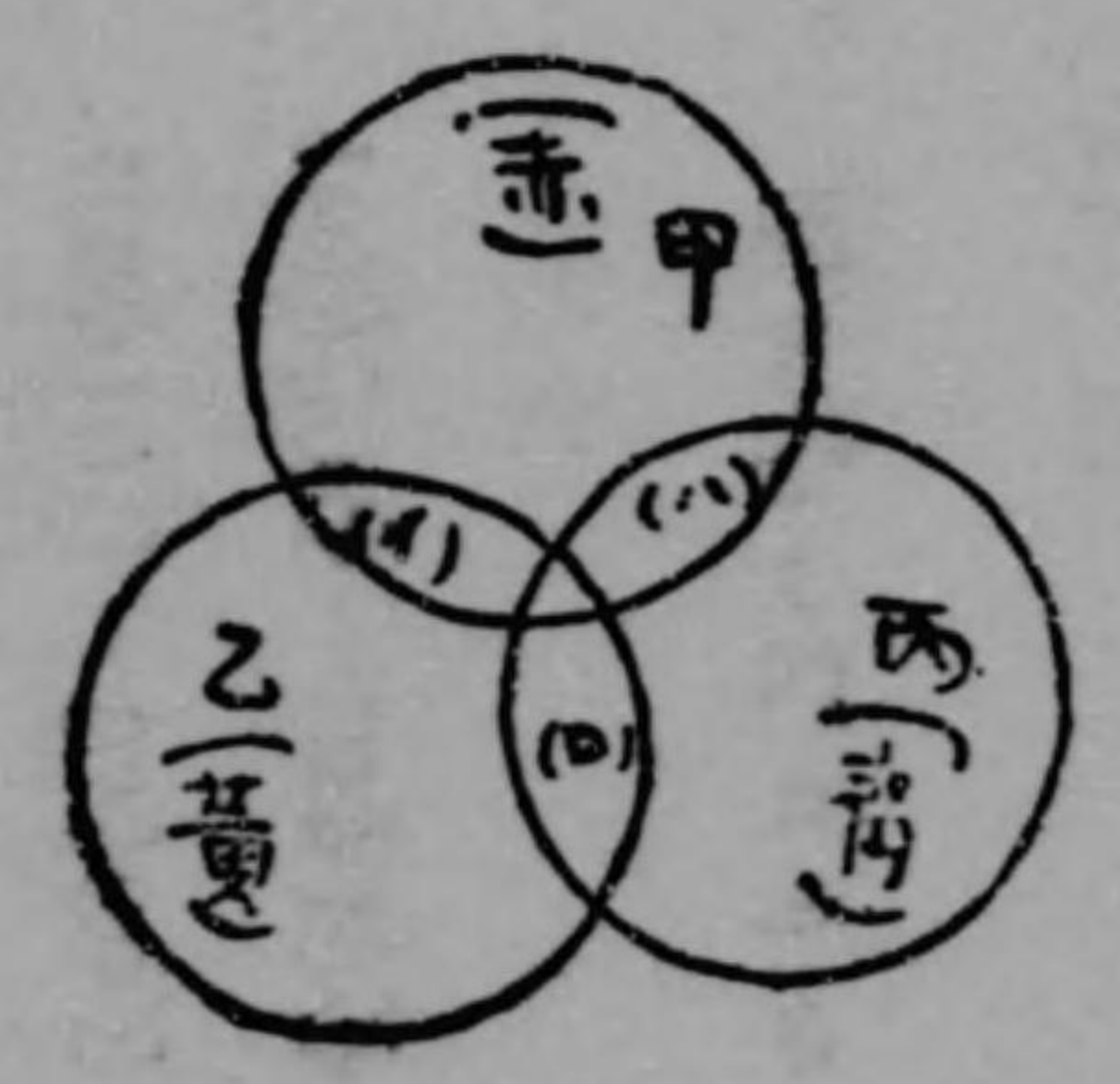
三、或人所持金の半分より十圓多く使つたところが二十圓残つた、最後の所持金はいくらか。

- 四、次の神社に祭りし人の名及所在地を記せ。
- (イ) 護王神社
- (ロ) 談山神社
- (ハ) 湊川神社
- (ニ) 豊國神社
- (ホ) 鎌倉宮

五、次の假名を漢字に記せ。

- (イ) センキヨシユクセイ。 (ロ) コクサイレンメイ。 (ハ) グンシユクカイギ。
- (ニ) ユダンタイテキ。 (ホ) シツジツゴウケン。

六、三の相交はる圓、甲、乙、丙の全面に夫々赤、黄、青の色を塗れば(イ)(ロ)(ハ)の部分はどんな色になるか。



七、汽車が青森驛を出て東北本線及山陽線を経て下關驛に到着するまでの沿線府縣名を列記せよ。

八、或市の水道給付料金は一ヶ月十立方メートルまでは一圓でそれ以上は一立方メートル又は其の端數毎に八錢を増し三ヶ月分づつ纏めて納入する規定である。或家の水道使用料は七月が八・一立方メートル、八月が一・七立方メートル、九月が七・九立方メートルであつた。料金何程の通知票が来るか。

九、次の事柄に古い順位に番號を附せ。
大化改新。 廢藩置縣。 漢學傳來。 版籍奉還。 建武の中興。
十、左の都市は何處にあるか。
アチヌアベバ。 マルセイユ。 シドニー。 承德。 清津。

一、鐵の比重が七・八だといふのは、鐵の重さがこれと等體積の攝氏四度の純水の重さの七・八倍だといふことである。

二、3200字+(25×12字)=10(枚).....200字
25字×12=200字 答 11頁.....餘白100字

- 三、二十圓は所持金の半分より十圓少ない故、二十圓に十圓を加へた三十圓が、所持金の半分に當る。
- 四、(イ) 和氣清麿、廣嶺——京都市
(ロ) 藤原鎌足——奈良縣多武峰
(ハ) 楠木正成、正行——神戸市
(ニ) 豊臣秀吉——京都市
(ホ) 護良親王——神奈川縣鎌倉町
- 五、(イ) 選舉肅正。 (ロ) 國際聯盟。 (ハ) 軍縮會議。
(ニ) 油斷大敵。 (ホ) 質實剛健。
- 六、(イ) 橙 色。 (ロ) 綠。 (ハ) 紫。
- 七、青森縣、岩手縣、宮城縣、福島縣、栃木縣、埼玉縣、東京府、神奈川縣、静岡縣、愛知縣、滋賀縣、京都府、大阪府、兵庫縣、岡山縣、廣島縣、山口縣。
- 八、七月分は一圓、八月分は一圓十六錢、九月分は一圓であるから、合計三圓十六錢である。
- 九、1 漢學傳來。 2 大化改新。 3 建武の中興。 4 版籍奉還。 5 廢藩置縣。
- 十、アヂスアベバ——アフリカ東部舊エチオピア首府、海拔二千七百米の高臺上にあつて、赤道に近

いが氣候温和、鐵道によつて紅海々岸のチブチ港に通じてゐる。

マルセーユ——ローヌ河口に近くフランス第一の貿易港、アフリカ、アジア方面の貿易多く、石鹼を産し、世界第一の植物油の取引地、我が郵船の寄港地である。

シドニー——濠洲第一の都市で、ニューサウスウェールズ洲の首府、世界屈指の良港ポートジャクソン灣に臨み、灣内は水が深く波穏かで碇泊に便である、農牧地を後背地として羊毛、小麦の輸出が多い、軍港と商港を兼ね、我が總領事館がある。

承德——滿洲國熱河省の首府、清朝の離宮がある、經濟的にも地方の中心をなし、高粱、小麦、羊毛、豚毛を主に輸出し、天津から綿糸、綿布、石油、雜貨を輸入する。

清津——朝鮮北東の開港場で、敦賀との間に連絡船がある。

3 舞鶴要港部工作部

算 術 (1 時間)

1. (a) $0.53 - 0.4 + 8 + 6 + (4 - 2.5) =$

二 海軍工廠 習職工採用試験問題並解答

$$(b) \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3} + \frac{1}{4} \right) + \left(6 - \frac{2}{3} - \frac{2}{3} \times \frac{5}{6} \right) =$$

2. 兄弟二人アリ兄ノ年ハ25歳弟ノ年ハ19歳ナリ、弟ノ年ガ兄ノ年ノ5分ノ4トナル時兄及弟ハ何歳ナルヤ。

3. 甲乙二人同時ニ同所ヲ出發シ同方向ニ行ク時ハ25分間ニ乙ハ甲ヨリ250米後レ反對方向ニ行ク時ハ2040米隔ツベシトイフ、甲乙各一分間ノ速サハ如何。

4. 或學生ガ1圓ヲ持テテ書店ニ行キ修身書ト國語讀本トヲ買ハバ1錢足り、修身書ト算術書ヲ買ハバ2錢不足シ、國語讀本ト算術書ヲ買ハバ5錢不足スト云フ、修身書及國語讀本幾錢ナルカ。

5. 水槽ニ水管ヨリ注水シタルニ3時間ニテ滿水シタルヲ以テ水管ヲ閉メタリ、所ガ水槽ノ底ニ小孔アリテ12時間ニテ全部漏出シタリ故ニ小孔ヲ塞ギ再ビ注水シタリ何時間ニテ滿水スベキカ。

6. 本職工一人ナラバ5日ヲ要スル仕事ハ見習工一人ナラバ75日ヲ要ス、本職工、見習工各一名ニテ此ノ仕事ニ掛リタルニ見習工ハ病氣ニテ中途休業シタリ、故ニ全部ニテ40日ヲ要シタリ、見習工ノ休ミタル日數如何。

7. 銅ノ比重ガ8.9、鉛ノ比重ガ11.4ナリ、2.6斤ノ銅塊ト同體積ノ鉛塊ノ重量ハ幾斤ナリヤ。

8. 下底ガ上底ノ2倍ナル梯形アリ、其高サハ4尺、面積ハ60平方尺ナリ上底ハ幾尺ナリヤ。
9. 五ツ連続セル正ノ奇整数アリ第一、第三、第五ノ和ハ39ナリ、第一、第三數ハ如何。
10. 次ノ聯立方式ヲ解ケ。

$$\begin{cases} 9x+4y=-5 \\ 4x+7y=13 \end{cases}$$

1. (a) 原式 = $\frac{55}{100} - \frac{4}{10} \times \frac{1}{8} + 6 \div \left(4 - \frac{25}{10} \right) = \frac{56-5}{100} + 6 \times \frac{2}{8-5} = 4 \frac{41}{100}$ 答 $4 \frac{41}{100}$

(b) 原式 = $\frac{6+4+3}{12} \times \frac{56-10}{9} = \frac{115}{54} = 2 \frac{7}{54}$ 答 $2 \frac{7}{54}$

2. 25歳-19歳=6歳……………兄弟ノ年齢ノ差
 $6 + \left(\frac{5}{4} - 1 \right) = 24$ 24-19=5年後 答 5年後 兄30歳 弟24歳

3. 甲乙各一分間ノ速サ夫々、リスレバ

$$\begin{cases} 25 \times (x-y) = 250 & \dots\dots\dots(1) \\ 25 \times (x-y) = 2040 & \dots\dots\dots(2) \end{cases} \quad (1) \text{ヨリ } x-y=10 \quad \therefore x=10+y \dots\dots\dots(3)$$

(3)ヲ(2)ニ代入スルバ $25(10+y)=240$

$50+10y=358 \quad y=35.8 \quad \therefore x=45.8$ 答 甲 45.8米 乙 35.8米

4. $\{(100\text{錢}-1\text{錢})+(100\text{錢}+2\text{錢})+(100\text{錢}+5\text{錢})\} \div 2 - (100\text{錢}+2\text{錢}) = 51\text{錢} \dots\dots$ 國語讀本ノ定價
 $(100\text{錢}-1\text{錢})-51\text{錢}=43\text{錢} \dots\dots$ 修身書ノ定價 答 國語 51錢 修身 43錢

5. 小孔ヨリ一時間ニ漏ル量ハ $\frac{1}{12}$ 小孔ヲ塞グ前ノ一時間ノ注水量ヲ1トスルバ
 $3\text{時間} + \left(1 + \frac{1}{12}\right) = 2\frac{6}{13}$ 時間 答 $2\frac{6}{13}$

6. 仕事ヲ1トスルバ本職工ノ一日ノ仕事量ハ $\frac{1}{50}$
 見習工ノ一日ノ仕事量ハ $\frac{1}{75}$ 兩人協力シテ完成スル日數ハ $1 + \left(\frac{1}{50} + \frac{1}{75}\right) = 30$ 日
 $40\text{日} - 30\text{日} = 10$ 日 $\frac{10}{50} + \frac{1}{75} = 15$ 日 $\dots\dots$ 見習工ノ休ミシ日數 答 15日

7. $8.9 : 11.4 = 2.6 : x \quad x = \frac{11.4 \times 2.6}{8.9} = 8.9$ 疋 答 8.9疋

8. 上底ヲ x 繩トスルバ $4x + \frac{1}{2}(4x) = 60 \quad x = 60$ 答 上底 10繩 下底 2繩

9. 最初ノ奇數ヲ x トスルバ連続セル五ツハ
 $x, x+2, x+2+2, x+2+2+2, x+2+2+2+2$
 $x + (x+2+2) + (x+2+2+2) = 29 \quad 3x = 27 \quad x = 9$
 第三ノ數ハ $6+2+2=13$ 答 9, 13

10. $\begin{cases} 9x+4y=-6 & \dots\dots\dots(1) \\ 4x+7y=13 & \dots\dots\dots(2) \end{cases} \quad (1) \times 7 - (2) \times 4$
 $47x = -94 \quad x = -2$
 $9(-2) + 4y = -6 \quad 4y = 12 \quad \therefore y = 3$ 答 $x = -2 \quad y = 3$

國語 (1時間)

一、左ノ各讀方ヲ付ケヨ。

- (1) 負擔
- (2) 秩序
- (3) 蒼茫
- (4) 雜言
- (5) 奢侈

(6) 慷慨 (7) 敏捷 (8) 翻權 (9) 狼狽 (10) 傾聽

二、左ノ片假名ノ部ヲ漢字ニ直セ。

(1) シユフ「ローマ」は四方の富を集めてソウレイゼンビ萬世フキウの都府なるをホコレリ、然るに北方の諸バンククのシンニユウ漸くハゲしきに及びキヨウシヤに染みエイグワに酔ひてジュウダ風をなせる「ローマ」人其のイキオヒをソソする事能はず。

(2) カンジヨウのシウレンはジンカクシユウヨウのヨウケンにしてシヨセイ上最もキンヨウなる事なり。

三、左ノ各ヲ解釋セヨ。

- (1) 處世の道を説く。
- (2) 苦情を並べる。
- (3) 寂寥を添ふ。
- (4) 當年。
- (5) 苦心をしのぶ。
- (6) 露けき袖を分つ。
- (7) 觀察は精粗區々なり。
- (8) 悠揚迫らざる風格。
- (9) 隱遁的生活をする。
- (10) をさく／＼怠なし。

四、左ノ文ヲ解釋セヨ又傍線ノ部ヲ別ニ説明セヨ。

されば一朝國家の大事あらんか、日本語の響く限り幾千萬の同胞は、共同一致直ちに難に赴き、あくまで力を盡して、死して悔いざるなり。若し又慶報に接せんか、北の果も南の端も、一齊に君が代を歌ひて、國家の幸運を祝福するなり。

五、左ノ御歌ヲ解釋セヨ、又別ニ感ズル處ヲ書ケ。

持つ人の心によりてたからとも
あだともなるは黄金なりけり

一、

- (1) フタン。 (2) チツジヨ。 (3) サウバウ。 (4) ザウゴン。
- (5) シヤシ。 (6) カウガイ。 (7) ビンセフ。 (8) ハケン。
- (9) ラウバイ。 (10) ケイチヤウ。

二、(1) 首府。

壯麗善美。 不朽。 誇。 蕃族。 侵入。
激。 驕奢。 榮華。 柔情。 勢。 阻止。

(2) 感情。 修練。 人格修養。 要件。 處世。 緊要。

三、(1) よわたりの方法を説明する。(2) 不平を言ひたてる。

(3) さびしみを増す。(4) その事のあつた年。

(5) 心をくろしめた後を思ひはかる。(6) 涙をぬぐつて別れる。

(7) 見て調べたところはくわしいのとあらつばいのとまち／＼である。

(8) 落ち付いてもものにこだわらぬ氣高い人格。

(9) 世をのがれて人と交際せぬ生活をする。(10) 少しも油断せぬ。

四、さういふわけだから一旦國家に大事が起ると、日本語が響く以上何千萬の國民は共同一致して直ぐに仇に向ひあくまで力を盡して死んでも心のこりとせぬ。又喜びのしらせを聞けば國中を擧げて一緒に君が代の國歌を唱へて、國家の目出度い運を祝ふのである。

國家の大事 國の大事件。 響く限り 聞える以上は。

北の果も南の端 國中全體。 國家の幸運 國の幸福な運命。

五、持つ人の心次第で財寶ともわざはひもなるのは金錢である。

金錢には變りはないが持つ人の心次第で寶にもなればわざはひにもなるのが金錢であるから、充分に注意せねばならぬと戒められた御歌。

4 吳海軍工廠

(イ) 豫備試験(甲) (四十分)

1. 次ノ式ヲ計算セヨ。

(イ) $a^3 \times a^{13}$ (ロ) $(-6x^3 a) \times (-5xa^2)$ (ハ) $4x^5 + 2x^2$

(ニ) $(3a+6a^2)+3a$

2. $\frac{1}{90}$ ノ勾配ノ鐵道線路ニ沿ヒ5400米歩メバ垂直ニハ何米上ルカ、但シ $\frac{1}{90}$ ノ勾配トハ線路90米ニツキ垂直ニ1米上ルコトナリ。

3. (イ) 時計ノ長針ガ45分過ギタル角度ハ何度カ。

(ロ) 135° ハ銳角, 直角, 鈍角ノ中何レカ。

4. 平行四邊形ニ如何ナル條件ヲ加ヘタラ次ノ形ノモノニナルカ。 (イ) 矩形 (ロ) 菱形

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答

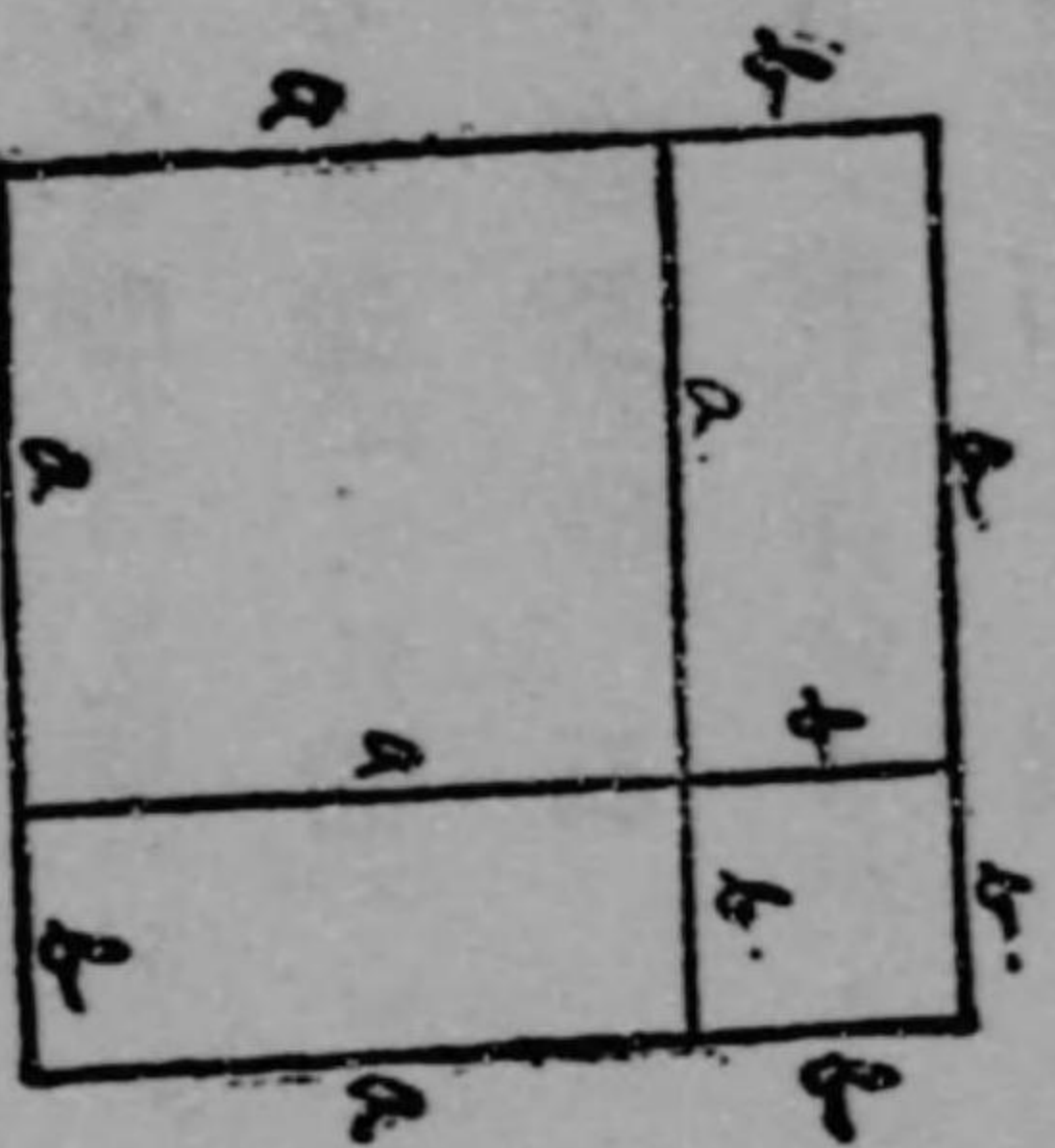
5. 1邊ノ長サガ $a+b$ ノ正方形ノ面積ハ何程カ。式ト圖ニテ説明セヨ。
6. 幾人カノ子供ニ鉛筆5本ツツヤレバ7本餘リ, 7本ツツヤレバ19本足ラヌ, 子供ノ數ハ幾人カ, 鉛筆ノ數ハ幾本カ。
7. 2數ノ和ノ $\frac{1}{2}t$, 差ノ $\frac{1}{2}$ トノ和及ビ差ハソレソレ共ノ2數ニ等シキコトヲ式ニテ書キ表ハセ
8. 下記金屬ノ主ナル鑛石ヲ擧ゲ…………ノ右側ニ記入セヨ。
 銀ノ鑛石…………… 鐵ノ鑛石…………… 鋼ノ鑛石……………
9. 平面鏡ノ前ニ立ツトキニ見ユル像ニ就テ次ノ問ニ答ヘヨ。
 (イ) 像ノ種類 (ロ) 像ノ大サ (ハ) 立ツタ人ノ右ハ像ノドチラニナルカ
 (ニ) 鏡ニ遠ザカツタトキハ像ハドウナルカ
10. 次ノ(ロ)ノ部ニ書イテアルモノヲ(イ)ノ部ニ書イテアルモノニ含マレラキルモノニ同ジ番號ヲツケヨ。
 (イ) (ロ) (イ) (ロ) 錯 酸
 (1) 食 鹽

- | | |
|------------|-----------|
| (2) 眞 鉛 | () 鐵 |
| (3) プリキ | () 炭酸ガス |
| (4) 米 | () 硫 黄 |
| (5) 酢 | () 亞 鉛 |
| (6) 硫 酸 | () アルコール |
| (7) 脂 肪 | () ナトリウム |
| (8) ビール | () 鹽 素 |
| (9) 石 炭 | () 銅 |
| (10) 炭酸ソーダ | () 澱 粉 |

解答

1. (イ) 原式 $= a^2 + b^2 = a^2 + 2ab + b^2$ (ロ) 原式 $= 30a^2 a^3$ (ハ) 原式 $= 2x^3$
 (=) 原式 $= 1 + 2a^2$
2. $(5000 \times \frac{1}{90}) \times 1 \text{米} = 60 \text{米}$ 答 60米

3. (イ) 長針が15分過キタルトキハ90°ナル故
 $90^\circ \times (45分 + 15分) = 270^\circ$ 答 270度
 (ロ) $135^\circ = 90^\circ + 45^\circ$ ナル故 鈍角ナリ。
4. (イ) 平行四邊形ノ一角ヲ直角ナラシムルトキ
 (ロ) 平行四邊形ノ各邊ヲ相等シカラシムルトキ
 答 $a^2 + 2ab + b^2$
5. $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ 答 $a^2 + 2ab + b^2$



6. $(7本 + 19本) + (7本 - 5本) = 13人$ ……子供ノ數
 $5本 \times 13 + 7本 = 72本$ ……鉛筆ノ數
 答 13人 72本

7. 2數ヲソレゾレ a, b トスレバ

$$\frac{a+b}{2} + \frac{a-b}{2} = \frac{2(a+b) + 2(a-b)}{2} = a$$

$$\frac{a+b}{2} - \frac{a-b}{2} = \frac{2(a+b) - 2(a-b)}{2} = b$$

8. 銀ノ鑛石 ……輝鐵鑛 銀ノ鑛石 ……黃鐵鑛 銅鑛石 ……黃銅鑛
9. (イ) 正像 (ロ) 同體 (ハ) 像ノ左 (ニ) 小さクナル
10. (イ)
- | | |
|---------|-----------|
| (1) 食鹽 | (5) 錯酸 |
| (2) 眞鍮 | (3) 鐵 |
| (3) フリキ | (10) 炭酸ガス |
| (4) 米 | (ナシ) 硫黄 |
| (5) 酢 | (3) 亞鉛 |
| (6) 硫酸 | (8) アルコール |
| (7) 脂肪 | (1) ナトリウム |

(8) ビール (1) 鹽 素

(9) 石 炭 (2) 銅

(10) 炭酸ソーダ (4) 澱 粉

(ロ) 豫備試験(乙) (四十分)

一、次ノ文中片假名ノ語ヲ漢字ニ改メ()ノ中ニ書ケ。

スナハ()ち將來に於ける國運リユウシヤウ()のキノ()をつくるユエン()

古社寺國寶の保存をハカ()るは又實に國家シユエウ()の事業たるなり。

二、左ノ語句ノ漢字ノ右側ニ讀假名ヲ附ケヨ。

山 懐 書 肆 休 ぶ 禪 師 下 知 生 涯

須らく 衆 生 菩提寺 堪能

三、左ノ語句ヲ續ケテ意味ノヨク通ズル文ニナルヤウニ()ノ中ニ番號ヲ附ケヨ。

()はるかに大君います。 ()晴の征衣を着飾つて。 ()東の空を伏拜んだ。

()すはとはね起き。 宣戦の大詔を奉讀し()冷水で身を清め。

四、左ノ□ノ中ニ漢字ヲ入レテ熟語ヲ作レ。

□ 窮 □ 窮 □ 奉 □ 奉 □ 歎 □ 歎 □ 歎 □ 歎

覺 □ 覺 □ 覺 □ 備 □ 備 □ 備 □ 備

五、次ニ示サレタ各時代ノ始マリヲ()ノ中ニ書ケ。

(1) 奈良時代() (2) 平安時代()

(3) 鎌倉時代() (4) 徳川時代()

(5) 明治時代()

六、左記ノ人々ハ何時代ノ人デアツテ何故ニ名高イカラ各欄ニ簡單ニ記入セヨ。

人 名	時 代	名 高 い わ け
武 内 宿 禰		
聖 徳 太 子		
北 條 時 宗		

平田篤胤	
徳川齋昭	

七、日本ノ主ナル海外航路五ツヲ舉ゲヨ。
八、我國海軍鎮守府及ビ要港ノ名ヲ舉ゲ所在地ヲ記セ。

一、(即)ち將來に於ける國運(隆昌)の(基礎)をつくる(所以)古社寺國寶の保存を(圖)るは又實に國家(主要)の事業たるなり。

二、山懐 書肆 休ふ 禪師 下知 生涯
須らく 衆生 菩提寺 堪能

三、(1)すはとはね起き (2)冷水で身を清め (3)晴の征衣を着飾つて (4)宣戰の大詔を奉讀し (5)はるかに大君います (6)東の空を伏拜んだ。

四、(困)窮 窮(乏) 奉(仕) (遵)奉 歎(賞)

〔感〕歎 覺〔悟〕 〔自〕覺 〔準〕備 備〔忘〕

- 五、(1)奈良時代 (元明天皇の和銅三年奈良に奠都されてから)
(2)平安時代 (桓武天皇の御代に京都へ奠都してから)
(3)鎌倉時代 (源頼朝が鎌倉に幕府を開いてから)
(4)徳川時代 (徳川家康が大坂城を攻め落して江戸に幕府を開いてから)
(5)明治時代 (徳川慶喜が大政を奉還してから)

六、

人名	時代	名高いわけ
武内宿禰	大和時代	景行天皇の御代に蝦夷を巡遊して、また神功皇后に從ひ三韓を征伐した。景行、成務、仲哀、應仁、仁徳の五朝に仕へて功が多かつた。
聖徳太子	大和時代	推古天皇元年に皇太子となり、冠位十二階憲法十七條を定め、同二十八年天皇記外を著し法隆寺、四天王寺、法興寺を建立した。
北條時宗	鎌倉時代	文永、弘安の兩役にわたり元軍の襲來を防ぎ我が國威を宣揚した。

平田 篤胤	徳川時代	本居宣長の衣鉢を繼いで國學を究め、また古神道を復活し、敬神崇祖の思想を弘めた。
徳川 齋昭	徳川時代	勤皇の思想を鼓吹し、攘夷を主張して幕府を非難したため、水戸に蟄居を命ぜられた。

七、(1) 欧州航路

(5) 南洋航路

八、(イ) 横須賀 (第一海軍區軍港)

(ハ) 佐世保 (第三海軍區軍港)

(1) 大湊要港 (青森縣)

(2) 舞鶴要港 (京都府)

(ロ) 吳 (第二海軍區軍港)

(2) 北米航路

(3) 南米航路

(4) 濠洲航路

(ハ) 本 試 験

(一) 時 間

理 科

- 一、近視眼、遠視眼ヲ正視眼ニ比較シテ説明シ、如何ナル眼鏡ヲ用ヒテ調節スレバヨイカラ書ケ。
- 二、揮發油ニ就テ次ノ問ニ答ヘヨ。

(イ) 何カラ製スルカ。

(ロ) ドンナ性質カ。

(ハ) ドンナ用途ガアルカ。

三、次ノ性質ヲ有スル金屬ノ名ヲ記セ。

(イ) 錳ヲ生ゼザルモノ一ツ

(ロ) 甚ダ輕キモノ一ツ

(ハ) 鑄物ニ適スルモノ二ツ

(ニ) 火ニ錆ケ易キモノ二ツ

四、動植物ヲ作ル主ナル元素ノ名四ツヲ書ケ。

五、硝化綿ニ就テ左ノ問ニ答ヘヨ。

(イ) 如何ニシテ製スルカ

(ロ) ドンナモノデアツテ、ドンナ性質カ。

(ハ) ドンナ用途ガアルカ。

六、電流ノ主ナル作用ヲ三ツ擧ゲ、コレヲ應用スルソレトノ例ヲ知レルダケ示セ。

- 一、近視眼は正視眼に較べると水晶體が過大に彎曲してゐるか、眼底が深過ぎるのである。それ故明視の距離が縮少してゐて、遠くの物體の像は網膜の前方に出来る。これを調節するには凸レンズの眼鏡をかければよ。

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答

遠視眼は水晶體が扁平過ぎるためか、或は眼底が淺過ぎるために、その明視の距離が正視眼に較べると大い。それ故近い物體の像は網膜の後方に出来る。これを調節するには凹レンズをかければよす。

二、(イ) 石油の原油を熱し、この蒸氣を冷却して製造する。

(ロ) 無色透明で、粘り氣のない液體であるが、臭を持つてゐる。水と混じない。

(ハ) 發動機の燃料及び塗料の溶劑になる。

三、(イ) 白金

(ロ) アルミニウム

(ハ) 鐵、眞鍮

(ニ) 鉛、錫

四、炭素。

水素。

酸素。

窒素。

五、(イ) 精製した綿を濃い硝酸一と濃い硫酸三の割合に混した溶液の中に浸し、セルロースと硝酸を化合せしめて作る。

(ロ) 混合液の割合、浸す時間の長短、温度の高低等の差によつて、化合する程度が異なり、出来る硝化綿の性質及び用途に相違が生ずる。

(ハ) 硝化の程度の高いものは、乾燥して急激に打撃するか、又は狭い所につめて點火すると劇しく爆發するから綿火藥として用ひられる。

硝化の程度の低いものは人造絹糸、セルロイド等として工業原料に用ひられる。

六、(イ) 熱作用 電流は熱を生ずる (例) 電氣ストーヴ、電氣アイロン等。

(ロ) 發光作用 電流が強いと激しく光を發する (例) 電燈、ネオン等。

(ハ) 磁氣作用 磁氣を生ずる (例) 電話、電鈴。

國語 (一時間)

一、次ノ語句ノ傍線ノアル漢字ニ讀假名ヲツケ語句ノ解釋ヲソノ下ニ書ケ。

(イ) 暴虎馮河の勇。

(ロ) 獻替の功。

(ハ) 春秋に富む。

(ニ) 興亡幾變遷。

(ホ) 舊法を墨守す。

二、次ノ語ニ相當スル漢字或ハ熟語ヲ () ノ中ニ書ケ。

例——臺灣の野蠻人(生蕃)

母の妹 ()

うつるやまひ ()

大金持 ()

おもひのほか ()

たそかれ ()

寒さのきびしき冬 ()

始めから變らぬ精神 ()

くらし ()

かたみの品 ()

大きな事業 ()

三、左ノ語句ヲ解釋シ ()ノ中ニ書ケ。

いつかな ()

かりそめ ()

げに ()

はかない ()

精進 ()

非凡 ()

參與 ()

無聊 ()

遜色 ()

客氣 ()

四、左ノ文ノ片假名ヲ漢字ニ改メ ()ノ中ニ書ケ。

(イ) タイマン ()

(ニ) して キンラウ ()

(ハ) をいとふ教育のエンゲン ()

(ロ) はカテイ ()

にあり。

(ロ) 月の光はイアン ()

(ハ) の光である、ジアイ ()

(ニ) の光である、エンネツ ()

(イ) を伴はな

いセイリヤウ () の光である。

(ハ) エングン () の到るを待ちてコウゲキ () に移る。

五、凡そ如何に才氣ある人にも勤勉刻苦の勞を積まざれば一世の事業を成し難し、況んや才氣の乏しき者に於てをや、山陽の才氣既に非凡にして勤勉亦衆に超えたり、是の千古の名を成し古人と共に青史に列した所以なり。

右ノ文ハ頼山陽トイフ文題ノ一節デアル。コレヲ讀ンデ左ノ問ニ答ヘヨ。

(1) 意味ノ上ヨリ全文ヲ二ツニ區切ツテ其區切リノトコロノ文句ヲ三四字書イテ示セ。

(2) コノ文デハ前段ト後段トハ何レガ大切カ。

(3) 大切デナイ方ハドンナ必要ガアツテ書イタカ。

(4) 頼山陽ハドコノ人デアツテ、ドンナ事業ヲシタ人カ。

(5) 此ノ文ヲ讀ンデ何ヲ感ジタカ。

一、(イ) 暴虎馮河 (向ふ見ずの元氣)

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答

(ロ) 獻替 (忠臣が君主を輔佐すること)

(ハ) 春秋に富む (前途になほ年がある青年)

(ニ) 興亡幾變遷 (興つたり滅びたり何遍も變ること)

(ホ) 墨守 (いつまでも守ること)

二、(1) 叔母 (2) 傳染病 (3) 富豪 (4) 望外

(5) 黄昏 (6) 嚴冬 (7) 素志 (8) 生活

(9) 遺品 (10) 大事業

三、(1) なかなか (2) ほんのちよつとした (3) 本統に。

(4) 頼りない (5) 精を出してやること (6) 普通でない。

(7) 相談にあづかること (8) たいくつすること (9) 劣ること。

(10) 血氣にはやる勇氣。

四、(イ) (怠慢)にして(勤勞)をいとふ教育の(淵源)は(家庭)にあり。

(ロ) 月の光は(慰安)の光である、(慈愛)の光である、(炎熱)を伴はない(清涼)の光である。

(ハ) (援軍)の到るを待ちて(攻撃)に移る。

五、(1) 山陽の才氣。

(2) 前段。

(3) 勤勉刻苦をつまなければ、一世の事業の成し難いことを、山陽の例によつて説明してゐる

(4) 廣島の人、江戸に遊學してから京都で塾を開き、日本外史、日本政記を著はして、大いに

尊王の思想を鼓吹した。

(5) 大いに刻苦勉勵しなければならぬことを感じた。

變 題 (一時間)

1. 次ノ聯立方程式ヲ解ケ。

$$x-3y=-1$$

$$3x-3y=41$$

2. 次ノ方程式ヲ解ケ。

$$x^2-7x+12=0$$

3. 金 195 圓ヲ三ツヲ分ケテソノ連比ガ $1 : \frac{2}{3} : \frac{1}{2}$ ニナル様ニセヨ。
4. 分母ガ分子ヨリモ20ダケ大ナル分數ガナル, 分母カラ7ヲ減ジ分子7ニヲ加ヘルト $\frac{4}{5}$ トナルトイフ, 如何ナル分數カ。
5. 相連続スル三ツノ正ノ整数ノ平方ノ和ガ1730デアル, コレヲノ數ハ何々デアルカ。
6. 7時ヨリ8時迄ノ間ニ於テ時計ノ短針ト長針トガ直角ヲナス時刻ハ何時何分カ。
7. 30°ノ角ヲ持ツ三角定規ノ一番長イ線(ヘリ)ノ長サハ一番短イ線ノ長サノ二倍デアル何故カ。
8. 半径5cmノ球ヲ一ツノ平面ヲ切ツテ半径3cmノ圓ヲ得ルタメニハ中心カラ何cmノ距離ニテ平面ヲ切レバヨイカ。
9. 或ル池ノ周圍ヲ廻ルニ甲ハ10分, 乙ハ24分ヲ要ス, 今兩人同時ニ同所ヲ出發シテ反對ノ方向ニ走ラバ幾分後ニ相會スルカ。
10. ニツノ相似四面體ノ對應スル稜ノ比ガ 2 : 3 デラツテ小サイ方ノ體積ガ40立方cmデアルト大キナ方ノ體積ハ幾立方cmカ。

1. $\begin{cases} x-3y=-1 & \dots\dots\dots(1) \\ x+2y=41 & \dots\dots\dots(2) \end{cases}$ $(1) \times 2 + (2) \times 3$ $11x=11$ $x=11$ $\dots\dots(3)$
 (3) ヲ (1) ニ代入スレバ $-3y=-12$ $y=4$
 答 $x=11$ $y=4$
2. $x^2-7x+12=0$ $(x-3)(x-4)=0$
 $x-3=0$ 又ハ $x-4=0$ $x=3$ 又ハ $x=4$ 答 $x=3$ $x=4$
3. $1 : \frac{2}{3} : \frac{1}{2} = 6 : 4 : 3$
 $195 \text{圓} \times \left(\frac{6}{6+4+3} \right) = 90 \text{圓}$ $195 \text{圓} \times \left(\frac{4}{6+4+3} \right) = 60 \text{圓}$
 答 90圓 90圓 45圓
4. $20 - (7+7) = 6$ $\dots\dots\dots$ 分母ヨリ7ヲ減ジ, 分子ニ7ヲ加ヘテ分數ノ分母分子ノ差
 $5-4=1$ $\dots\dots\dots$ $\frac{4}{5}$ ノ分母分子ノ差
 $6+1=6$ $\dots\dots\dots$ 前ノ分數ト $\frac{4}{5}$ トノ比

$$\frac{4 \times 6}{5 \times 6} = \frac{24}{30}$$

分母ヨリ7ヲ減ジ、分子=7ヲ加ヘタトキノ分數

$$\frac{24-7}{30+7} = \frac{14}{37}$$

求ムル分數

答 $\frac{14}{37}$

5. 相連續スル三ツノ數ヲ $x-1, x, x+1$ トスレバ

$$(x-1)^2 + x^2 + (x+1)^2 = 1730$$

$$3x^2 + 2 = 1730$$

$$x^2 = 576 \quad \therefore x = 24$$

答 23, 24, 25

6. 直角ヲナストキノ時針ト分針トノ分置ハ15分置ナリ、故ニ直角ヲナス時間ヲ分トスレバ、 $(x+15)$ 分及ビ $(35 + \frac{x}{12})$ 分トニ直角ヲナス、從テ次ノ二ノ方程式ヲ得ル

$$(一) \quad x + 15 = 35 + \frac{x}{12}$$

$$\frac{12x-x}{12} = 35-15$$

$$11x = 240$$

$$x = 21\frac{9}{11}$$

$$(二) \quad x = 35 + \frac{x}{12} + 15$$

$$x - \frac{x}{12} = 50$$

$$\frac{12x-x}{12} = 50$$

$$11x = 600$$

$$x = 54\frac{4}{11}$$

答 7時21 $\frac{9}{11}$ 分

7時54 $\frac{6}{11}$ 分

7. 三角定規ヲABCトシ、一番短イ邊ヲBC、一番長イ邊ヲCAトス。

然ルトキハ題意ニヨリ $\angle B = \angle R$ $\angle C = \angle R - 30^\circ = 60^\circ$

今 $\angle ABC = \angle BAD$ ナラシメレバ

$\triangle ABD$ = 於テ $\angle ABD = \angle BAD$ ナル故 $AD = BD$

然ルニ $\angle ABD + \angle DBC = \angle R$ $30^\circ + \angle DBC = 90^\circ$

$$\therefore \angle DBC = 60^\circ = \angle C$$

從ツテ $BD = DC$ $\therefore DC = AD$

然ルニ $\angle DBC = \angle C = 60^\circ$ $\therefore \angle BDC = 60^\circ$

依テ $BD = DC = BC$ $\therefore BC = \frac{1}{2} AC$

8. 中心カラノ距離ヲ x cm トスレバ

$$x = \sqrt{5^2 - 3^2} = \sqrt{16} = 4$$

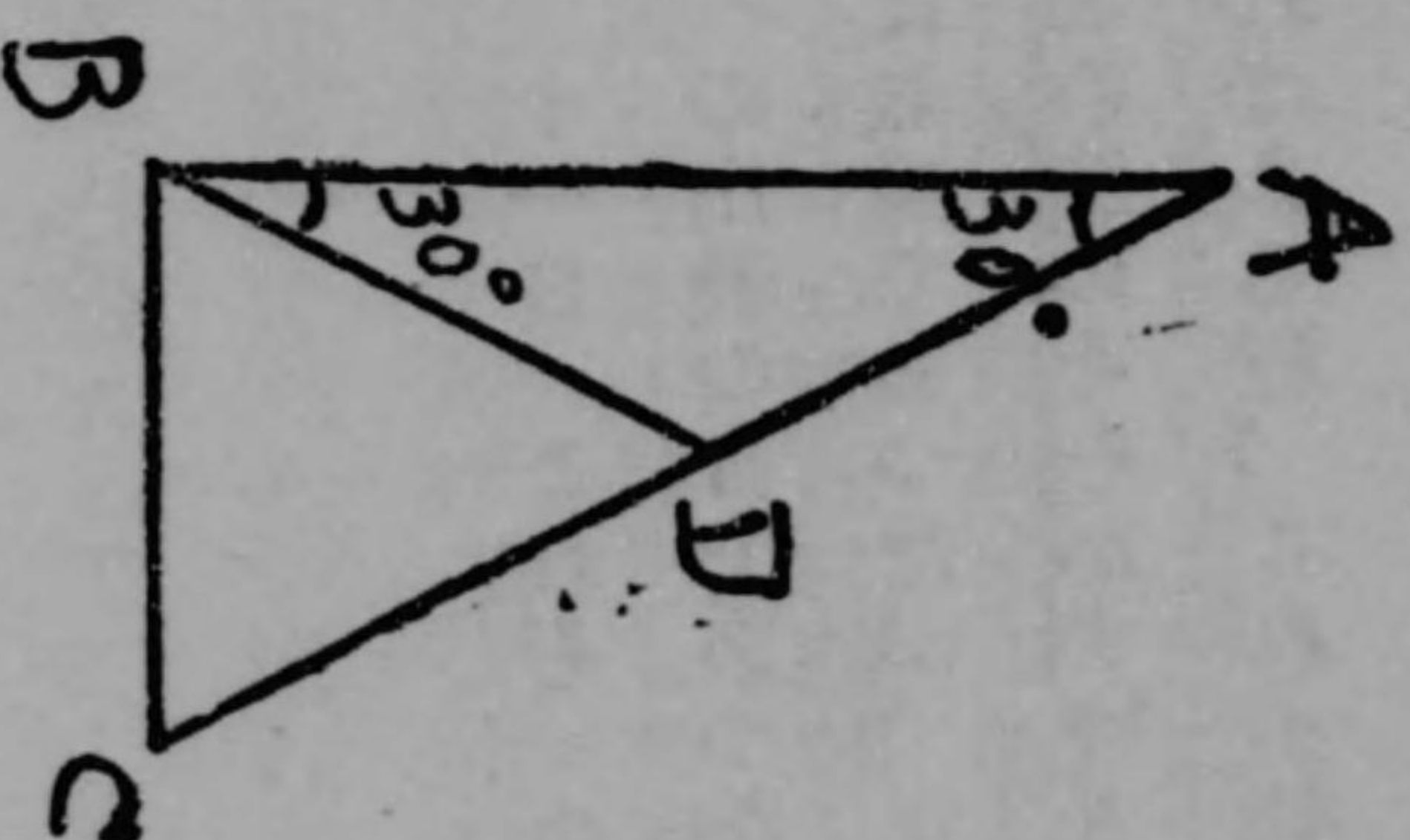
答 4cm

9. 池ノ周圍ヲ1トスレバ

$$1 + 16 = \frac{1}{16} \dots\dots\dots \text{甲1分間ノ行程}$$

$$1 + 24 = \frac{1}{24} \dots\dots\dots \text{乙1分間ノ行程}$$

141



$$1 + \left(\frac{1}{16} + \frac{1}{24} \right) = 1 + \left(\frac{3+2}{48} \right) = 9.5 \quad \text{答 } 9.5 \text{分}$$

10. 大キイ方ノ體積ヲエトスルバ

$$2^3 : 3^1 = 40 : x \quad \therefore x = \frac{3^1 \times 4^1}{2^3} = \frac{27 \times 40}{8} = 135 \quad \text{答 } 135 \text{立方cm}$$

5 佐世保海軍工廠

讀 方 (五十分)

一、次ノ文中傍線ヲ施シテアル箇所ヲ解釋シナサイ。

勤員令のあつた其の日から殆んど一箇月即ち明治三十七年五月二十一日、これぞ一生忘れることの出来ないうれしい日であつた。その日こそ待ちに待つた戦地への出發の日であつた。日頃の熱望ここに達して男子の本懐之に過ぎるものはない。我等の歡喜は無限であつたが、此の歡喜と共に、又暗涙の浮ぶのを禁じ得なかつた。「丈夫涙なきにあらず離別の間にそそがす」とか。無論今更家を顧み親を慕ふのではないが、生きて再び歸らぬ決心があればある程、これが親子、兄弟今

生の見をさめかと鬼の目にも涙のたとへは免れ得なかつた。しばしまどろむと思ふ間もなく、柱時計は午前三時を報じた。すはとはね起き、冷水で身を清め、晴の征衣を着飾つて宣戰の大詔を奉讀し、はるかに大君います東京の空を伏拜んだ。次に之を最後と祖先の靈前に禮拜したが、此の時は「汝は汝にして汝にあらず。陛下の御爲進んで難に赴け、未練なふるまひをして家名をけがすな」と戒められるやうな感じがした。さて家族一同自分を圍んで別杯を舉げて皆此のめでたい出陣を祝つてくれた。「後の事は少しも心配するに及ばぬ。思ふ存分に働け。あつばれた功名をして家門の花を咲かしてくれ」「私の事は決して御心配下さるな。武士の譽としてこんな嬉しい事はございませぬ。せつかく御體を大切に」とはたゞに自分の家のみでなく、今日出征する人の殆んど總べての家とて親子の繰返した悲壯の語であつたであらう。

二、左ノ文ヲ讀ンデ簡單正確ニ左ノ問ニ答ヘナサイ。

(1) 此ノ文ハ高等小學校卷一ニ出テキルガ何トイフ書物カラトツタモノカ。又作者ハ誰カ。

(2) 作者ノ考ヘテキル『男子ノ本懐』トハ何ノコトカ。

(3) 文中ニ出征軍人ヲ勵マス會話ガアルガ誰ノ云ツタモノカハツキリサセナサイ。

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答

- (4) こんなうれしことトハ何か。
- (5) 悲壯の語トハ何ヲサスカ。

三、左ノ文中ノベシハ夫々如何ナル意味カ。

- (1) 不肖ながら御相手になり申すべし。
- (2) 誠に多幸多福なる生涯といふべし。
- (3) 大空に無数の星辰を望むときは壯嚴の感に堪へざるべし。
- (4) 感情の抑制には絶へず意を用ふべし。
- (5) 子貢一言にして終身行ふべきものを問ひしに、孔子、恕の一字を以て答へたり。

四、次ノ和歌ノ中 1 2 ハ誰ガ詠ツタモノカ、3 4 5 ハ誰ヲ詠ツタモノカラ書キ夫々ノ人ノ時代ヲ

書キナサイ。(例 楠正成——吉野朝時代)

- (1) 親思ふ心にまさる親心けふのおとづれ何ときくらむ。
- (2) さなみや志賀の都は荒れにしをむかしなからの山さくらかな。
- (3) 神風のもろこし船を拂ふまでつくしにけりな武士の道。

(4) 湊川清きながれも西山の月の光にすみまさりつゝ。

(5) 歸り來ぬ越路の雁ぞあわれなる吉野の春の花を見ずして。

五、次ノ文中不適當ナ所ガアツタラ直シナサイ。

或時フランス生れの新募の兵が他日檢閲があるがドイツ語がわからぬと迷惑してゐると一人の同僚が『王の問は斯くくゝの順序であるから斯くくゝ答えよ』と教えてくれた。

六、次ノ語ノ讀方ニヨツテ夫々異ツタ意味ガアル、二種類ノ讀方トソレニ相當スル意味ヲ書ケ。

末期 イ

下手 イ

工夫 イ

作法 イ

身代 イ

七、次ノ語ヲ訓讀シナサイ。

(例 如月シヨゲツは不可)

- 1 陽炎
- 2 流石
- 3 長閑
- 4 只管
- 5 等閑
- 6 首途
- 7 鬩斗
- 8 直垂
- 9 加之
- 10 注連繩

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答

11 縦令 12 就中

一、(イ) 動員令 戦闘準備として在郷の歸休兵を召集する命令。

(ロ) 丈夫涙なきにあらず離別の間にそゝがす 強い立派な男子だつて涙が出ないのではないが離別などの小事の爲めには流さぬ。

(ハ) 鬼の目にも涙 鬼のやうな強いものでも涙を見せてゐる。

(ニ) 宣戦の大詔を奉讀 開戦の理由を天下に明示された天皇の大みことのりを謹んで讀む。

(ホ) 汝は汝にして汝にあらず お前の身體は自分のものであつて、自分のものではない。

二、(1) 「肉弾」といふ書物からとつたもので、作者は櫻井忠温である。

(2) 出征出来たことをいふ。

(3) 楠木正行の母が正行を勵ました言葉。

(4) 出征を祝ふことをさす。

(5) 「後のことは少しも心配するな……」とか「私のことは決して御心配下さるな武士の譽

としてこんな嬉しい事は……」などの言葉をさす。

三、(1) 命令——なるぞ。

(2) 可能——いふことが出来る。

(3) 推量——でせう。

(4) 命令——用ひなければならぬ。

(5) 命令——なければならぬ。

四、(1) 吉田松陰 徳川時代 (2) 平 忠度 源平時代

(3) 北條時宗 鎌倉時代 (4) 新田義貞 吉野朝時代 (5) 徳川光圀 徳川時代

五、當惑。 答へよ。

教へた。

六、末期 イ マツゴ 死にぎわ

下手 イ シタテ へりくだること

マツキ 最後に近い時期

イ クフウ 考へること

作法 イ サホウ 行儀のこと

イ コウフ 仕事をする人

イ サクホウ もの、作り方

身代 イ シンダイ 財産

イ ミノシロ 人身の代金

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答

7. 1	かぢらぶ。	2	さすが。	3	のどか。	4	ひたすら。
5	なびちり。	6	かごじ。	7	のし。	8	ひたゝれ。
9	しかも。	10	しめなむ。	11	たとへ。	12	とりわけ。

解 答 (四十分)

1. 10瓦の水の温度ヲ17度高メルニ要スル熱量ヲ求メヨ。
2. 電流ノ強サハ何ニヨツテ増減スルカ。
3. 針金ニ電流ヲ通スレバ何ヲ生スルカ。
4. 輪軸ノ圓板ノ半徑ガ20糎、棒ノ半徑ガ10糎ノトキ圓板ニ何瓦ノおもりヲカクレバ棒ニカケタ50瓦ノおもりヲ卷キ上げ得ルカ。
5. 一班米トハ何カ。
6. 壁ノ高イ人ノ聲帯ハ低イ人ノ聲帯トドウ違フカ。
7. 次ノ空所ニ適當ナ語ヲ記入。

えなめるハ——ノ一種子甚ダ焙ケ——ク、鐵製ノ器ニ引イテ——ナド

トツテ用ヒラレル。

8. 石英ノ用途ヲニツテアゲヨ。
9. 次ニ誤アラバ正セ。

葉綠素ノアル葉ハ日光ヲ受ケルト酸素ヲトリ炭酸ガサヲ出シテ澱粉ヲ造ル働ノ方ガ呼吸作用ヨリモ盛デアル。

10. 植物ヲ夜間室内ニ入レルノハ人ノタメニヨイカ悪イカ理由ヲ述ベヨ。

解答

1. 熱量ハ1瓦ノ温度を1度高めるのに必要な熱量を單位として表はし、これを一カロリーといふのである。故に10瓦の水を17度高めるには $10 \times 17 = 170$ カロリー の熱量が必要である。
2. 針金に電流を絶えず通じさせると、針金の両端に適當の方法で電位の差を保たせて置かねばならぬ。この電位の差を電圧といふ。針金の兩端の電圧を増減すると、これに比例して電流の強さも増減する。故に電流の強さを増減するには兩端の電圧を増減することが必要である。
3. 針金に電流を通ずるときには、これに熱を生じさせる。その時に生ずる熱量は電流の強さが一定

- であるときは、電気抵抗の大きい程大きく、電流の強さが大きくなる程熱量も大きくなる。
4. 輪軸の圓板の半径が棒の半径の二倍であるときは、圓板に巻いた糸にオモリを懸け、棒に巻いた糸に二倍の重さのオモリを懸けると輪軸はどの方向にも廻らぬ。
- 今題意によると圓板の半径が20種で棒の半径10種の二倍である故、棒にかいた50瓦の半分の25瓦より重いオモリをかけた時は棒の50瓦のオモリを巻き上げ得る。
5. 一キログラムの物體を一メートル上げる仕事を一キログラムメートルといふ。
6. 聲の高い人は聲帯が短く、聲の低い人は聲帯が長い。
7. エナメルは石英の一種で甚だ熔け易く鐵製の器に引いて珪藻などとして用ひられる。
8. 石英から出来てゐる珪岩や石英の砂はガラスや耐火煉瓦の原料とし又陶磁器の原料に加へられる
9. 葉緑素のある葉は日光を受けると炭酸ガスを取り酸素を出して澱粉を造る働の方が呼吸作用よりも盛である。
10. 悪い。植物のどの部分も生活してゐる間は絶えず酸素をとつて炭酸ガスを出すからである。

算 術 (一 時 間)

1. 次ノ式ヲ次ノ式ヲ計算セヨ。

$$\left(4\frac{2}{11} + 2\frac{1}{8} \times 0.55\right) + \left(5\frac{5}{8} + 3.5 + 2\frac{2}{3}\right)$$

2. 或書籍ヲ定價ノ8割ニテ買ヒ之ヲ5圓60銭ニ賣リテ、1割2分ノ利ヲ得タリ定價何程ナリシカ。
3. 大小二ツノ整数アリ其差ハ5ニシテ、其積ハ和ヨリモ13大ナリ、二數ヲ求ム。
4. 三角形アリ、其高サハ底邊ヨリモ4種長ク、面積ハ96平方種ナリトイフ、其高サヲ求ム。
5. 140圓ヲ甲乙二人ニ分配シタリ、今甲ガソノ分配額ヨリ5圓少クトルコトトナセバ甲ハ乙ノ3倍トナル、初メノ各ノ分配額ハ何程ナルカ。
6. 長サ30米幅20米矩形ノ公園ノ外ヲ圍繞スル幅、一様ナル通路アリ、此ノ通路ノ面積ハ19平方米ナリトイフ、此ノ通路ノ幅ヲ求ム。

7.
$$\frac{3}{5 - \frac{7}{6 + \frac{1}{8}}}$$
 ヲ簡單ニセヨ。

8. 甲ノ2日ニテ成ス仕事ヲ乙ハ3日ニテ成ス、今甲乙兩人協力シテ働クトキハ $3\frac{3}{5}$ 日ニテ成シ遂グ得ル仕事ヲ甲乙各一人ニテ成サバ何日ニテ成シ得ルカ。

9. $\sqrt{3x-2} = 2-x$ ヲ解ケ。

10. 周囲250米ノ矩形ノ地面アリ今此ノ地面ノ縦ヲ20米狭クシ、横ヲ15米廣クスルモ面積ハ變ラズトイフ、縦横各何程ナルカ。

解答

1. 原式 $= \left(\frac{46}{11} + \frac{17}{8} \times \frac{55}{100} \right) + \left(\frac{45}{8} + \frac{35}{10} + \frac{8}{3} \right) = \left(\frac{7360+2057}{1760} \right) + \left(\frac{135+21}{24} \right)$
 $= \frac{9417 \times 24}{1760 \times 156} = 6 \frac{177}{1540}$ 答 $6 \frac{177}{1540}$

2. 5圓60銭 + (1 + 0.12) = 5圓……………賣 價
 5圓 + 0.8 = 6圓25銭……………定 價 答 6圓25銭

3. 大小二數ヲ夫々 x, y トスレバ

$$\begin{cases} x-y=5 \dots\dots\dots(1) & (1) \text{ヨリ } x=5+y \dots\dots\dots(3) \\ xy=(x+y)+13 \dots\dots\dots(2) \end{cases}$$

(3)ヲ(2)ニ代入スレバ $(5+y)y=5+2y+13$
 $y^2+3y-18=0$ $(y+6)(y-3)=0$ $y=-6$ 又ハ $y=3$
 然ルニ y ハ正數ナル故 $y=3$ $\therefore x=8$ 答 $x=8$ $y=3$

4. 三角形ノ高サヲ x 、底邊ヲ y トスレバ

$$\begin{cases} x-y=4 \dots\dots\dots(1) & (1) \text{ヨリ } x=4+y \dots\dots\dots(3) \\ \frac{xy}{2} = 96 \dots\dots\dots(2) \end{cases}$$

(3)ヲ(2)ニ代入スレバ $\frac{(4+y)y}{2} = 96$
 $y^2+4y-192=0$ $(y+16)(y-12)=0$ $y=-16$ 又ハ $y=12$
 然ルニ y ハ正數ナル故 $y=12$ $\therefore x=16$ 答 高サ 16種 底邊 12種

5. (140圓 - 5圓) + (3 + 1) = 33圓75銭……………乙
 140圓 - 33圓75銭 = 106圓25銭……………甲 答 甲 106圓25銭 乙 33圓75銭

6. $\{(159 \text{ 平方米} + 2)\} + (30 \text{ 米} + 20 \text{ 米}) = 1.59 \text{ 米}$ 答 1.59米

7. 原式 = $\frac{3}{5 - \frac{7}{\frac{49}{8}}} = \frac{3}{5 - \frac{56}{49}} = \frac{3}{\frac{189}{49}} = \frac{147}{189}$ 答 $\frac{147}{189}$

8. 仕事ヲ1トスレバ

$1+2 = \frac{1}{2}$ 甲1日ノ仕事量 $1+3 = \frac{1}{3}$ 乙1日ノ仕事量

$\left(\frac{1}{2} + \frac{1}{3}\right) \times 3 = 3$ 甲乙協力シテナシタ仕事

$3 + \frac{1}{2} = 6$ 日 甲一人ニテ成シ遂グルニ要スル日數

$3 + \frac{1}{3} = 9$ 日 乙一人ニテ成シ遂グルニ要スル日數 答 甲 6日 乙 29日

9. $\sqrt{3x-2} = 2-x$ 兩邊ヲ自乗スレバ $3x-2 = (2-x)^2$

$x^2 - 7x + 6 = 0$ $(x-1)(x-6) = 0$ $x=1$ $x=6$ 答 $x=1$ $x=6$

10. 矩形ノ縦横ヲ夫々 x, y トスレバ

$$\begin{cases} 2(x+y) = 250 & (1) \\ (x-20)(y+15) = xy & (2) \end{cases} \quad \begin{cases} x+y = 125 & (1) \\ (x-20)(y+15) = xy & (2) \end{cases}$$

(1)ヨリ $x = 125 - y$ (3) コレヲ(2)ニ代入スレバ

$(125-y-20)(y+15) = (125-y)y$ $1575 + 9y - y^2 = 125y - y^2$

$1575 = 34y$ $y = 45$ (3)ヨリ $x = 80$ 答 縦 80米 横 45米

6 横須賀海軍航空廠

國語 (二十分)

一、左記文章ノ——ノ漢字ニ振假名ヲツケヨ。

我が國民經濟の特色は農業よりも寧ろ工業にあるが故に、工業中我が國の得意とし長所とするものに主力を傾注し、その製品を以て國際貿易市場に臨むべく、仍ち商工業に依つて立つことが實國の常道であり、同時にそれが世界の繁榮人類の幸福に寄與する最も有效な方法である。

二、左記ノ漢字ニ振假名ヲツケ解釋セヨ。

二 海軍工廠見習職工採用試験問題並解答